SHARP

取扱説明書

パーソナルコンピュータ

PC-MJ750
PC-MJ760
シリーズ

Mebius

安全にお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。その表示を無視し誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように示しています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警告**	人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。
⚠ **注意**	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

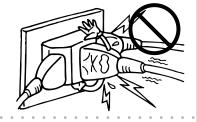
絵表示の意味 （絵表示の一例です）

 記号は、してはいけないことを表しています。

 記号は、しなければならないことを表しています。

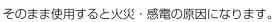
⚠ 警告

電源は AC100V のコンセントを使用してください。
それ以外の電源で使用すると、火災の原因になります。

電源コードのプラグは、直接コンセントに接続してください。
タコ足配線は過熱し、火災の原因になります。

お客様による分解や修理・改造はしないでください。
故障したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。
また重い物を載せたり、引っ張ったり、ねじったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため火災・感電の原因になります。

万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常が発生した場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、バッテリパックを取り外してください。その後、お買い上げの販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

⚠ 注意

本機を持ち運ぶ際は、しっかりと持ち、落とさないようにしてください。
落とすと足をけがすることがあります。

電源コードは、電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

夜間など長時間使用しないときは、安全のために必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

バッテリパックは誤った使い方をすると破裂や発火の原因になります。また、ショートして過熱したり他のものを傷つけることがあります。次のことを必ずお守りください。

- 金属小物（鍵、装飾品など）といっしょにポケットやカバンなどに入れないでください。
- 端子をショートさせないでください。
- 火の中に入れないでください。
- 分解しないでください。

ぬれた手で使用したり、まわりに水など液体の入った容器を置かないでください。
中に水が入ると、火災・感電の原因となることがあります。

本機をぐらついた台の上や不安定な場所に置かないでください。
落ちたりして、けがの原因となることがあります。

目の健康のために、次のことを必ずお守りください。

- 連続して長時間使用される場合は、1 時間ごとに 10 ～ 15 分休憩し、目を休ませてください。
- 操作する場所の明るさは、新聞が楽に読める程度（約500ルクス）が適切です。明暗の差が大きいところでは使用しないでください。
- 戸外の光や照明が画面に反射して見えるところでは、使用しないでください。
- ディスプレイは、目の高さよりやや低く、目から 40 ～ 60cm 離して使用してください。

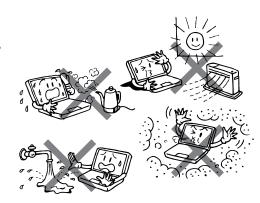
長時間にわたり本機底面をひざの上などに直接触れてのご使用はしないでください。
低温やけどをおこす恐れがあります。

お願い

設置するときのお願い

本機を次のようなところには設置しないでください。

変色・変形・故障の原因になります。

- **直射日光の当たるところや暖房器具の近く**
- **温度が非常に高いところや低いところ**
- **湿度が高いところ**
- **ほこりの多いところ**
- **水などの液体がかかるところ**
- **振動や衝撃などを受けるところ**

通風孔をふさがないでください

本機をじゅうたんや布団の上に置いたり、周りに物を置いたりして、通風孔をふさいで放熱を妨げないでください。本機内部の温度が上がると故障の原因になります。

お使いになるときのお願い

本機の上に重い物をのせたり、押さえ付けたりしないでください。

破損・故障の原因になります。

本機を強くたたいたり、落としたり、裏向けたりして衝撃を与えないでください。

本体およびハードディスクの故障の原因になります。

ディスプレイは傷が付きやすいので、先のとがったもの(シャープペンシル、ボールペンなど)でディスプレイ表面をたたいたり、ひっかいたりしないでください。

雷が鳴り始めたら電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、モデムケーブルを本機から抜いてください。

落雷によって本機が破壊される恐れがあります。

ハードディスクが故障したり、データが消失した場合に備えて、重要なデータは定期的に CD-R やフロッピーディスクなどに保存しておいてください。

お願い

持ち運ぶときのお願い

本機を持ち運ぶときは、次の注意を守ってください。

データが失われたり、ハードディスクの故障の原因になります。

- **フロッピーディスクや CD などのディスクをドライブから出す**
- **電源を切る**
- **本機に接続されている周辺機器やケーブル類はすべて取り外す**
- **衝撃を与えない**
- **ディスプレイパネルを持たない**

10℃以上の温度差がある場所へ急に移動しないでください。

温度が急激に変化するとデータの読み書きが正常に行われない場合があります。

また、温度の低い場所から高い場所に急に移動すると、本体内部に結露が発生します。その場合は、電源を入れずに約 1 時間放置して、露（水滴）が完全に乾いてから、ご使用ください。

TFT 液晶パネルについて

TFT液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上が有効画素ですが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯する画素が存在します。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

電波障害に関するお願い

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオ、テレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときには、次の点にご注意ください。

- この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分離してご使用ください。
- この製品とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。
- 使用されるケーブルは指定のものを使用してください。

お願い

充電式電池のリサイクルご協力お願い

この商品にはニッケル水素電池を使用しています。
この電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。
電池の交換、およびご使用済み商品の廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。

- ご使用済みの電池は、「当店は充電式電池のリサイクルに協力しています。」のステッカーを貼ったシャープ 商品取り扱いのお店へご持参ください。
- リサイクルのときは、次のことにご注意ください。
  - ・端子部にテープを貼る。
  - ・外装カバー（被覆・チューブなど）を剥がさない。
  - ・分解しない。

著作権等に関するお願い

本機種を利用して音楽用CD等各種CD、インターネットホームページ上の画像等著作権の対象となっている著作物を複製、編集等することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を越えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。
また、本機種において写真の画像データを利用する場合は、上記著作権侵害にあたる利用方法は厳重にお控え頂くことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。

お客様へのお願い

本パーソナル・コンピュータ「メビウスシリーズ」をご使用いただく前に、下記の契約書をよくお読みください。

このたびは、弊社パーソナル・コンピュータをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
お客様が購入された本パーソナル・コンピュータ「メビウスシリーズ」(以下「本製品」と記載します)にプリインストール または 添付されていますシャープオリジナルソフトウェア(以下「本ソフトウェア」と記載します)をご使用いただく前に下記の契約書をよくお読みください。本契約書にご同意いただけない場合には、本製品を未使用 ・本ソフトウェアの記録媒体のパッケージを未開封のまま本製品をお求めになった販売店にご返却ください。
お客様が本製品を使用された場合、または本ソフトウェアの記録媒体のパッケージを開封された場合には、下記契約書のすべてにご同意いただいたものといたします。本契約書にご同意いただいた方のみ、本ソフトウェアをご使用いただくことができます。

ソフトウェア使用許諾契約書

シャープ株式会社(以下 「弊社」と記載します)は、お客様(法人または個人のいずれであるかを問いません)に、本製品にプリインストールまたは添付されている「本ソフトウェア」を使用する権利を下記条項に基づき許諾します。お客様が本製品を使用された場合、または本ソフトウェアのパッケージを開封された場合には、下記契約書のすべてにご同意いただいたものといたします。

1. 著作権
   (1) お客様は、本契約の条項にしたがって本ソフトウェアを日本国内で使用する、非独占的な権利を本契約に基づき取得します。
   (2) お客様は、本ソフトウェアを、本製品のみでご使用いただけます。
   (3) お客様は、本ソフトウェアのバックアップまたは保存の目的においてのみ本ソフトウェアの全部または一部を一部数に限り複製することができます。ただし、本ソフトウェアの複製物を記録した媒体(フロッピーディスク、CD-ROM等)が本製品に添付されている場合には、お客様は、本ソフトウェアを複製することはできません。この場合、お客様は本ソフトウェアのバックアップまたは保存の目的で、本製品に添付された当該複製物を取り扱うものとします。
   (4) 本条第2項、および第3項にかかわらず、お客様は「EVA アニメータ」に収録されている「EVA アニメータプラグイン」およびサンプル素材集を第三者に自由に配布することができます。
   (5) お客様は「EVA アニメータ」に収録されているサンプル素材集を自由に加工して使用することができます。

2. 権利の許諾
   (1) 本ソフトウェアに関する著作権等の知的財産権は、弊社に帰属 又は 第三者から正当なライセンスを得たものであり、本ソフトウェアは日本の著作権法その他関連して適用される法律等によって保護されています。したがってお客様は、本ソフトウェアを他の著作物と同様に扱わなければなりません。
   (2) 本ソフトウェアとともにお客様に提供されるマニュアルおよび取扱説明書等の関連資料(以下「関連資料」と記載します)の著作権は、弊社に帰属し、これら関連資料は日本の著作権法その他関連して適用される法律等によって保護されています。お客様はこれら関連資料を複製することはできません。

3. 制限事項
   (1) お客様は、本ソフトウェアのリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをすることはできません。
   (2) お客様は、本契約書に明示的に許諾されている場合を除いて、本ソフトウェアの使用、全部または一部を複製、改変等をすることはできません。
   (3) お客様は、本ソフトウェアおよび関連資料に付されている著作権表示およびその他の権利表示を除去することはできません。上記(2)に基づき本ソフトウェアを複製する場合には、本ソフトウェアに付されている著作権表示およびその他の権利表示も同時に複製するものとします。
   (4) お客様は、本ソフトウェアを第三者に使用許諾、貸与またはリースすることはできません。
   (5) 第1条第4項および第5項にかかわらず、「EVA アニメータ」に収録されている「EVA アニメータプラグイン」およびサンプル素材集の全部または一部をそのまま、もしくは改変し、商品として製造・販売することはできません。

4．本ソフトウェアの譲渡

お客様は、下記のすべての条件を満たした場合に限り、本ソフトウェアの本契約に基づく使用権を第三者に譲渡することができます。

i）お客様が本契約書、本ソフトウェアを含む本製品、本ソフトウェアのすべての複製物およびその記録媒体、ならびに関連資料を含む本製品のすべてを譲渡し、これらを一切保持しないこと。

ii）譲受人が本契約に同意していること。

5．限定保証

（1）弊社は、本ソフトウェアに関していかなる保証も行いません。したがって、本ソフトウェアに関して発生するいかなる問題も、お客様の責任および費用負担により解決されるものとします。

（2）上記（1）にかかわらず、お客様が必要事項を記入した 別添のユーザー登録／愛用者カードまたはオンラインユーザー登録を弊社まで返送された場合において、最初にご購入されたお客様が本製品をご購入された後１年以内に、弊社が本ソフトウェアの誤り（バグ）を修正した場合には、弊社はお客様に対して、修正されたソフトウェア、修正のためのソフトウェア（以下、これらのソフトウェアを「修正ソフトウェア」と記載します）、またはこのような修正に関する情報を提供いたします。ただし、修正ソフトウェアまたはこのような修正に関する情報の提供の必要性、提供時期、提供方法等に関しては、すべて弊社の裁量により決定させていただきます。お客様に提供された修正ソフトウェアは本ソフトウェアとみなします。

（3）本ソフトウェアの記録媒体に物理的欠陥（ただし、プログラムおよび／またはデータの読み出しが不可能な場合に限ります）があり、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合、最初のお客様が本製品を購入された日から14日以内に本製品の保証書を添えてお求めになった販売店に当該記録媒体を返却された場合には、弊社は無償で当該記録媒体を同等の記録媒体と交換するものとします。

本項の規定をもって本ソフトウェアの記録媒体に関する弊社の保証のすべてといたします。

6．責任の制限

（1）弊社は、いかなる場合も、お客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見し、または予見し得た場合を含みます）および第三者からお客様になされた損害賠償等の請求による損害について、一切責任を負いません。

（2）いかなる場合においても、本契約に基づく弊社の責任はお客様が実際にお支払いになった本製品の代金のうち本ソフトウェアの代金相当額をその上限とします。

7．契約の期間

本契約は、お客様が本製品を使用されたとき、または 本ソフトウェアの記録媒体のパッケージを開封されたとき発効し、下記 8．により本契約が終了するまで有効であるものとします。

8．契約の終了

（1）お客様は、書面により事前に弊社まで通知することにより、いつでも本契約を終了させることができます。

（2）弊社は、お客様が本契約のいずれかの条項に違反したときは、お客様に対し何らの通知・催告を行うことなく直ちに本契約を終了させることができます。

（3）上記（2）の場合、弊社は、お客様によって被った損害をお客様に請求することができます。

（4）お客様は、本契約が終了したときは、直ちに本ソフトウェアおよびそのすべての複製物ならびに関連資料を破棄するものとします。

9．その他

（1）お客様は、いかなる方法および目的によっても、本ソフトウェアおよびその複製物を日本国外に輸出してはなりません。

（2）本契約に関連または起因する紛争は、大阪地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

シャープ株式会社　情報システム事業本部
〒639-1186
奈良県大和郡山市美濃庄町 492 番地
電話（0743）53-5521 番

はじめに

このたびは、シャープパーソナルコンピュータをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この製品は厳重な品質管理と製品検査を経て出荷しておりますが、万一故障や不具合がありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。
付属の「保証書」の定めるところによって修理を行います。

ご使用前のおことわり

- この製品を正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。またこの取扱説明書は、いつも手元に置いてご使用ください。ご使用中にわからないことや、具合の悪いことがおきたとき、きっとお役に立ちます。
- 当社は、この製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 当社は、この製品においてソフトウェアを使用された結果に関して、いかなる保証も致しかねますのであらかじめご了承ください。
  なお、ソフトウェアのご使用に際しては、そのソフトウェアの提供者の使用条件が明示されているときは、必ずそれらの使用条件をご確認ください。
- お客様または第三者が、この製品の使いかたを誤ったときや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときや電池交換の方法を誤ったときは、記憶内容が変化・消失する恐れがあります。
  重要な内容は、必ず CD-R やフロッピーディスクなどの記録媒体に記録し保管してください。
- 本書の内容の全部または一部を、当社に無断で転載、あるいは複製することはお断りします。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

・Intel、Celeron、 Pentiumは、Intel Corporationの商標または登録商標です。
・PS/2 は、米国 IBM 社の登録商標です。
・K56flex は、Lucent Technologies 社と Rockwell International 社の商標です。
・cdmaOne は、CDG（CDMA Development Group）の商標です。
・ドッチーモは、NTT ドコモより登録商標出願中です。
・スマートメディアは、株式会社東芝の商標です。
・ドルビー、DolbyおよびダブルD 記号「DD」は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。

・ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
・非公開機密著作物。著作権 1992-1997 ドルビーラボラトリーズ。不許複製。
・DION は、KDDI 株式会社の登録商標です。
・@nifty は、ニフティ株式会社の商標です。
・AOL は、AOL の登録商標です。
・ODN は、日本テレコム株式会社の登録商標です。
・BIGLOBE は、日本電気株式会社の登録商標です。
・WinDVD は、InterVideo, Inc. の登録商標です。
・Adaptec は、Adaptec, Inc. の登録商標です。
・Easy CD Creator、DirectCD は、Adaptec, Inc. の商標です。
・筆王は、株式会社アイフォーの登録商標です。
・PowerQuest は、PowerQuest Corporation の登録商標です。
・EasyRestore は、PowerQuest Corporation の商標です。
その他、製品名などの固有名詞は各社の商標、または登録商標です。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。
『国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効果的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。』

準備と確認（この説明書の読み方と電源の入れ方）

インターネット（インターネットを楽しもう）

通信（データをやりとりしよう）

基本操作（操作のしかたを確かめよう）

周辺機器（周辺機器を接続しよう）

付録

準備と確認

この説明書の読み方と電源の入れ方

知りたい操作からお読みいただけるように、この説明書は目的別の章構成になっています。
電源の入れ方と切り方については、この章でご確認ください。

この説明書の読み方

この説明書は目的別構成になっています。電源を入れたあとは、操作したい内容の章からお読みください。

インターネットを楽しもう［インターネットの章］

インターネットに接続したい、というときにお読みください。
携帯電話でインターネットに接続する方法についても説明しています。

データをやりとりしよう［通信の章］

データをやりとりしたい、というときにお読みください。PCカードの利用、赤外線（光）通信、LAN接続など、いろいろな方法があります。

操作のしかたを確かめよう［基本操作の章］

このパソコンの基本的な操作を知りたい、というときにお読みください。
ACアダプタを外して使用するときは、冒頭の「バッテリを使いこなす」を必ずお読みください。また、パソコンで音楽を聴く方法や、大切なデータをバックアップする方法も紹介しています。

周辺機器を接続しよう［周辺機器の章］

周辺機器と接続してパソコンを活用したい、というときにお読みください。
プリンタに接続して印刷したり、PCカードを使って機能を拡張する方法などを紹介しています。

付録

操作中にパソコンが動作しなくなったり、思った結果にならないときは「故障かな？と思ったら」をお読みください。また、ハードディスクの内容をご購入時の状態に戻す方法も紹介しています。
「各部の名称と働き」と「さくいん」から、操作説明を探すこともできます。

この説明書の表記方法

この説明書で使用している記号について

⚠ 注意	無視すると、使用者が損害を負う可能性のある注意事項を記載しています。
ご注意	パソコンや周辺機器の故障の原因になる注意事項を記載しています。
	参考情報や関連事項、操作上の制限事項などを記載しています。
	知っておくと便利なパソコンの基礎知識などを記載しています。
☞	この説明書の参照ページや、参照する他の説明書を示します。

キーの表示について

キーボードのキーを押す操作では、キーを枠で囲んでいます。

また、複数のキーを同時に押すときは、「+」でつないで表記しています。

例）**Fn** + **F5**

画面上のボタンについて

画面に表示されるボタン（ OK など）は、［　］で囲んで表記しています。

例）［OK］をクリックします。

画面上のメニュー項目などについて

メニュー項目や、画面やアイコンの名称などは「　」で囲んで表記しています。

例）● スタートメニューから「設定」－「コントロールパネル」をクリックします。

● 「画面のプロパティ」画面が表示されます。

文字入力について

キーボードを使って文字を入力する内容は、太字または「　」で囲んで表記しています。特に指定がない限り半角文字を入力してください。

文字入力に大文字･小文字の区別はありませんが、本書では大文字で表記しています。

例）**C:¥MNMANUAL¥SAMPLE.BMP** と入力します。

モデルごとの説明とイラストについて

本書はシリーズ共通の説明書です。操作については、各モデルとも基本的に同じです。各モデルの仕様は、「仕様一覧」（別紙）を参照してください。

本書のイラストは、CD-R/RW & DVD-ROM ドライブ搭載モデルを使用しています。

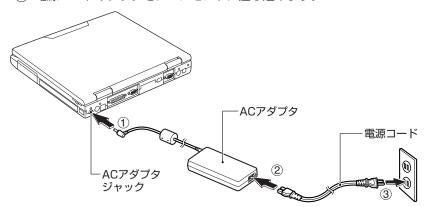
電源の入れ方・切り方

基本的な電源の入れ方と切り方を確認しましょう。
初めて電源を入れるときは、「はじめにお読みください」（別冊）を参照してください。

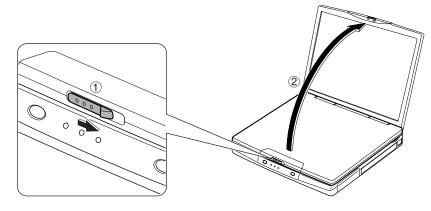
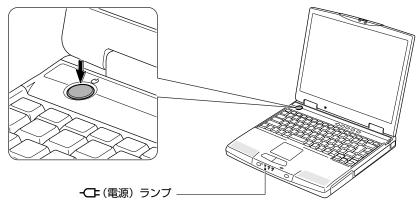
電源を入れる

1 パソコンを電源コンセントに接続します。

下図のように、付属の電源コードとACアダプタを使って接続します。

① ACアダプタのコネクタを、パソコンのACアダプタジャックに「カチッ」と音がするまで差し込みます。
② 電源コードを、ACアダプタに接続します。
③ 電源コードのプラグを、コンセントに差し込みます。

ご注意

- ①②③の各接続部は、しっかりと奥まで差し込んでください。
- ACアダプタは、必ずこのパソコンの付属品（EA-RJ1V）を使用してください。他のACアダプタはこのパソコンを破損することがあります。

2 ディスプレイ固定レバーを右側にスライドさせて(①)、ディスプレイを開きます (②)。

3 電源ボタンを押します。

ランプが緑色に点灯し、Microsoft Windows Millennium Edition (以下 Windows Me と表記します。) が起動します。

電源を切る

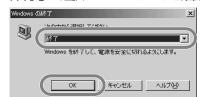
- 、、の各ランプが点灯中は、電源を切らないでください。データが失われたり破壊されたりすることがあります。(☞184、185ページ)
- 再び電源を入れるときは、必ず10秒以上の間隔をおいてください。連続して電源を切ったり入れたりすると、故障の原因になります。

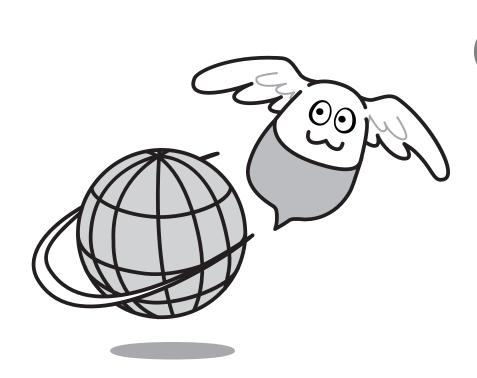
1 [スタート] をクリックします。

スタートメニューが表示されます。

2 「Windows の終了」をクリックします。

3 「終了」が選択されていることを確認し、[OK] をクリックします。

インターネット

インターネットを楽しもう

インターネットを楽しむといっても人それぞれ・・・
世界中の情報を見るだけでなく、チケットの予約やさまざまなショッピングもできます。また、インターネットで知り合った友達とメールをやりとりしたり、ホームページを作って公開することもできます。いろいろ試して、自分らしい楽しみ方を見つけましょう。

インターネットの準備をする

インターネットは、世界中のコンピュータをつないでいるネットワークです。このネットワークを利用して、ホームページを見たり、電子メールをやりとりすることができます。

インターネットに接続するための準備をしましょう

「はじめにお読みください」（別冊）でシャープへのオンラインユーザ登録時にSharp Space Townへの入会（無料体験、または正式入会）申し込み

- した
- していない → 後でSharp Space Townへ オンライン で入会（無料体験、または正式入会）申し込み

「した」の場合

パソコンを設置します

電話回線やコンセントの位置を確認して、パソコンを置く最適な場所を決めて、パソコンを設置します。**パソコンを設置する**（☞22ページ）を参照してください。

お使いの電話回線に接続します

- 家庭用一般電話回線（アナログ回線）
  アナログ回線に接続する（☞23ページ）を参照してください。
- ISDN回線など（デジタル回線）
  デジタル回線に接続する（☞25ページ）を参照してください。
- 携帯電話
  携帯電話でインターネットに接続する（☞33ページ）を参照してください。
- 「0」などの外線発信番号が必要
  発信番号が必要な電話回線を使用する（☞31ページ）を参照してください。

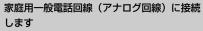
後でSharp Space Townへ オンライン で入会（無料体験、または正式入会）申し込み

- する
- しない

「する」の場合

パソコンを設置します

電話回線やコンセントの位置を確認して、パソコンを置く最適な場所を決めて、パソコンを設置します。**パソコンを設置する**（☞22ページ）を参照してください。

家庭用一般電話回線（アナログ回線）に接続します

アナログ回線に接続する（☞23ページ）を参照して、電話回線を接続してください。「0」などの外線発信番号が必要な場合は、**発信番号が必要な電話回線を使用する**（☞31ページ）を参照してください。

Sharp Space Townへ オンライン で入会申し込みします

Sharp Space Townへオンラインで入会申し込みするためには**「入門ガイド～インターネット&メール～」**（別冊）を参照してください。

Sharp Space Town（シャープスペースタウン）とは ....

「Sharp Space Town」は、シャープが運営しているインターネット接続プロバイダです。国内最大級のバックボーンネットワークをはじめ、さまざまなサービスを提供しています。

後でSharp Space Townへ 郵送 または FAX で正式入会申し込み

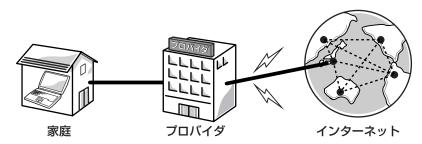
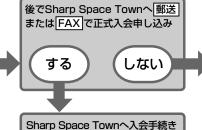
する / しない

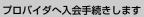
Sharp Space TownまたはSharp Space Town以外のプロバイダへ

すでに入会している / まだ入会していない

入会するプロバイダを決めます

インターネットに接続するにはプロバイダへの入会が必要です。
プロバイダはパソコンをインターネットに接続するサービスをしている会社です。

Sharp Space Townへ入会手続きします

入会申込書を送付し、後日送られてくる書類を手元に準備します。

プロバイダへ入会手続きします

入会を決めたプロバイダへの入会手続きをして、後日送られてくる書類を手元に準備します。

パソコンを設置します

電話回線やコンセントの位置を確認して、パソコンを置く最適な場所を決めて、パソコンを設置します。**パソコンを設置する**（☞22ページ）を参照してください。

お使いの電話回線に接続します

- 家庭用一般電話回線（アナログ回線）.................... **アナログ回線に接続する**（☞23ページ）を参照してください。
- ISDN回線など（デジタル回線）............................ **デジタル回線に接続する**（☞25ページ）を参照してください。
- 携帯電話 .... **携帯電話でインターネットに接続する**（☞33ページ）を参照してください。
- 「0」などの外線発信番号が必要 .... **発信番号が必要な電話回線を使用する**（☞31ページ）を参照してください。

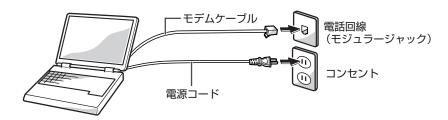
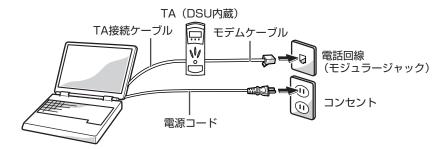
パソコンを設定します

インターネット接続のための設定をします。プロバイダに入会すると、あなたのユーザIDやパスワードが連絡されてきますので、それらを設定します。設定方法については、各プロバイダの説明書を参照してください。

インターネットに接続する準備が整いました。インターネットに接続してホームページを見たり、電子メールを送受信するためには「入門ガイド～インターネット&メール～」（別冊）を参照してください。

パソコンを設置する

電話回線に接続する前にパソコンを設置する場所を決めましょう。「設置するときのお願い」(☞3ページ)をよくお読みになり、付属のモデムケーブルや電源コードの長さを考えて、最適な場所にパソコンを置いてください。

アナログ回線の場合

デジタル回線の場合

ご参考

設置する場所により、付属のモデムケーブルが短い場合は、市販の電話線（モデムケーブル）をお買い求めください。

モデム

パソコンのデータ(デジタル信号)を、一般の電話回線で送ることのできる音(アナログ信号)に変換する装置です。受信するときは逆に、アナログ信号をデジタル信号に変換します。

DSU（Digital Service Unit ／回線接続装置）

ISDN回線などのデジタル回線を利用するためには、DSUと呼ばれる装置に接続する必要があります。このDSUにターミナルアダプタ（TA）などのデジタル対応の通信装置を接続することで、デジタル回線が利用できます。最近のTAにはこのDSUが内蔵されているものが多くあります。

電話回線に接続する

電話回線には家庭用一般電話回線（アナログ回線）とISDNなどのデジタル回線があります。それぞれの接続方法は異なりますので、手順に従って接続してください。

アナログ回線に接続する

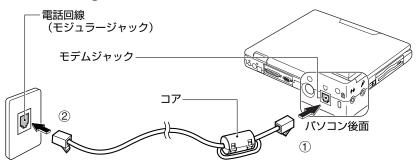
パソコンを電話回線に接続するには、付属のモデムケーブルを使って、パソコンのモデムジャックと壁のモジュラージャックを接続します。

内蔵モデムはアナログ回線専用です。以下のようなデジタル回線には接続しないでください。故障の原因となります。

- ISDN 回線
  （TA（ターミナルアダプタ）を経由して接続してください。）
- 構内交換機（PBX）のデジタル回線
- 公衆電話のデジタル（ISDN）回線

1 パソコンの電源を切ります。

2 パソコンを電話回線に接続します。

付属のモデムケーブルのコアのある方のコネクタを、パソコンのモデムジャックに差し込みます（①）。もう一方のコネクタを、壁のモジュラージャックに差し込みます（②）。

 LAN ジャックに差し込まないでください

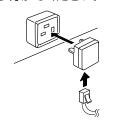
形状が似ているので、よく確かめてから差し込んでください。誤ってLAN ジャックに差し込むと、故障の原因になります。

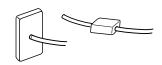
3 パソコンの電源を入れます。

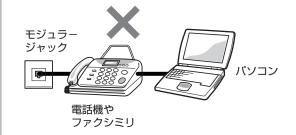
ご参考

● **モジュラータイプ以外の電話回線で使うには**

3 ピンや 4 ピンの場合には

3 ピンや 4 ピンのジャック形のときは、市販の変換アダプタを取り付けてください。

ローゼットタイプの場合は

差し込み式になっていないときは、最寄りのNTTに連絡して、モジュラージャックの取り付け工事を依頼してください。電話工事資格を持たない人が工事を行うことは認められていません。

● **直接、パソコンとモジュラージャックを接続してください**

電話やファクシミリを経由して接続すると、正しく通信できないことがあります。

内蔵モデムを使用するときの準備

内蔵モデムを使用するためには、次の準備が必要です。

- 付属のモデムケーブルでパソコンを電話回線に接続する。（☞ 前ページ）
- 「電源の管理のプロパティ」画面で「システムスタンバイ」および「システム休止状態」を「なし」にする。
- インターネットの接続設定や通信ソフトウェアの設定でモデムやCOMポートの選択が必要な場合は、以下のように設定する。

モデム名	: HSP56 MR
COM ポート	: COM3

ご注意　**内蔵モデム使用時には音楽 CD を再生しないでください**

音楽再生ソフト（Windows Media Player など）で音楽 CD を再生しているときは、内蔵モデム使用前に終了してください。音楽CDを再生したままで内蔵モデムを使用すると、音が止まります。このような状態になった場合は、パソコンを再起動してください。

内蔵モデムの通信速度について

このパソコンの内蔵モデムは、「V.90」および「K56flex」方式を採用しています。

- 最大通信速度は受信時と送信時で異なります。受信時は56,000bps（理論値）、送信時は 33,600bps です。（bps=bit per second；ビット／秒）
- 接続先（プロバイダなど）が「V.90」または「K56flex」に対応していない場合、最大通信速度は送受信とも 33,600bps になります。
- 電話回線および接続先（プロバイダなど）の状況によっては、通信速度が遅くなることがあります。
- 内蔵モデムはソフトウェアモデムを採用していますので、使用状態によってはPCカードモデムや外付けモデムに比べて通信速度が遅くなることがあります。

ご注意　**内蔵モデムを海外で使用しないでください**

内蔵モデムは、日本国内での使用を目的に設計されています。
国によって電話回線の仕様が異なるため、海外の電話回線に接続すると誤動作や故障の原因になります。

ご参考

内蔵モデムの機器名と認証番号については、仕様一覧（別紙）を参照してください。

デジタル回線に接続する

パソコンをデジタル回線（NTT などの ISDN 回線）に接続するには、TA（ターミナルアダプタ）と呼ばれる機器が別途必要です。TAとの接続方法や設定方法についてはTA の説明書を参照してください。

使用する電話回線を設定する

パソコンの内蔵モデムを使用するには、電話回線の設定が必要です。

1 **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「モデム」アイコンをダブルクリックします。**

「モデムのプロパティ」画面が表示されます。

「モデム」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

2 **[ダイヤルのプロパティ] をクリックします。**

「所在地情報」が表示されます。

3 **登録名、国名、市外局番、ダイヤル方法などを設定します。**

登録名

「会社」「自宅」など、わかりやすい名前を付けると便利です。

国名／地域

「日本」を選択します。

市外局番

使用する場所の市外局番を入力します。

外線発信番号

「0」などの外線発信番号が必要なときに設定します。(☞31 ページ)

ダイヤル方法

使用する電話回線に合わせて、「トーン」または「パルス」を選びます。ダイヤル中に「ピッポッパ」と聞こえるときはトーン式、「ジジジ」または「タタタ」と聞こえるときはパルス式です。

ダイヤル方法がわからない場合は、ご契約の電話会社（NTTなど）にお問い合わせください。

4 【OK】をクリックして「モデムのプロパティ」画面に戻ります。

5 【OK】をクリックして画面を閉じます。

6 画面右上の ✕ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

複数の電話回線を使い分ける

複数の電話回線を利用するときは、内蔵モデムをそれぞれに合った設定にする必要があります。たとえば、会社ではトーン式、自宅ではパルス式の電話回線を使うときなどは、それぞれの設定を登録し、接続する前に切り替えて使用します。

新しく使用する電話回線の設定を登録する

1 スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「モデム」アイコンをダブルクリックします。

「モデムのプロパティ」画面が表示されます。

「モデム」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

2 [ダイヤルのプロパティ] をクリックします。

「所在地情報」が表示されます。

3 [新規] をクリックします。

4 「新しい場所が作成されました」と表示されたら、[OK] をクリックします。

5 「登録名」欄に登録名を入力します。

「会社」「自宅」など、わかりやすい名前を付けると便利です。

6 国名、市外局番、外線発信番号、ダイヤル方法などを設定します。（☞26ページ）

7 [OK] をクリックして「モデムのプロパティ」画面に戻ります。

8 [OK] をクリックして画面を閉じます。

9 画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

電話回線の設定を切り替える

1 スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「モデム」アイコンをダブルクリックします。

「モデムのプロパティ」画面が表示されます。

「モデム」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

2 [ダイヤルのプロパティ] をクリックします。

「所在地情報」が表示されます。

3 「登録名」の ▼ をクリックし、利用する電話回線に合った登録名を選びます。

4 [OK] をクリックして「モデムのプロパティ」画面に戻ります。

5 [OK] をクリックして画面を閉じます。

6 画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

発信番号が必要な電話回線を使用する

内蔵モデムを使って構内交換機（PBX）から外線にダイヤルするとき、「0」などの発信番号が必要な場合があります。発信番号が必要な回線を利用するときは、次のように設定してください。

ご参考

下記の設定をしても、インターネットに接続できない場合は、外線直通の電話回線に接続してください。

1 **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「モデム」アイコンをダブルクリックします。**

「モデムのプロパティ」画面が表示されます。

「モデム」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

2 **[ダイヤルのプロパティ] をクリックします。**

3 **登録名、国名、市外局番、外線発信番号、ダイヤル方法などを設定します。**

外線発信番号

「0」などの外線発信番号が必要なときに設定します。「0」に続けて「,」（カンマ）を入力しておくことをお勧めします。「,」（カンマ）を入力しておくと、構内交換機（PBX）が外線に切り替わる間、次の番号をダイヤルせずに待つことができます。「,」（カンマ）の数を増やすと待ち時間が長くなります。

外線発信番号以外の項目（☞26 ページ）

4 [OK] をクリックして「モデムのプロパティ」画面に戻ります。

5 「HSP56 MR」が選択されていることを確認し、[プロパティ] をクリックします。

6 「接続」タブをクリックし、[詳細設定] をクリックします。

7 「追加設定」欄に「ATX3」と入力し、[OK] をクリックします。

8 [OK] をクリックして「モデムのプロパティ」画面に戻ります。

9 [閉じる] をクリックして画面を閉じます。

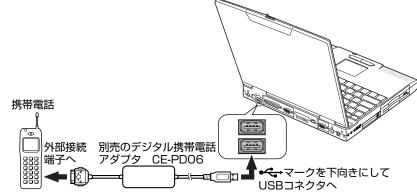
10 画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

携帯電話でインターネットに接続する

別売のデジタル携帯電話アダプタ（CE-PD06）を使うと、携帯電話を使ってインターネットに接続することができます。

1 **携帯電話の電源を切ります。**

2 **パソコンと携帯電話をデジタル携帯電話アダプタで接続します。**

上下2つのUSBコネクタのどちらに接続してもかまいません。

3 **携帯電話の電源を入れます。**

ご参考

- デジタル携帯電話アダプタは、9600bpsデータ通信に対応したデジタル携帯電話専用です。cdmaOne/PHS（簡易型携帯電話）およびアナログ携帯電話は使用できません。
- デジタル携帯電話アダプタと携帯電話との接続方法／取り外し方法および注意事項などについては、携帯電話およびデジタル携帯電話アダプタの説明書を参照してください。

携帯電話でインターネットに接続するときの準備

携帯電話を使ってインターネットに接続するためには、次の設定が必要です。

- デジタル携帯電話アダプタに付属のドライバ（SHARP MultiMobile2ドライバ）をパソコンにインストールする。
  パソコンに初めてデジタル携帯電話アダプタを接続したときは、「新しいハードウェアの追加」ウィザードが表示されます。デジタル携帯電話アダプタの説明書を参照して、SHARP MultiMobile2 ドライバをインストールしてください。
- 「電源の管理のプロパティ」画面で「システムスタンバイ」および「システム休止状態」を「なし」にする。
- インターネットの接続設定をする。（☞ 次ページ）

インターネットの接続設定をする

携帯電話を使ってインターネットに接続するときは、改めて携帯電話用の接続設定をする必要があります。
ここでは、すでにプロバイダと契約している場合を例に説明します。お手元にプロバイダ発行の会員情報(ユーザー名[ID]、パスワード、メールアドレスなど)を用意してください。

1 スタートメニューから「プログラム」ー「アクセサリ」ー「通信」ー「インターネット接続ウィザード」をクリックします。

2 「インターネット接続を手動で設定するか、ローカルエリアネットワーク(LAN)を使って接続します」を選択し、[次へ]をクリックします。

3 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択し、[次へ]をクリックします。

4 使用するモデムに「SHARP MultiMobile2」を選択し、[次へ]をクリックします。

5 「国番号と市外局番を使用してダイヤルする」をクリックしてチェックマークを外します。

6 アクセスポイントの電話番号を市外局番から半角で入力し、[次へ]をクリックします。

NTT ドコモのドッチーモを使って PHS モードで接続する場合

- PIAFS対応のアクセスポイントの電話番号を入力し、末尾に以下の文字を入力してください。
  - ･64kbps で接続する場合： ##16
  - ･32kbps で接続する場合： ##13
- DNSサーバを設定する必要がある場合は、[詳細設定]をクリックします。詳しくは、プロバイダの説明書を参照してください。

7 インターネットに接続するときのユーザー名とパスワードを入力し、[次へ] をクリックします。

8 ダイヤルアップ接続名を入力し、[次へ] をクリックします。

ここまで設定した内容（使用するモデム、電話番号、インターネットのアカウントに関する情報など）は、すべてダイヤルアップ接続として保存されます。接続名には、「携帯電話用」などわかりやすい名前をつけてください。

9 メールアカウントの設定をする場合は「はい」、しない場合は「いいえ」を選択し、[次へ] をクリックします。

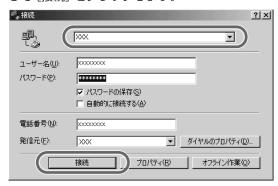
10 手順 9 で「はい」を選択した場合、画面の指示に従って必要な設定をします。

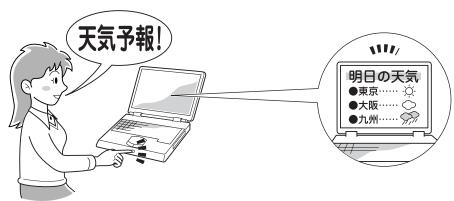
詳しくは、各プロバイダの説明書を参照してください。

手順9で「いいえ」を選択した場合、[完了] をクリックして、インターネット接続ウィザードを終了します。

インターネットに接続するには

インターネット接続ウィザード（☞ 上記手順 **10**）で、[完了] をクリックすると「接続」画面が表示されます。

欄に登録した接続名（☞ 上記手順 **8**）が表示されていることを確認して [接続] をクリックします。

ホームページを声で呼び出す

「ボイスインターネットコール」(ホームページ音声呼出ソフト)を使えば、登録したホームページの読みを声で入力するだけで、自動的に呼び出すことができます。詳しい使い方については、ボイスインターネットコールのヘルプを参照してください。

ご参考

- 声でホームページを呼び出すには、あらかじめ登録が必要です。
- インターネットの接続設定をしていない場合は、「インターネット接続ウィザード」画面が表示されます。そのときは、画面の表示に従って必要な設定をしてください。

ボイスインターネットコールにホームページを登録する

ボイスインターネットコールを使うには、呼び出したいホームページをあらかじめ登録しておく必要があります。

1 タスクバーの「ボイスインターネットコール」アイコン( )を右クリックし、表示されるメニューから「ホームページ登録」を選択します。

「ボイスインターネットコールホームページ登録」画面が表示されます。
タスクバーに が表示されていないときは、スタートメニューから「プログラム」－「SHARP ボイスインターネットコール」－「ボイスインターネットコール」をクリックして を表示させます。

2 登録したいホームページのアドレス、読み、タイトルを入力します。

「登録済みのホームページ一覧」には、あらかじめ登録されているホームページが表示されています。

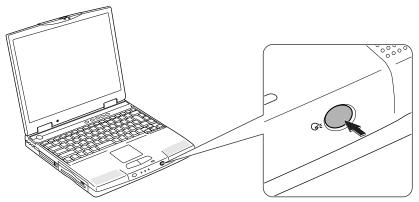
3 入力が終わったら、[新規登録] をクリックします。

「登録済みのホームページ一覧」に、入力したホームページが追加されます。

4 [閉じる] をクリックします。

ホームページを声で呼び出す

ボイスインターネットコールの使い方を、簡単に説明します。

1 パソコン前面の音声認識ボタンを押します。

タスクバーの「ボイスインターネットコール」アイコン（ ）が に変わります。

タスクバーに が表示されていないときは、スタートメニューから「プログラム」－「SHARP ボイスインターネットコール」－「ボイスインターネットコール」をクリックして を表示させます。

2 **音声認識ボタンを押したまま、マイクに向かって呼び出したいホームページの読みを読み上げます。**

ブラウザソフトが起動して、「接続」画面が表示されます。

3 **[接続] をクリックします。**

設定されているプロバイダのアクセスポイントに電話をかけ、呼び出したホームページが表示されます。

接続が完了するとタスクバーに が表示されます。

4 **ホームページを見終わったら、 をダブルクリックします。**

5 **[切断] をクリックします。**

ホームページは表示されたまま、インターネット接続が解除されます。

この状態でゆっくりホームページの内容を見ることができます。

画面上のボタンをクリックしたり、リンクされたホームページをクリックしたりしたときは、必要に応じて「接続」画面が表示されます。

6 **ブラウザソフトを終了するには、 画面右上の をクリックします。**

マイクの入力音量設定について

付属のマイクでパソコンナビ2001-リッキーくん- (音声対応操作ナビゲーションソフト)を使用した後、ボイスインターネットコールを使用する場合は、以下の手順でマイクの入力音量を最適な状態に設定し直してください。

① タスクバーの を右クリックし、「マイク音量設定」を選択します。

② 「選択」にチェックマークが付いていることを確認します。

③ 音量つまみをドラッグして音量を調節します。

④ [閉じる] をクリックします。

インターネット 毎日新聞ニュースを読む

ここでは、メビウステロッパーを使って毎日新聞ニュースを読む方法について説明します。

毎日新聞ニュースとは

毎日新聞社が配信しているインターネットニュースです。スポーツニュースや社会記事などが随時更新されています。

メビウステロッパーとは

インターネットに接続したときに、ニュースを自動的に取得してテロップ表示するソフトウェアです。簡単なテキストファイルをコンピュータに保存しておいて、そのテキスト情報をテロップ表示させることもできます。

毎日新聞ニュースを読む

毎日新聞ニュースを取得するように設定する

1 スタートメニューから「プログラム」ー「SHARP メビウステロッパー」ー「インターネットニュースの設定」をクリックします。

2 「ダイヤルアップ接続でインターネットに接続した時」をクリックしてチェックマークを付けます。

3 [OK] をクリックします。

毎日新聞ニュースを読む

メビウステロッパーは、パソコンがインターネットに接続されると自動的に専用のサーバに接続し、ニュースを取得します。メビウステロッパーがニュースを取得すると、タスクバーに が表示されます。
取得した毎日新聞ニュースを読むには、タスクバーの をクリックします。メビウステロッパーが起動し(すでに起動されているときは最前面に表示され)、ニュースがテロップ表示されます。いったん取得したニュースは、インターネットに接続していない状態でも読むことができます。

毎日新聞ニュースは、インターネットに接続されるたびに自動的に更新されます。

ご参考

- スタートメニューから「プログラム」ー「SHARP　メビウステロッパー」ー「メビウステロッパー」をクリックしてメビウステロッパーを起動することもできます。
- 毎日新聞ニュースを取得していない場合は、ニュース記事の代わりに「データがありません」と表示されます。
- テロップ表示中に赤色の文字をクリックすると、毎日新聞のホームページを表示させることができます。

- すでにインターネットに接続されている状態でメビウステロッパーの「チャンネル」メニューから「最新の情報に更新」をクリックすると、新しいニュースに更新されます。

メビウステロッパーの設定を変更する

メビウステロッパーでニュースを取得する間隔や、テロップ表示の文字の大きさや色などをお好みにあわせて変更することができます。詳しくはメビウステロッパーのヘルプを参照してください。

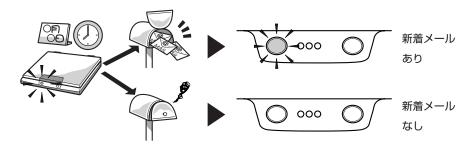
インターネット メール着信ランプでメールチェックする

メールチェック機能を使うと、曜日と時刻を指定して自動的に自分あてのメールをチェックできます。また、メール着信ランプ（ボタン）を押すだけで、簡単にチェックすることもできます。

新しいメールが届いていたら

メール着信ランプが点灯します。家族や大切な友人からのメールはすぐにわかるように、ランプの色を変えることもできます。メールはチェック時に受信しているので、改めてインターネットに接続せずに読むことができます。

新しいメールがなかったら

メール着信ランプは点灯しません。

メール着信ランプでメールチェックするための準備

- ACアダプタと電話回線を接続する。
- セットアップユーティリティとWindowsのパスワードを解除する。
- Windows起動時にメールソフトが自動的に起動しないようにする。
- ダイヤルアップ接続と受信メールサーバのパスワードを保存する。
- お使いのメールソフトでメールの送受信ができるか確認しておく。
- メール着信ランプを設定する。（☞次ページ）

ご参考

- メールチェックをすると、新着メールがなかったときでもインターネット接続料金と電話料金がかかります。
- ご購入時の設定では、メールチェック終了後はパソコンは起動したままです。スタンバイまたは休止状態に入るまでの時間を短くすると、消費電力を節約できます。（☞66ページ）
- メールチェック機能をご利用になるときは、Microsoft Outlook Express（付属のメールソフト、以下Outlook Expressと表記します。）をお使いになることをお勧めします。使い方についてはOutlook Expressのヘルプを参照してください。他のメールソフトでは正常に動作しないことがあります。

メール着信ランプを設定する

メールチェック機能を利用するには、まずメール着信ランプの設定をする必要があります。

1 **メール着信ランプの「かんたん設定」を起動します。**

① タスクバーの をクリックします。

②「メール着信ランプ」をクリックします。

③「かんたん設定」をダブルクリックします。

「メール着信ランプ ーはじめにー」画面が表示されます。

2 **表示の内容をよく読み、［次へ］を 2 回クリックします。**

3 **「メールソフト」の を押して表示されるメニューから、お使いのメールソフトを選択して、［次へ］をクリックします。**

Outlook Express 以外のメールソフトをお使いの場合

「その他のメールソフト」を選択し、［次へ］をクリックしてください。手順 **5** へ進みます。

4 **お使いのメールアカウントが表示されていることを確認し、［次へ］をクリックします。**

複数のメールアカウントをお使いの場合は、「メールアカウント」の をクリックして、メールチェックに使うアカウントを選択してください。

Outlook Express で複数のメールアカウントを設定している場合

メール着信ランプで利用するメールアカウント以外のメールアカウントは、プロパティ画面で「メールの受信時および同期時にこのアカウントを含める」のチェックマークを外しておいてください。

5 **メールサーバの情報を確認し、[次へ] をクリックします。**

Outlook Express をお使いの場合

メールサーバの情報はすでに入力されています。

Outlook Express 以外のメールソフトをお使いの場合

お使いのメールソフトで設定しているメールサーバの情報を入力してください。

6 **指定した時刻に自動的にメールチェックするかを選び、[次へ]をクリックします。**

「自動受信する」を選んだ場合は

メールチェックさせたい曜日と時刻を設定し、[次へ]をクリックします。時刻は 1 日 3 回まで設定できます。

7 **家族や大切な友人など特定の人からのメールが届いたときにメール着信ランプの色を変えるかを選択し、[次へ] をクリックします。**

メール着信ランプの色を変えたいときは、以下の手順でアドレスを指定します。

①[追加] をクリックします。

②「追加したいメールアドレス」にアドレスを入力し、[OK (I)] をクリックします。「インターネットエクスプローラのアドレス帳」にアドレスが表示されている場合は、追加したいアドレスをリストから選び、[OK (E)] をクリックします。

③「指定アドレス」欄にメールアドレスが表示されていることを確認し、[次へ] をクリックします。

Outlook Express 以外のメールソフトをお使いの場合

[次へ]をクリックしたあと、「メールソフトの設定」画面が表示されます。表示の内容をよく読み、メールソフトの設定を終わらせてから[次へ]をクリックしてください。

8 **表示内容を確認し、[完了] をクリックします。**

9 **「メール着信ランプ設定」をダブルクリックします。**

「メール着信ランプ設定」画面が表示されます。

10 **「オプション」タブをクリックし、「メールチェック後、ダイヤルアップを切断する」をクリックしてチェックマークを付け、[OK] をクリックします。**

「オプション」タブでは、電源オフから起動したときだけメールチェック後に電源オフするよう設定できます。

11 **画面右上の ✕ をクリックして「メール着信ランプ設定」画面を閉じます。**

メール着信ランプの設定を変更する

使用するメールソフトやプロバイダを変更したとき、または、別のメールアカウントを利用するときは、メール着信ランプの設定をリセットする必要があります。「メール着信ランプ設定」画面の「メールソフトの設定」タブで、[リセット]をクリックしてください。確認のメッセージが表示されますので、[はい]をクリックしたあと [OK] をクリックし、42 ページの手順 **1** から改めて設定をやり直してください。

その他のメール着信ランプの設定は、「メール着信ランプ設定」画面で変更できます。

- 「タイマー」タブ ------- メールチェックを実行する曜日や時刻を変更できます。
- 「ランプ色」タブ ------- 指定アドレスを変更できます。
- 「オプション」タブ ---- 電源オフからメールチェックしたときに電源オフに戻したり、メールチェック後、回線を切断するように設定できます。

メールをチェックする

メールチェック機能を使ってメールチェックするには、次の2通りがあります。

- 指定した時刻に自動的にメールチェックする
- ボタンを押してメールチェックする

メールチェック機能を使う前に、**メール着信ランプでメールチェックするための準備**（☞41ページ）ができているか、確認しておいてください。

指定した時刻に自動的にメールチェックする

曜日と時刻を設定しておくと、パソコンが自動的にインターネットに接続して、メールチェックします。

1 **メール着信ランプの「かんたん設定」で「自動受信する」を選択し、曜日と時刻を設定します。****（☞43ページの手順6）**

「メール着信ランプ設定」画面を表示して、曜日と時刻を設定することもできます。（☞前ページ）

2 **設定した時刻になるとメールソフトが起動し、回線接続後、メールチェックされます。**

新着メールがあるとき

メールの受信が終了すると、メール着信ランプ（ボタン）が点灯し、メールソフトが終了します。

新着メールがないとき

メールソフトが終了します。

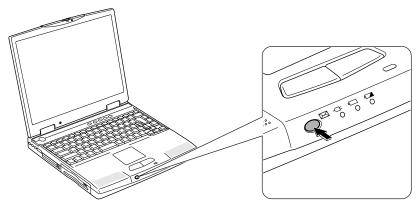
ご参考

ACアダプタを接続しているときは、電源オフ状態で指定時刻になると、Windows起動後、メールソフトが起動します。

ボタンを押してワンタッチでメールチェックする

メール着信ランプ（ボタン）を押して、新着メールの有無を確認することができます。

1 メール着信ランプ（ボタン）を押します。

メール着信ランプが点滅します。

しばらくすると、メールソフトが起動し、回線接続後、メールチェックされます。

新着メールがあるとき

メールの受信が終了すると、メール着信ランプ（ボタン）が点灯します。メールソフトは起動したままですので、メールを読むことができます。

新着メールがないとき

メールソフトが終了します。

ご参考

ACアダプタを接続しているときは、電源オフ状態でボタンを押すと、Windows 起動後、メールソフトが起動します。

新着メールを読む

メール着信ランプ（ボタン）が点灯しているときにメール着信ランプ（ボタン）を押すと、メールソフトが起動するので、新着メールを読むことができます。

メールソフトが起動すると自動的に電話回線に接続します。メールチェックしたくない場合は、[キャンセル] をクリックしてください。

受信済みのメールを読むには

メール着信ランプ（ボタン）が消灯しているときに、受信済みのメールを読むには、以下の方法でメールソフトを起動してください。

- Outlook Express を使用している場合は、クイックスタートボタンの ✉（メール）ボタンを押す。
- タスクバーの Outlook Express ボタン（ ）をクリックする。
- メールソフトのアイコンをダブルクリックする。
- スタートメニューのプログラムからメールソフトを起動する。

メールチェックの結果を見る

メールを受信すると、メール着信ランプ（ボタン）で次のようにお知らせします。

メール着信ランプ（ボタン）

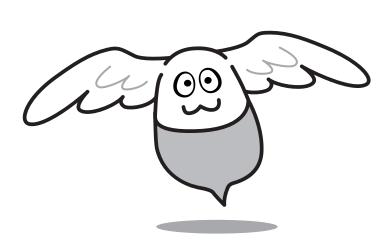
オレンジ色点灯	：新着メールあり（指定アドレスのメールあり）
緑色点灯	：新着メールあり（指定アドレスのメールなし）
消灯	：新着メールなし

点灯しているメール着信ランプ（ボタン）は次のときに消灯します

- Windows を起動したとき（受信をお知らせするメッセージが表示されます。）
- メール着信ランプ（ボタン）を押したとき（新たにメールを受信した場合は、再び点灯しますが、メールソフトを終了すると、ランプは消灯します。）
- メールソフトでメールチェックしたとき
- スタンバイから復帰したとき（受信をお知らせするメッセージが表示されます。）

通信

データをやりとりしよう

このパソコンで作ったデータを、もう一台のパソコンに移したい。自分のパソコンを、会社のネットワークにつないで活用したい。デジタルカメラで撮った画像を、パソコンに取り込みたい……この章では、そんなとき必要なデータのやりとりの方法を紹介します。

PC カードでデータをやりとりする

相手のパソコンに PC カードスロットがある場合は、市販の PC カード型メモリカードを使ってデータをやりとりできます。

メモリカードにデータを保存し、相手のパソコンのスロットに差し込むと、デスクトップの「マイコンピュータ」の中にドライブとして表示されます。

ご参考

PC カードの使い方については、**PCカードを使う**（☞130ページ）を参照してください。

デジタルカメラの画像を取り込む

デジタルカメラで撮影してスマートメディアなどに保存された画像データは、PCカード型アダプタなどを使ってパソコンに取り込むことができます。

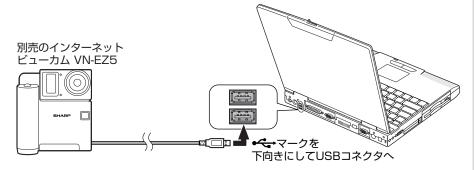
デジタルカメラの画像を取り込む

デジタルカメラの画像は、スマートメディアなどの記録媒体に保存されます。保存されたデータをパソコンに取り込むには、市販のPCカード型アダプタを使用して、PC カードスロットに差し込みます。

ご参考

- PC カードの使い方については、**PCカードを使う**（☞130ページ）を参照してください。
- 必要なドライバソフトやアプリケーションソフトについては、デジタルカメラの説明書を参照してください。

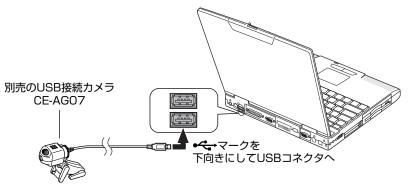
インターネットビューカムの画像を取り込む

別売のインターネットビューカム（VN-EZ5）で撮影した画像データをパソコンに取り込むときは、別売のパソコン接続キット（VR-PKEZ5W）を使用して、インターネットビューカムをUSBコネクタに接続します。上下2つのUSBコネクタのどちらに接続してもかまいません。

画像データの取り込みや再生には、パソコン接続キットに付属の「ピクスラボブラウザ」を使用してください。詳しくは、パソコン接続キットの説明書を参照してください。

 ご参考

パソコン接続キットに付属されている「ピクスラボブラウザ」以外のソフトの動作環境については、インターネットビューカムプラザホームページ（http://inet-viewcam.sharp.co.jp/）を参照してください。

USB 接続カメラで画像を取り込む

USB コネクタと別売の USB 接続カメラ（CE-AG07）を接続すると、静止画や動画が取り込めます。上下 2 つの USB コネクタのどちらに接続してもかまいません。

静止画や動画を取り込むには、付属の「カメラビューア」（USB カメラ用画像キャプチャソフト）を使います。画像の取り込みの操作については、カメラビューアのヘルプを参照してください。

通信 赤外線（光）通信を使う

赤外線(光)通信を使うと、赤外線通信ポートを装備したパソコンやプリンタなどとケーブルを接続せずにデータをやりとりできます。

赤外線通信モードについて

- このパソコンで使用する赤外線通信モードは、IrDA です。
  IrDA： 赤外線通信の方式(赤外線モード)のひとつで、赤外線通信の標準化団体（IrDA）によって標準化された方式。
- このパソコンでは、ASK 方式での赤外線の通信はできません。

赤外線通信に失敗しないために

次の準備をしてください。

- セットアップユーティリティで Advanced メニュー（☞146 ページ）の「I/O Device Configuration」の設定を確認する。（この項目は、ご購入時に設定されています。）
  「COM2 port」項目：「Auto」
  「Mode」項目　　：「IrDA」
- 「電源の管理のプロパティ」画面で「システムスタンバイ」および「システム休止状態」を「なし」にする。
- スクリーンセーバーを「なし」に設定する。

赤外線通信する

赤外線を使ってデータをやり取りするには、赤外線通信ポートを向かい合わせ、互いの距離が 10 ～ 50 cm になるように配置してください。

通信中は

- パソコンおよび通信相手を動かさないでください。
- 他の赤外線通信機器の近くや、直射日光や蛍光灯などの強い光が当たるところでの通信は避けてください。
- 近くで携帯電話や PHS などを使用しないでください。
- ディスプレイパネルを閉じるなどして、スタンバイおよび休止状態に移行しないでください。

パソコン間で赤外線通信する

Windows Meを搭載しているパソコンには、次の手順でファイルの送信ができます。

1 **それぞれのパソコンの赤外線通信ポートがまっすぐに向き合うように設置します。**

正しく赤外線ポートが向き合うと、タスクバーに赤外線インジケータ（ ）が表示されます。

2 **タスクバーの赤外線インジケータ（ ）をクリックします。**

3 **「ワイヤレスリンク」画面で送信するファイルを選択し、[送信]をクリックします。**

受信側パソコンがWindows Me搭載機の場合は、「このファイルを受信しますか？」と表示されますので、[はい]をクリックすると、デスクトップにファイルが送信されます。

ショートカットメニューで送信するには

送信したいファイルを右クリックし、表示されるメニューで「送る」－「赤外線の受信側」をクリックします。

ご参考

Windows 98搭載パソコンと通信するときや、うまく送信できないときは、どちらかのパソコンの通信速度を115.2kbps以下に設定してください。

通信 ネットワークに接続する（LAN）

パソコンを会社などのネットワークに接続して使うには、市販のLANケーブルを使って、パソコンの LAN ジャックとハブを接続します。

使用する LAN ケーブルについて

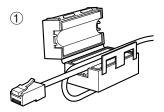
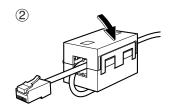
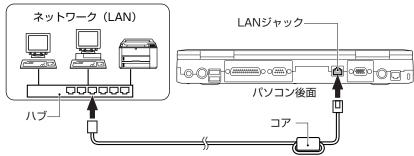
10BASE-T の LAN に接続する場合はカテゴリ 3 以上、100BASE-TX の場合はカテゴリ 5 のケーブルを使用してください。

1 **パソコンの電源を切ります。**

2 **市販のLANケーブルを用意し、LANケーブルの一方のコネクタにできるだけ近い位置に付属のコア（LAN ケーブル用）を付けます。**

コアに LAN ケーブルを巻き付けてから（①）、「カチッ」と音がするように閉じてください（②）。（コアは、パソコンから電波がもれるのを防ぐための部品です。）

①

②

3 **コア側のコネクタをパソコンの LAN ジャックに差し込みます。**

4 **もう一方のコネクタをハブに差し込みます。**

5 **パソコンの電源を入れます。**

6 **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。**

「ネットワーク」画面が表示されます。

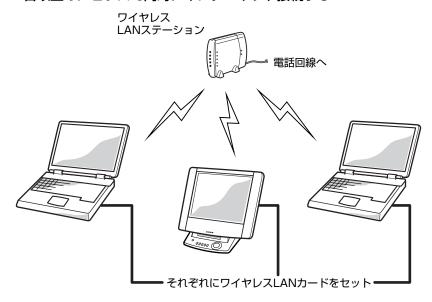
7 **使用するネットワークに合わせて設定をします。**

設定内容については、ネットワーク管理者に確認してください。

無線でネットワーク（LAN）を使う

別売のワイヤレス LAN カード（CE-WC01）やワイヤレス LAN ステーション（CE-WA01）を使うと、ケーブルを接続せずに、次のような使い方ができます。

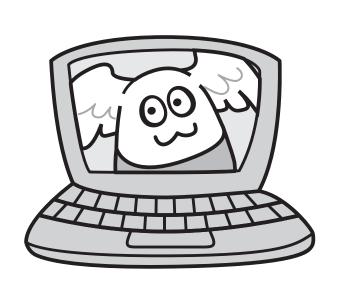
2 台以上のメビウスでデータのやり取りをする

2 台以上のメビウスで同時にインターネット接続する

ご参考

ワイヤレスLANカードやワイヤレスLANステーションの使い方については、それぞれの説明書を参照してください。

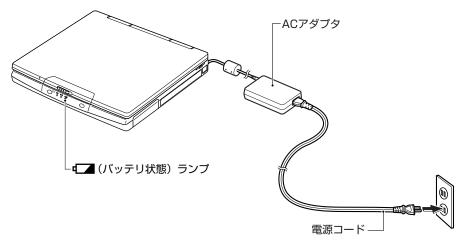
基本操作

操作のしかたを確かめよう

バッテリやキーボードの使い方、ディスプレイの調整、CDの読み込み、フロッピーディスクへの保存、大切なデータをバックアップする方法など、この章ではパソコンの基本的な操作について説明しています。たくさんの機能がありますが、全部を通して読む必要はありません。必要な項目からお読みください。

基本 バッテリを使いこなす

ACアダプタを接続していないときは、パソコンの電源は内蔵のバッテリパックから供給されます。バッテリパックを上手に使いこなすために、充電や残量確認の方法、バッテリ切れの警告などについて知っておきましょう。

バッテリパックを充電する

バッテリパックを充電するといっても、特別な操作は必要ありません。
AC アダプタを接続するだけで充電が始まり、満充電になると充電が止まります。

充電中の状態は

（バッテリ状態）ランプで確認できます。

オレンジ点灯	充電中
緑点灯	満充電

ご参考

- オレンジ色の点灯が消えたときは、バッテリパックの温度が上がり過ぎたため、充電が一時中止されています。温度が下がると充電が再開されます。
- ランプがオレンジ色に点滅しているときは、バッテリパックが正しく装着されていない可能性があります。パソコンの電源を切り、いったん、ACアダプタとバッテリパックを取り外し、バッテリパックを装着し直してから、再度ACアダプタを接続してみてください。それでも同じなら、バッテリパックまたはパソコンの充電回路の異常が考えられます。お買い上げの販売店にご連絡ください。

充電時間は

次のとおりです。（バッテリ残量が空の状態から満充電になるまで）

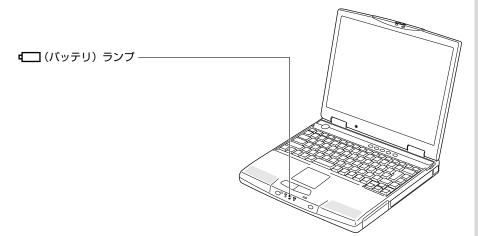
電源オフで充電したとき	約 2.5 時間
電源オンで充電したとき	約 5 時間

ご参考

長時間使用している場合など、バッテリパックの温度が高くなっているときは、充電時間が長くなることがあります。

バッテリの残量を確かめる

ACアダプタを外して、バッテリで使用しているときは、 （バッテリ）ランプが点灯します。

満充電時の使用時間については、**仕様一覧**（別紙）を参照してください。

バッテリの残量を確認する

タスクバーの の上に、マウスポインタを移動します。

バッテリの残量がパーセント表示されます。

をダブルクリックして、「電源メーター」画面で確認することもできます。

ご参考

- バッテリの残量表示は概算によるものです。使用状況によって誤差が生じますので目安としてお使いください。
- バッテリの残量表示と実際の使用時間の誤差が大きくなったときは、バッテリパックを初期化してください。(☞63ページ)

タスクバーに が表示されていないときは

次のように操作して、表示してください。

1 **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「電源の管理」アイコンをダブルクリックします。**

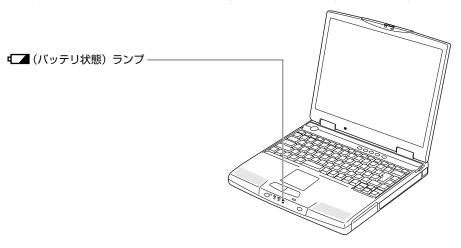
「電源の管理のプロパティ」画面が表示されます。

「電源の管理」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

2 **「詳細設定」タブをクリックし、「アイコンをタスクバーに常に表示する」をクリックしてチェックマークを付け、[OK]をクリックします。**

3 **画面右上の をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。**

バッテリ切れを警告するタイミングや動作を設定する

警告音を鳴らすタイミングや、警告後の動作を設定します。(アラーム設定)

ご参考

バッテリ残量が約10%になると、アラーム設定の内容にかかわりなく、ランプが赤く点滅し、警告音が鳴ります。すぐにデータを保存して電源を切るか、ACアダプタを接続してください。
警告音は、Fn + F10 キーで止まります。

1 スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「電源の管理」アイコンをダブルクリックします。

「電源の管理のプロパティ」画面が表示されます。
「電源の管理」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

2 「アラーム」タブをクリックし、各項目のつまみをドラッグします。

「バッテリ低下の警告」： 「バッテリ消耗の警告」より大きい値に設定してください。

「バッテリ消耗の警告」： 5%以上の値に設定してください。
「警告後のコンピュータの動作」を「休止状態」に設定するときは、7 %以上に設定してください。

3 **それぞれの項目の［警告の動作］をクリックします。**
「バッテリ残量低下の警告の動作」または「バッテリ消耗の警告の動作」画面が表示されます。

4 **「警告後のコンピュータの動作」をクリックしてチェックマークを付け、動作内容を設定し、［OK］をクリックします。**
「バッテリ消耗の警告」の「警告後のコンピュータの動作」は「スタンバイ」に設定しないでください。

5 **［OK］をクリックして画面を閉じます。**

6 **画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。**

バッテリパックを初期化する

バッテリパックは残量のあるうちに充電を繰り返すと、使用時間が短くなる性質があります。バッテリ残量表示と実際の操作時間の誤差が大きくなったときや、新しいバッテリパックと交換したときは、次のように初期化してください。

1 AC アダプタを接続して、パソコンの電源を入れます。

2 「<F2> to enter System Configuration Utility」と表示されている間に、F2 キーを押します。

セットアップユーティリティ画面が表示されます。

3 ACアダプタを外して、バッテリの残量が完全になくなって電源が切れるまで放置します。

最長で約 2 時間かかります。

4 AC アダプタを接続して、満充電になるまで充電します。

約2.5時間かかります。満充電になると、 ランプが緑色に点灯します。

5 もう一度、手順1～4 を繰り返し、バッテリパックを完全に放電し、満充電します。

ご参考

バッテリパックは消耗品です。初期化しても極端に使用時間が短くなったときは、新しいバッテリパックと交換してください。

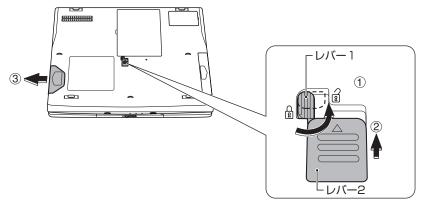
バッテリパックを交換する

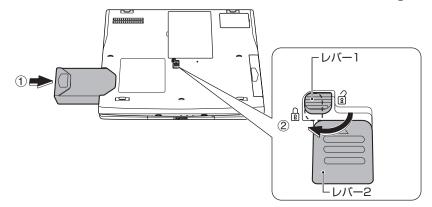
バッテリパックは必ず指定のものをお使いください。

1 パソコンの電源を切り、AC アダプタを外します。

2 ディスプレイパネルを閉じて、パソコンを裏返します。

3 バッテリパックを取り外します。

レバー 1 を解除位置にし (①)、レバー 2 を押しながら (②)、バッテリパックの突起部を引いて取り出します (③)。

4 新しいバッテリパックを取り付けます。

バッテリパックのコネクタ部を奥にしてゆっくりと挿入し (①：正しく装着されると、「カチッ」と音がします。)、レバー 1 をロック位置にします (②)。

新しいバッテリパックをお求めのときは

パソコンをお買い上げの販売店でお買い求めください。(サービス部品扱い)

基本 消費電力を節約する

省電力機能は、コントロールパネルの「電源の管理」で設定することができます。
省電力機能は、ACアダプタで使用しているときと、バッテリで使用しているときのそれぞれについて設定できます。

操作しないときディスプレイやハードディスクの電源を切る

一定時間操作しない状態が続いたとき、ディスプレイまたはハードディスクへの電源供給を停止することができます。操作を再開すると、再び電源が供給されます。

1 **スタートメニューから「設定」－「コントロールパネル」をクリックし、「電源の管理」アイコンをダブルクリックします。**
「電源の管理のプロパティ」画面が表示されます。
「電源の管理」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

2 **「モニタの電源を切る」と「ハードディスクの電源を切る」欄で、それぞれの状態に移行するまでの時間を設定します。**
「モニタの電源を切る」の設定は、省電力機能に対応した外部ディスプレイを接続しているとき、外部ディスプレイに対しても働きます。

3 **［OK］をクリックして画面を閉じます。**

4 **画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。**

操作しないときスタンバイまたは休止状態にする

一定時間操作しない状態が続いたとき、スタンバイまたは休止状態にすることができます。

スタンバイ	現在の状態をメモリに保存し、ほとんどの電源供給を停止します。スタンバイに移行すると、（電源）ランプまたは（バッテリ）ランプが緑点滅します。操作を再開すると、わずかな時間で元の状態に復帰します。
休止状態	現在の状態をハードディスクに保存し、電源を切ります。休止状態に移行すると、（電源）ランプまたは（バッテリ）ランプが消灯します。電源ボタンまたはクイックスタートボタンを押すと、元の状態に復帰します。

ご注意

スタンバイおよび休止状態へ移行または復帰する際には、誤動作やデータの損失を防ぐため、必ず次の事項を守ってください。

- 移行するときは、通信、印字、および動画や音楽の再生は、いったん終了してください。
- 移行または復帰中に、パソコンや周辺機器に触れたり、周辺機器の取り付け／取り外しをしたりしないでください。
- スタンバイは現在の状態を一時記憶するだけです。スタンバイのまま放置してバッテリが切れると、データが消えてしまいます。
- バッテリで使用しているとき、バッテリの残量が一定水準以下になると休止状態から復帰できないことがあります。その場合は、ACアダプタを接続してください。

スタンバイまたは休止状態になるまでの時間を設定する

1 **スタートメニューから「設定」－「コントロールパネル」をクリックし、「電源の管理」アイコンをダブルクリックします。**

「電源の管理のプロパティ」画面が表示されます。

「電源の管理」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

2 「システムスタンバイ」と「システム休止状態」欄で、それぞれの状態に移行するまでの時間を設定します。

3 [OK] をクリックして画面を閉じます。

4 画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

今すぐスタンバイまたは休止状態にする

席を外すときなどに、パソコンをスタンバイまたは休止状態にしておくことができます。

「Windows の終了」画面でスタンバイまたは休止状態にする

1 スタートメニューから「Windows の終了」をクリックし、「Windows の終了」画面で「スタンバイ」または「休止状態」を選択します。

2 [OK] をクリックします。

特定の操作でスタンバイまたは休止状態にする

「電源の管理のプロパティ」画面で設定すると、次の操作をしたときも、スタンバイまたは休止状態にすることができます。

- ディスプレイパネルを閉じる。
- 電源ボタンを押す。
- Fn ＋ F12 キーを押す。

1 **スタートメニューから「設定」－「コントロールパネル」をクリックし、「電源の管理」アイコンをダブルクリックします。**

「電源の管理のプロパティ」画面が表示されます。
「電源の管理」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

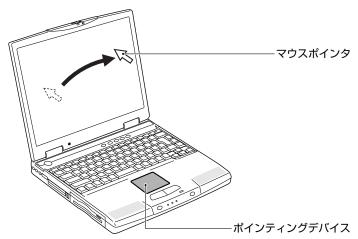
2 **「詳細設定」タブをクリックし、必要な項目を設定します。**

「ポータブルコンピュータを閉じたとき」：
ディスプレイパネルを閉じたときの動作を、なし／スタンバイ／休止状態／電源オフから選択します。
「コンピュータの電源ボタンを押したとき」：
電源ボタンを押したときの動作を、スタンバイ／休止状態／電源オフから選択します。
「コンピュータのスリープボタンを押したとき」：
Fn ＋ F12 キーを押したときの動作を、スタンバイ／休止状態／電源オフから選択します。

3 **［OK］をクリックします。**

4 **画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。**

基本 パッド型ポインティングデバイスを使う

Windows Me では、ポインティングデバイスによる画面操作で、ほとんどの操作が可能です。初めはマウスポインタ（ ）が思いどおりに動かないものですが、マウス（市販品）を使うより場所をとらず、外出先でも手軽に操作できますから、ゆっくり操作しながら慣れましょう。

パッド部とボタンで操作する

ポイントする

マウスポインタを目的のアイコンやボタンの上に移動することです。

パッドに指を触れて、移動したい方向に動かします。
パッドの端で指を動かす場所がなくなったら、いったん指を上げて元の位置へ戻して、再度指を動かしてください。

- 必ず指で操作してください。先のとがったもの（シャープペンやボールペンの先）で操作すると、パッドを傷めてしまいます。
- 濡れた手や汗をかいた手で操作しないでください。マウスポインタが思わぬ方向に動いてしまうだけでなく、故障の原因にもなります。

クリックする

画面上のボタンを押したり、メニューを選ぶ操作です。

マウスポインタの位置を確かめて、
左ボタンを「カチッ」と 1 回押します。

ダブルクリックする

ソフトウェアを起動したり、ファイルを開くときの操作です。

マウスポインタの位置を確かめて、
左ボタンを「カチッカチッ」と 2 回押します。

右クリックする

関連するメニューを表示するときなどに使う操作です。

マウスポインタの位置を確かめて、右ボタンを「カチッ」と 1 回押します。

ドラッグする

ファイルやフォルダを移動する操作です。

マウスポインタの位置を確かめて、親指で左ボタンを押したまま、人差し指をパッド上で動かします。
目的の位置まできたら、親指を左ボタンから離します（ドロップする）。
人差し指はそのあとゆっくり離して構いません。
一連の動作をドラッグ＆ドロップと呼びます。

パッド部だけで操作する

左ボタンのかわりにパッド部を「トン」と指でたたいて、クリックやダブルクリックをすることもできます。

クリックする

マウスポインタの位置を確かめて、パッドを「トン」と1回たたきます。

ダブルクリックする

マウスポインタの位置を確かめて、パッドを「トントン」と2回たたきます。

ドラッグする

マウスポインタの位置を確かめて、パッドを「トントン」と2回たたき、指をパッドにのせたまま動かします。
目的の位置まで動かしたら、指を離します（ドロップする）。
一連の動作をドラッグ＆ドロップと呼びます。

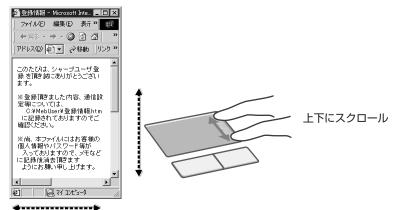
画面をスクロールする

パッド部で指を動かして、画面をスクロールすることができます。
画面のスクロールは、対応したアプリケーションソフトでのみ動作します。

上下にスクロールする

パッドの右端に指を触れて、前後に動かします。指を前に動かすと画面が上にスクロールされ、後ろに動かすと画面が下にスクロールされます。

左右にスクロールする

パッドの下部に指を触れて、左右に動かします。指を右に動かすと画面が右にスクロールされ、左に動かすと画面が左にスクロールされます。

その他の機能の確認や設定は

「マウスのプロパティ」画面を参照してください。画面を表示するには、タスクバーにある をダブルクリックします。機能については、ヘルプの内容を参照してください。

基本 キーボードを使う

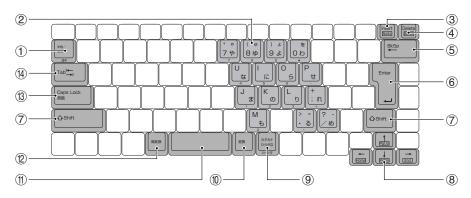
キーボードを使うと、文字を入力したり、特定の機能を働かせたりすることができます。ここでは、それぞれの役割に使うキーを分けて紹介します。

ご参考

Windowsやアプリケーションソフトで割り当てられているその他の機能については、 下記のものを参照してください。

- スタートメニューの「ヘルプ」をクリックして表示されるヘルプ画面
- Microsoft IME（日本語入力システム）のヘルプ
- お使いのアプリケーションソフトの説明書、ヘルプ

文字を入力する

下記のキーを使って入力モードの変更や、文字変換をします。

① **半角/全角・漢字 キー**

日本語入力システムのオン／オフを切り替えます。（ご購入時の設定）

② **数字キーブロック**

数字キーロックモード時、数字と演算記号（青色刻印）が入力できる状態になります。

③ **NumLk （数字キーロック）キー**

Fn キーを押しながら、 NumLk キーを押すと、 (Num Lock)ランプが点灯し、数字キーブロックで、数字と演算記号（青色刻印）が入力できる状態になります。モードを解除するには、もう一度 Fn キーを押しながら、NumLk キーを押します。

④ **Delete（デリート）キー**

カーソル位置の右側の 1 文字、または選択した範囲の文字を消します。

⑤ **Bk Sp（バックスペース）キー**

カーソル位置の左側の 1 文字、または選択した範囲の文字を消します。

⑥ **⏎ Enter（エンター）キー**

日本語入力システムがオンのときに、入力した文字を確定します。
文字確定後、および日本語入力システムがオフのときは、改行になります。

⑦ **Shift（シフト）キー**

Shift キーを押しながら文字キーを押すと、キーの上段に刻印されている文字や記号、アルファベットの大文字が入力できます。

⑧ **↑ ↓ ← →（カーソル）キー**

カーソルを上下左右に移動します。

⑨ **カタカナ・ひらがな・ローマ字 キー**

日本語入力システムがオンのときは、Alt キーを押しながら カタカナ・ひらがな・ローマ字 キーを押すたびに、かな入力／ローマ字入力が切り替わります。また、Shift キーを押しながら カタカナ・ひらがな・ローマ字 キーを押すと、カタカナモードになります。ひらがなモードに戻るには、カタカナ・ひらがな・ローマ字 キーだけを押します。

⑩ **変換 キー**

日本語入力システムがオンのときに、入力した文字を変換します。
もう 1 度 変換 キーを押すと、他の候補リストを表示します。
スペースキーを押して変換することもできます。（ご購入時の設定）

⑪ **スペースキー**

スペース（空白）を入力します。

⑫ **無変換 キー**

日本語入力システムがオンのときに、入力した文字を、全角／半角のカタカナや数字に変換できます。

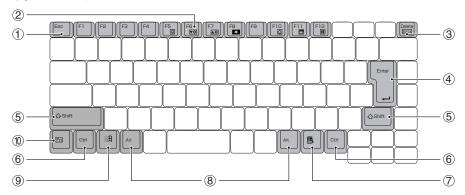
⑬ Caps Lock・英数 キー

Shift キーを押しながら、 Caps Lock･英数 キーを押すと、 (Caps Lock) ランプが点灯し、アルファベットの大文字が入力できる状態になります。モードを解除するには、もう一度 Shift キーを押しながら、 Caps Lock･英数 キーを押します。また、日本語入力システムがオンのときに Caps Lock･英数 キーを押すと、英数字モードになります。

⑭ Tab （タブ）キー

タブ位置まで入力位置が移動します。

特定の機能を働かせる

キーボードからパソコンを動作させるためには、特定の機能を割り当てたキーを押す方法と、 Fn や Ctrl キーなどを押しながら他のキーを押す操作（ショートカット）があります。

① Esc （エスケープ）キー

現在の操作を取り消して、１つ前の操作に戻るときなどに押します。

② F1 ～ F12 （ファンクション 1 ～ 12）キー

使用するソフトウェアによって、いろいろな機能が割り当てられます。

③ Delete （デリート）キー

選択したファイルやアイコンなどを削除します。

④ ↵ （エンター）キー

設定画面の破線で囲まれたボタンや、反転している項目を選択します。

⑤ **Shift （シフト）キー**

Shift キーを押しながら他のキーを押すと、キーの上段に刻印されている機能が働きます。

⑥ **Ctrl （コントロール）キー**

Ctrl キーを押しながら他のキーを押すと、いろいろな操作ができます。機能はソフトウェアによって異なります。

⑦ **（アプリケーション）キー**

使用するソフトウェアによって、いろいろな機能が割り当てられます。通常は、右クリックと同じ働きをします。

⑧ **Alt （オルト）キー**

Alt キーを押しながら他のキーを押すと、いろいろな操作ができます。機能はソフトウェアによって異なります。Alt キーを押しながら緑色で刻印されたキーを押すと、その機能が働きます。

⑨ **（Windows）キー**

Windows Me の「スタート」メニューを表示します。

⑩ **Fn （ファンクション）キー**

Fn キーを押しながら枠囲みで刻印されているキーを押すと、枠囲みの機能が働きます。枠囲みでアイコンが刻印されているキーの機能は次のとおりです。

Fn ＋ F5 （　）：外部ディスプレイを使用しているとき、表示先を切り替えます。（テレビに切り替えることはできません。）

Fn ＋ F6 （　）：内蔵ディスプレイを暗くします。

Fn ＋ F7 （　）：内蔵ディスプレイを明るくします。

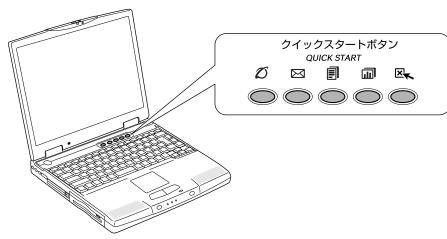
Fn ＋ F8 （　）：内蔵ディスプレイの明るさを最大にします。もう一度押すと、元の明るさに戻ります。

Fn ＋ F10 （　）：バッテリパックの残量がわずかになったときに鳴る警告音を止めます。（この警告音はパソコン自体の機能です。Windows Me で設定する短い警告音は止まりません。）

Fn ＋ F11 （　）：内蔵ディスプレイのオン／オフを切り替えます。

Fn ＋ F12 （　）：パソコンをスタンバイ、休止状態または電源オフにします。

基本 ボタンでソフトを起動する

クイックスタートボタンを押すと、割り当てられているアプリケーションソフトが起動します。電源オフ状態や、休止状態で押すこともできます。それぞれの状態から、Windows が起動した後に、アプリケーションソフトが起動します。

パスワードを設定すると

Windowsが起動する途中でパスワードの入力が必要な設定をしている場合は、電源オフ状態や休止状態でクイックスタートボタンを押すと、パスワード入力画面で止まります。

クイックスタートボタンの働き

(Internet Explorer icon)	Microsoft Internet Explorer（WWW ブラウザソフト）が起動します。
(mail icon)	Microsoft Outlook Express（メールソフト）が起動します。
(Word icon)	Microsoft Word Version 2002 （日本語ワードプロセッサ）が起動します。
(Excel icon)	Microsoft Excel Version 2002（統合型表計算ソフト）が起動します。
(close icon)	使用中のソフトを終了するときに押します。

割り当てられているアプリケーションソフトの確認・変更は

タスクバーにある をクリックしたあと、「クイックスタートボタンのヘルプ」をダブルクリックして表示されるヘルプを参照してください。

基本 音楽を聴く・DVD ビデオを見る

このパソコンで、音楽CDや音楽データ(MIDIデータ、MP3データなど)を聴くことができます。CD-R/RW & DVD-ROM ドライブ搭載モデルでは、DVD ビデオを見ることもできます。

音楽を聴く・DVD ビデオを見る

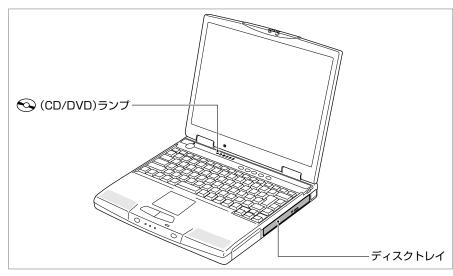
音楽 CD を再生する

音楽CDをセットすると、再生ソフトが自動的に起動して、操作パネルが表示されます。

再生できるディスク

下記のマークのあるディスクをお使いください。

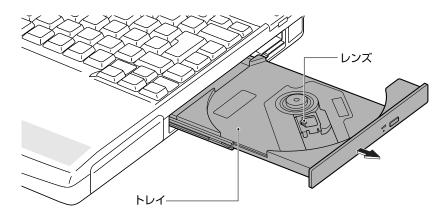
ご参考

- 「電源の管理のプロパティ」画面で、「モニタの電源を切る」「システムスタンバイ」「システム休止状態」をすべて「なし」に設定してください。
- 外部スピーカで聴くときは、**外部スピーカに接続する**(☞88ページ)を参照してください。
- ヘッドホンで聴くときは、**ヘッドホンで聴く**(☞88ページ)を参照してください。

1 ランプが消えていることを確認し、イジェクトボタンを押します。

トレイが少し出てきます。

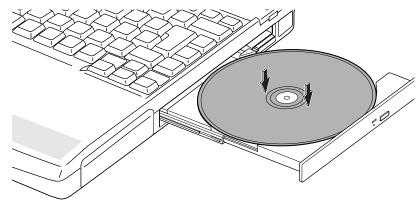
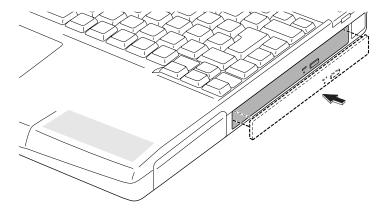
ご参考

ディスクをセットしていないときに、ランプが点滅することがあります。これはWindows MeのCDの「挿入の自動通知機能」が働いているためで、故障ではありません。

2 トレイを、止まるまでゆっくり引き出します。

ご注意 **レンズに手を触れないでください**

レンズが汚れると、故障の原因になります。レンズを拭くときは、糸くずの出ない綿棒で軽く拭いてください。

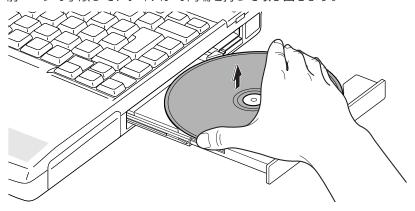
3 ラベル面(文字が印刷されている面)を上にして、ディスクをトレイに置きます。

ディスクの中央を「カチッ」と音がするまで押さえてセットします。

4 トレイを軽く押し込みます。

ディスクが認識されると(10秒以上かかります)、再生ソフトの操作パネルが表示され、再生が始まります。

ご参考

- 再生ソフトの操作については、再生ソフトのヘルプを参照してください。
- 音量調節のしかたについては、**音量を調節する**(☞86ページ)を参照してください。

ディスクを取り出す

前ページの手順 **3** で、ディスクの両端を持って取り出します。

DVD ビデオを再生する（CD-R/RW & DVD-ROM ドライブ搭載モデルのみ）

パソコンのディスプレイで DVD ビデオをお楽しみいただけます。

DVD ビデオを再生するときは

ディスプレイコネクタにCRTディスプレイや液晶ディスプレイを取り付けている場合は、あらかじめそれらのディスプレイを取り外してください。パソコンが正常に動作しないことがあります。

再生できるディスク

「DVD VIDEO」と表示されているディスクをお使いください。

ご参考

- 「電源の管理のプロパティ」画面で、「モニタの電源を切る」「システムスタンバイ」「システム休止状態」をすべて「なし」に設定してください。
- DVDビデオをテレビ画面で見るときは、**外部ディスプレイに表示する**（☞116 ページ）を参照してください。
- ヘッドホンで聴くときは、**ヘッドホンで聴く**（☞88ページ）を参照してください。また、付属のWinDVD 2000（DVDプレーヤーソフト）はドルビーヘッドフォン機能を搭載しています。ドルビーヘッドフォン機能の使い方について詳しくは、WinDVD 2000 のヘルプを参照してください。
- 次のことをすると画像が乱れることがあります。
  - ・WinDVD 2000 実行中に表示先を切り替える。
  - ・WinDVD 2000実行中に解像度や色数など画面表示に関する設定を変更する。
  - ・ディスプレイの色数を 256 色に設定する。

1 **音楽CDを再生する手順に従って(☞79ページ)、ラベル面(文字が印刷されている面)を上にして、DVDビデオディスクをトレイにセットします。**

ディスクが認識されると(10秒以上かかります)、再生ソフトの操作パネルが表示され、再生が始まります。

ご参考

- 再生ソフトの操作については、画面の をクリックして、ヘルプを参照してください。
- 音量調節のしかたについては、音量を調節する(☞86ページ)を参照してください。

「WinDVD 2000」をお使いのお客様へ（CD-R/RW & DVD-ROMドライブ搭載モデルのみ）

このパソコンは、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

登録特許番号

Apparatus Claims of U.S. Patent Nos. 4,631,603, 4,577,216, 4,819,098, and 4,907,093 licensed for limited viewing uses only.

DVDのリージョン番号について

DVDビデオディスクには、リージョン番号（再生可能地域番号：2 ALL など）が設定されています。ご購入時の状態で再生が可能なのは、リージョン番号が「2」と「ALL」のディスクです。リージョン番号はDVDビデオディスクに表示されています。国内で制作・販売されているDVDビデオディスクを再生するときは、通常は設定を変更する必要はありませんが、変更できるのは4回までです。変更を必要とする場合は、WinDVD 2000のヘルプを参照してください。

DVDのパレンタルロック（視聴制限）レベル変更パスワードについて

パレンタルロックとは、一般向けあるいは成人向けなどの制限のことです。
パレンタルロックレベルを変更するパスワードを忘れると、パレンタルロックレベルを変更できません。設定したパスワードは、忘れないように注意してください。

「ドルビーヘッドフォン機能」について（CD-R/RW & DVD-ROMドライブ搭載モデルのみ）

付属のWinDVD 2000（DVDプレーヤーソフト）はドルビーヘッドフォン機能を搭載しています。ドルビーヘッドフォン機能を使うと、ドルビーデジタル5.1チャンネルの立体音響を、お使いのヘッドホンで体感できるようになります。ドルビーヘッドフォン機能の使い方について詳しくは、WinDVD 2000のヘルプを参照してください。

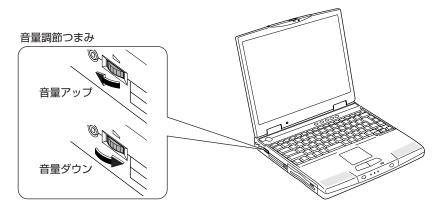
音量を調節する

パソコンのステレオスピーカや光デジタルオーディオ出力ジャック（アナログ兼用）の音量を調節するには、以下の2通りの方法があります。

・音量調節つまみで調節する
・再生ソフトや「音量の調整」で調節する

ご参考
音量調節つまみでの音量調節と再生ソフトや「音量の調整」での音量調節は連動していません。一方で調節してもお好みの音量にならない場合は、もう一方も調節してみてください。

音量調節つまみで調節する

パソコンの音量調節つまみで、音量を調節します。

再生ソフトや「音量の調整」で調節する

再生ソフトで調節する

音楽CDは、Windows Media Playerの「音量」つまみで調節します。

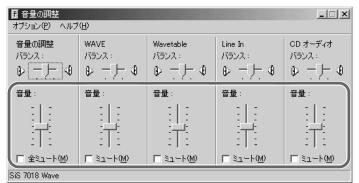
DVD ビデオは、WinDVD 2000 の「音量」スライダーで調節します。
（CD-R/RW & DVD-ROM ドライブ搭載モデルのみ）

「音量の調整」で調節する

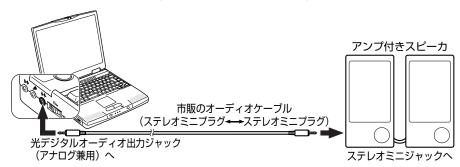
「音量の調整」画面で、音量を調節します。

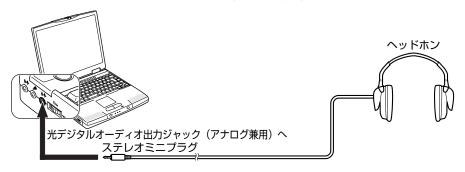
1 **タスクバーの 🔈 をダブルクリックします。**

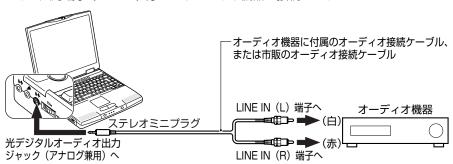
「音量の調整」画面が表示されます。

2 **再生する音声に応じた項目の音量を調節します。**

CD/DVD 再生時　：「WAVE」の音量を調節します。
WAVE 再生時　：「WAVE」の音量を調節します。
MIDI 再生時　：「Wavetable」の音量を調節します。

外部スピーカに接続する

市販のアンプ付きスピーカ（ステレオミニジャック付き）に接続できます。

ヘッドホンで聴く

ヘッドホンは、インピーダンス 8 Ω以上（32 Ωを推奨）のものをお使いください。

オーディオ機器にアナログ音声を出力する

ライン入力端子（LINE IN）付きのオーディオ機器と接続します。

ディスプレイの明るさ・解像度・壁紙を変える

ディスプレイが明るくて目が疲れると感じたときや、暗くて見づらいと感じたときは、明るさを調整してください。また、ディスプレイの解像度や壁紙を変えることもできます。

ディスプレイの明るさを変える

キーボード操作で、ディスプレイの明るさを変えることができます。

Fn + F6（▼☼）	ディスプレイを暗くします。
Fn + F7（▲☼）	ディスプレイを明るくします。
Fn + F8（☼）	ディスプレイの明るさを最大にします。もう一度押すと、元の明るさに戻ります。

ディスプレイの解像度や色を変える

パソコンのディスプレイは、解像度や色数を変更することができます。
通常はご購入時の設定のままお使いください。

1 スタートメニューから「設定」―「コントロールパネル」をクリックし、「画面」アイコンをダブルクリックします。

「画面のプロパティ」画面が表示されます。

2 「設定」タブをクリックし、「色」の ▼ をクリックして、メニューから色数を選びます。解像度を変えるときは、「画面の領域」のつまみをドラッグして動かします。

3 [OK] をクリックします。

変更した項目（色または解像度）の確認メッセージが表示されます。両方を変更したときは、それぞれのメッセージが表示されます。
メッセージに従って操作してください。

4 画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

設定可能な解像度と色数

解像度（ドット）	640 × 480、800 × 600、1024 × 768※1、 1280 × 1024※2、1600 × 1200※2※3
色数	256 色、65536 色、1677 万色 ※4

※ 1 同時表示の場合 1677 万色にはできません。

※ 2 外部ディスプレイのみに表示する際、外部ディスプレイが対応していれば選択できます。

※ 3 色数を 1677 万色にはできません。

※ 4 内蔵ディスプレイでは、1677万色の表示はできません。26万色表示になります。

ご参考

- 「色」の設定と表示の色数は以下のとおりです。
  High Color（16 ビット）：65536 色
  True Color（32 ビット）：1677 万色
- 「True Color」に設定した場合には、次のような制限があります。
  ・画面の描画速度が遅くなります。
  ・動画を表示すると、画面が乱れる場合があります。
- テレビに表示するときは、解像度を 800 × 600 ドット、または 640 × 480 ドットに設定してください。
  （CD-R/RW & DVD-ROM ドライブ搭載モデルのみ）

ディスプレイの壁紙を変える

あらかじめ用意された 6 種類の壁紙（背景画面）が、「desk top」欄で選べます。
また、この他にもいろいろな壁紙が用意されています。

「desk top」欄で壁紙を選ぶには

1 ～ 6 のボタンをクリックするだけで、壁紙を切り替えることができます。

その他の壁紙を選ぶには

1 **スタートメニューから「設定」－「コントロールパネル」をクリックし、「画面」アイコンをダブルクリックします。**
「画面のプロパティ」画面が表示されます。

2 **「壁紙」リストから壁紙を選びます。**
Mebius で始まる名前の壁紙がメビウス用のオリジナル壁紙です。
壁紙を選ぶと設定画面にサンプル画面が表示されます。

3 **[OK] をクリックします。**
「画面のプロパティ」画面が閉じ、選択した壁紙に設定されます。

4 **画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。**

ご購入時の状態に戻すには

上記の手順 **2** で「Mebius モバイルデスクトップ」を選んでください。

ご参考

- メビウス用の壁紙は、使用する場合のディスプレイの解像度と色数がわかるように名前がついています。

- メビウス用の壁紙の 1677 万色版は、付属の「プロダクトリカバリ CD-ROM ディスク 3」の「shpwall」フォルダの中に用意されています。
  お使いになるときは、パソコンのハードディスク（C ドライブ）の「Windows」フォルダにコピーしてから手順**1**～**4**の操作をしてください。
- 1677万色の壁紙を使用するときは、あらかじめディスプレイの色を「True Color（32 ビット）」に設定してください。
- 1677万色の壁紙を使用しているときは、アプリケーションソフトによっては起動できないことがあります。その場合は、壁紙を256色（8ビット）または65536色（16ビット）のものに変更してください。

CD・DVD からデータを読み取る

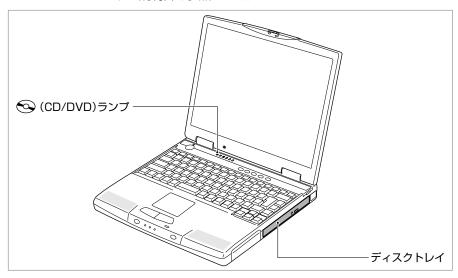
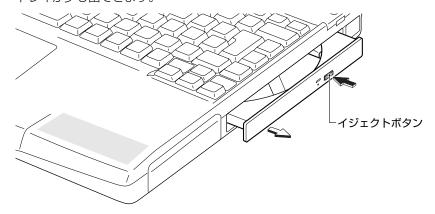
CDをセットして、市販のアプリケーションソフトなどをインストールしたり、データを使うことができます。
CD-R/RW & DVD-ROMドライブ搭載モデルでは、DVD-ROMのデータを使うこともできます。

CD・DVD について

CD は、下記のマークのあるディスクをお使いください。

DVD は、「DVD ROM」と表示されているディスクをお使いください。

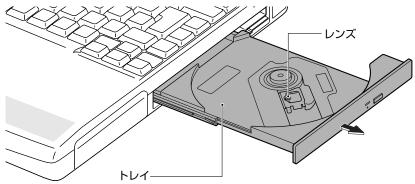
アプリケーションソフトのインストールについて

アプリケーションソフトをパソコンで使えるようにするには、ドライブにCD･DVD-ROMをセットし、インストール操作をします。インストールの方法については、アプリケーションソフトの説明書を参照してください。

1 ランプが消えていることを確認し、イジェクトボタンを押します。

トレイが少し出てきます。

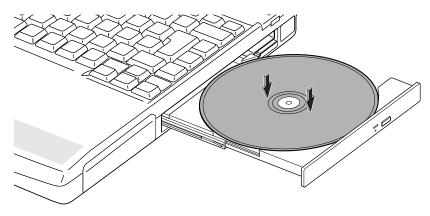
ご参考

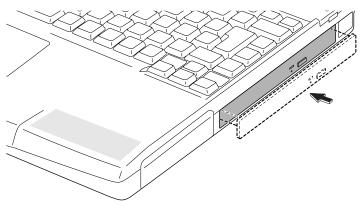
ディスクをセットしていないときに、ランプが点滅することがあります。これは Windows Me の CD の「挿入の自動通知機能」が働いているためで、故障ではありません。

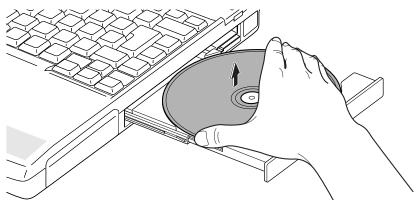
2 トレイを、止まるまでゆっくり引き出します。

ご注意　レンズに手を触れないでください

レンズが汚れると、故障の原因になります。レンズを拭くときは、糸くずの出ない綿棒で軽く拭いてください。

3 ラベル面(文字が印刷されている面)を上にして、ディスクをトレイに置きます。

ディスクの中央を「カチッ」と音がするまで押さえてセットします。

4 トレイを軽く押し込みます。

ディスクが認識されるまで 10 秒以上かかります。

ディスクを取り出す

前ページの手順 **3** で、ディスクの両端を持って取り出します。

CD-R/RW にデータを書き込む

CD-R/RW & DVD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブ搭載モデルでは、自分で作曲した曲でオリジナル音楽 CD を作ったり、複数の音楽 CD を 1 枚の音楽 CD にして自分で楽しんだり、増える一方の画像データや残しておきたいデータを CD-R または CD-RW に保存することができます。

CD-R と CD-RW は、どちらも書き込み可能なコンパクトディスクです。

CD-R データを1回だけ書き込めます。ディスクに空き容量があるときは、追加して書き込めます。記録済みの部分を消去することはできません。

書き込んだディスク	一部の CD-R 未対応のパソコンや CD プレーヤーでは読み出し / 再生できません。
推奨ディスク	太陽誘電（株）製、（株）リコー製、三菱化学（株）製、三井化学（株）製、TDK（株）製、日立マクセル（株）製

CD-RW 記録済みの部分を消去して何度も書き込めます。（約 1000 回）
High Speed ドライブ用のディスクは使用できません。

書き込んだディスク	CD-RW対応ドライブを搭載したパソコンや機器でしか読み出し / 再生できません。
推奨ディスク	（株）リコー製、三菱化学（株）製

CD-R/RWにデータを書き込むときは、付属の編集ソフトEasy CD Creator、DirectCDをお使いください。編集ソフトの操作方法は、それぞれのオンラインマニュアルおよびヘルプを参照してください。

Easy CD Creator ：オリジナル CD を作ることができます。
DirectCD ：ファイル単位でデータを書き込むことができます。

書き込みに失敗しないために

書き込みの操作をする前に、次の準備をしてください。

- AC アダプタを接続する。
- 「電源の管理のプロパティ」画面で「モニタの電源を切る」、「ハードディスクの電源を切る」、「システムスタンバイ」および「システム休止状態」を「なし」にする。
- CDの「挿入の自動通知」にチェックマークを付ける。（ご購入時はチェックマークが付いています。）
- 関係のないソフトや、自動的に起動するソフトは終了する。
- スクリーンセーバーを「なし」にする。

ご注意

- 書き込み中は、操作ボタンやキーを押さないでください。
- DirectCD は Windows システムの一部として動作していますので、常駐を解除しないでください。誤動作の原因になります。

ディスクの取り扱い

ディスクに記録されているデータやプログラム、ドライブを保護するために、次の注意をお守りください。

ディスクを持つときは、両端を持つか、縁と中央の穴をはさむようにして持ち、ディスクの表面に手を触れたり、傷を付けないでください。

直射日光の当たるところや暖房機具の近く、ほこりの多いところなどでの使用・保管は避けてください。

文字などを書いたり、テープなどを貼ったりしないでください。
CD-RまたはCD-RWのラベル面に文字を書くときは、先の硬い筆記用具を使わないでください。傷が付くと、データが読めなくなります。

落としたり、上に重いものを載せたり、曲げたりして、衝撃を与えないでください。

テープなどののりがはみ出たものや、はがしたあとがあるものは使わないでください。

特殊形状（ハート形や八角形など）のディスクは使わないでください。

お手入れのしかた

信号面に汚れが付いたときは、ほこりの出ない乾いた柔らかい布で、中央から縁に向けてまっすぐに軽く拭きとってください。矢印と反対の方向に拭いたり、レコード盤のようにまわしながら拭くと傷がつくことがあります。

CD-R または CD-RW をお使いのときは

記録面に傷やほこりが付かないように注意してください。
傷やほこりが付くと、データの書き込みが正しくできなくなります。ほこりが付いたときは、カメラ用の清掃用ブロワーを使って吹き飛ばしてください。

レンズのお手入れ

ディスクトレイのレンズ（☞80、94 ページ）に汚れが付いたときは、糸くずの出ない綿棒で軽く拭いてください。

次のものは使用しないでください。ディスクおよびレンズを傷める恐れがあります。

- アルコール、ベンジン、シンナーなどの化学薬品
- 研磨剤を含むクリーナ
- レコード用のスプレーやクリーナ
- 静電防止剤

基本 フロッピーディスクに保存する

フロッピーディスク（FD）には、文書データなど比較的小さいデータが保存できます。

フロッピーディスクについて

フロッピーディスクには、2DD と 2HD の 2 種類があります。

使用できるフロッピーディスク

- 「DOS/V 用」と表示されたものを選んでください
  フロッピーディスクを購入するときは、「DOS/V 用」（「DOS/V 機器対応」「DOS/V フォーマット済み」）と表示されたものを選んでください。
- その他のフロッピーディスクはフォーマットすると使えます
  「DOS/V 用」以外のフロッピーディスクは、フォーマット（初期化）すると、「DOS/V 用」として使えるようになります。（☞102 ページ）

ご参考

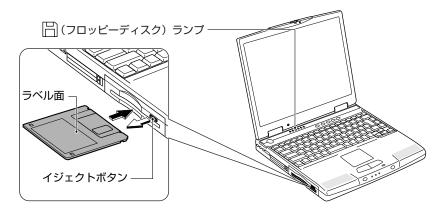
- フォーマットすると、フロッピーディスク内のデータはすべて消えてしまいます。大切なデータが入っていないか、あらかじめ確認してください。
- 1.2MBタイプのフロッピーディスクも使用できますが、使用上の制限事項があります。（☞159 ページ）

書き込み禁止タブについて

フロッピーディスクには、保存したデータを誤って消してしまわないように、書き込み禁止タブがついています。データを保存するときは、必ず書き込み可能の位置にしてください。書き込み禁止状態でもデータを読み込むことはできます。

フロッピーディスクに保存する

1 フロッピーディスクドライブに、書き込み可能状態にしたフロッピーディスクを入れます。

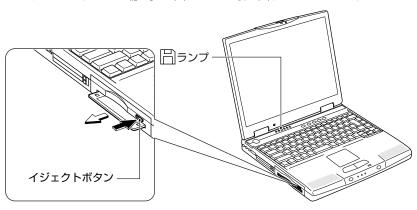
ラベル面を上にして差し込んでください。

正しく差し込まれると、イジェクトボタンが少し飛び出します。

斜めに入れたり、上下を逆にしたりして、無理に押し込まないでください。

2 使用しているアプリケーションソフトで、「保存する場所」を「3.5インチFD (A:)」に指定して、作成したデータを保存します。

> **ご注意　ランプ点灯中はディスクを取り出さないでください**
>
> 点灯中はディスクへの書き込みが実行されています。途中でディスクを抜くと、データが失われたり、破損したりすることがあります。

3 ランプが消えていることを確認し、イジェクトボタンを押します。

フロッピーディスクの端が少し出てきて、取り出すことができます。

フロッピーディスクをフォーマット（初期化）する

フロッピーディスクをフォーマットすると、新しいディスクとして使用することができます。（記録されていたデータはすべて消去されます。）
フォーマットしたいフロッピーディスクが、書き込み禁止になっていないことを確認し、次のように操作してください。

1 **フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクを入れます。**

2 **「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。**

3 **「3.5 インチ FD（A:）」アイコンを右クリックしてメニューを表示します。**

4 **「フォーマット」をクリックします。**

「フォーマット -3.5 インチ FD（A:）」画面が表示されます。

5 **「容量」欄で「1.44MB」（2HD の場合）または「720KB」（2DD の場合）を選択します。**

新しいディスクをフォーマットするときは、「フォーマットの種類」で「通常のフォーマット」を選んでください。

6 **［開始］をクリックします。**

フォーマットが始まります。
フォーマット後、「フォーマット結果」画面が表示されます。

7 **［閉じる］をクリックして「フォーマットの結果」画面を閉じます。**

8 **［閉じる］をクリックして「フォーマット -3.5 インチ FD（A:）」画面を閉じます。**

9 **画面右上の ☒ をクリックして「マイコンピュータ」画面を閉じます。**

フロッピーディスクの取り扱いについて

フロッピーディスクに記録されているデータを保護するため、次のような点にご注意ください。

シャッタを開けて直接シート(記録面)に触れないでください。

落としたり、上に重いものを載せたり、曲げたりして、衝撃を与えないでください。

液体をこぼさないでください。

磁気を発生させるもの(磁石、スピーカなど)の近く、直射日光の当たるところや暖房機具の近く、ほこりの多いところなどでの使用･保管は避けてください。

基本 大切なデータをバックアップする

パソコンを使っていくうちに、送受信した電子メールや作成した文書など、大切なデータがハードディスクの中に保存されていきます。データが読み出せなくなるなどの万一の場合に備えて、大切なデータは他の場所にもコピーしておきましょう。
データをコピーして他の場所に保存しておくことを、「バックアップ」といいます。
大切なデータは日頃からこまめにバックアップするようにしてください。

ご注意

- バックアップした後に、メールの送受信、データの作成や編集をしたデータは、バックアップデータを戻して復元すると失われてしまいます。

CD-R にバックアップするときは

一度CD-R に保存したファイルは、ファイル属性が「読み取り専用」になりますので、ハードディスクに再びコピーした後で、ファイル属性を元に戻す必要があります。このような場合に備えて、バックアップする前に、ファイルを圧縮してからCD-Rにコピーすることをお勧めします。ファイルを圧縮するとファイル属性も圧縮されますので、解凍するとファイル属性も元通りになります。ファイルの圧縮のしかたについては、Windows のヘルプを参照してください。

ファイルをバックアップする

ご購入時の状態では、アプリケーションソフトなどで作成した文書ファイルやデータファイルは、主にデスクトップの「マイドキュメント」フォルダ内に保存されるようになっています。（アプリケーションソフトによっては、他のフォルダにデータが保存されている場合もあります。）これらのデータをフロッピーディスクやCD-R/RWなどにコピーしてください。
フロッピーディスクへはドラッグアンドドロップでファイルを「3.5インチ FD（A:）」へ移動させると、コピーできます。（パッド型ポインティングデバイスを使う ☞69ページ）

ドラッグアンドドロップ

CD-R/RWにファイルをコピーする方法については、付属のCD-R/RWライティングソフトEasy CD CreatorまたはDirectCDのヘルプを参照してください。(CD-R/RW & DVD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブ搭載モデルのみ)

Internet Explorer の「お気に入り」をバックアップする

Internet Explorer の「お気に入り」は、以下の手順でバックアップします。

1 Internet Explorer を起動します。

インターネットに接続する必要はありません。

2 「ファイル」メニューから「インポートおよびエクスポート」をクリックします。

「インポート / エクスポートウィザード」画面が表示されます。

3 [次へ] をクリックします。

4 「お気に入りのエクスポート」を選択して、[次へ] をクリックします。

5 「Favorites」が選択されていることを確認して、[次へ] をクリックします。

6 保存先を指定して、[次へ] をクリックします。

7 [完了] をクリックします。

「お気に入りのエクスポートに成功しました」と表示されます。

8 [OK] をクリックします。

Outlook Express のデータをバックアップする

Outlook Express の電子メールをバックアップする

ご購入時の設定では Outlook Express の電子メールデータは、すべて以下のフォルダに登録されています。「Outlook Express」フォルダをドラッグアンドドロップするなどしてフロッピーディスクや CD-R/RW などにコピーしておいてください。
C:¥WINDOWS¥Application Data¥Identities¥{電子メールアカウントごとに特定の文字列※}¥Microsoft¥Outlook Express

※ ユーザごとに異なる英数字の名前がつけられています。

Outlook Express のアドレス帳をバックアップする

Outlook Express に登録したアドレス帳は、以下の手順でバックアップします。

1 Outlook Express を起動します。
インターネットに接続する必要はありません。

2 「ツール」メニューから「アドレス帳」をクリックします。
「アドレス帳」画面が表示されます。

3 「ファイル」メニューから「エクスポート」－「アドレス帳（WAB）」をクリックします。
「エクスポートするアドレス帳ファイルの選択」画面が表示されます。

4 保存名、保存先を指定して、[保存] をクリックします。

5 [OK] をクリックします。

Outlook Express のメールアカウントの設定をバックアップする

メールアドレスやメールサーバなどの設定は以下の手順でバックアップします。複数のユーザで Outlook Express を使用している場合は、それぞれの設定を個別にバックアップしてください。

1 Outlook Express を起動します。
インターネットに接続する必要はありません。

2 「ツール」メニューから「アカウント」をクリックします。
「インターネットアカウント」画面が表示されます。

3 「メール」タブをクリックします。

4 バックアップしたいアカウントを選択し、[エクスポート]をクリックします。

5 保存先を選択して［保存］をクリックします。

6 ［閉じる］をクリックします。

ネットワークの設定をバックアップする

Internet Explorer の設定を控える

Internet Explorer の設定は以下の手順でメモに控えます。接続設定以外にもホームページやフォントの設定などを変更している場合は、それぞれメモに控えるようにしてください。

1 スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックします。

2 「インターネットオプション」をダブルクリックします。
「インターネットのプロパティ」画面が表示されます。

3 すべてのタブの設定内容をメモに控えます。

ダイヤルアップの設定をバックアップする

プロバイダのアクセスポイントの電話番号やユーザ名、パスワードなどは以下の手順でバックアップします。

1 スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックします。

2 「ダイヤルアップネットワーク」をダブルクリックします。

3 「新しい接続」以外のすべてのファイルをフロッピーディスクやCD-R/RWなどにコピーします。

ネットワークの設定を控える

パソコンのネットワーク設定は以下の手順でメモに控えます。モデムとLANを両方お使いの場合は、両方の設定を控えるようにしてください。

1 スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックします。

2 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。
「ネットワーク」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

3 「現在のネットワークコンポーネント」からどちらかを選択し、[プロパティ]をクリックします。

モデムの設定 ---「TCP/IP -> ダイヤルアップ アダプタ」

LAN の設定 -----「TCP/IP -> SiS 900 PCI Fast Ethernet Adapter」

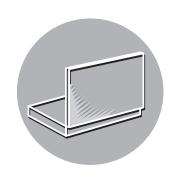
4 すべてのタブの設定内容をメモに控えます。

IME のユーザ辞書をバックアップする

ご購入時の設定ではIME2002 のユーザ辞書は以下のファイルに登録されています。ファイルをフロッピーディスクやCD-R/RW などにコピーしておいてください。

C:¥Program Files¥Common Files¥Microsoft Shared¥IME¥IMJP¥UsrDicts¥imjp8u

周辺機器を接続しよう

プリンタや外部ディスプレイなどの周辺機器をつなぐと、パソコンの用途が拡がります。ＰＣカードを差し込んで新しい機能を追加したり、メモリを増設することもできます。

接続できる機器を確かめる

プリンタやマウスなど周辺機器を購入するときは、コネクタの形状が合っているか、自分のパソコンに対応しているのか、などを確かめましょう。

使える周辺機器を確かめる

Windows Me に対応している周辺機器を選びましょう

周辺機器のカタログやパッケージで、Window Me に対応しているか確認してください。

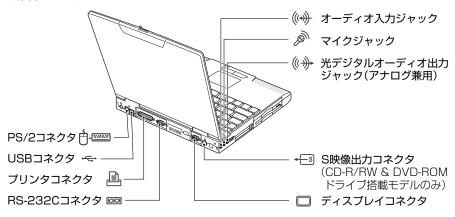
専用のドライバソフトをインストールするものがあります

ドライバソフトは、周辺機器を認識するためのソフトウェアです。ドライバソフトのフロッピーディスクやCD-ROMが付属されている場合は、説明書に従ってパソコンにインストールしましょう。

ご参考

接続可能な周辺機器については、お買い上げの販売店にお問い合わせいただくか、またはメビウスのホームページ（http://www.sbc.co.jp/mebius/）を参照してください。

コネクタの形状を確かめる

このパソコンには次のようなコネクタがあります。コネクタの名前や形状（ピン数）を確認してください。

PS/2 コネクタ（ミニ DIN 6 ピン）

キーボードやマウス用のコネクタです。接続できるマウスやキーボードには「PS/2 対応」などの表示があります。

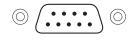
コネクタの形状

USB コネクタ（A タイプ）

USB規格対応の機器を接続します。接続できる機器には、「USB対応」などの表示があります。USB対応機器には、マウス、キーボード、プリンタ、モデム、スピーカなどがあります。
USB機器を接続するときは、パソコンの電源を切る必要がありません。

コネクタの形状

RS-232C コネクタ（D-Sub 9 ピン、オス）

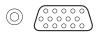
一般に「シリアルインタフェース」と呼ばれます。シリアルインタフェース機器（またはシリアル機器）の中には、D-Sub 25ピンのものもありますから、注意が必要です。
RS-232C対応機器には、モデムやターミナルアダプタ（TA）があります。

コネクタの形状

プリンタコネクタ（D-Sub 25 ピン、メス）

Windowsパソコン用の多くのプリンタは、このコネクタに接続するように作られています。一般に「パラレルインタフェース」と呼ばれます。プリンタ側は 36 ピンになっています。
USB対応のプリンタをUSBコネクタに接続することもできます。

コネクタの形状

ディスプレイコネクタ（D-Sub 15 ピン、メス）

パソコン用のCRTディスプレイや液晶ディスプレイを接続します。

コネクタの形状

S 映像出力コネクタ

S 映像入力端子のあるテレビを接続します。
（CD-R/RW & DVD-ROM ドライブ搭載モデルのみ）

コネクタの形状

ご参考

コネクタの違う機器も変換アダプタを使って接続できることがあります。変換アダプタにも「PC/AT互換機対応」などの表示がありますから、よく確かめてお使いください。

周辺機器の接続のしかた

（電源）ランプ点灯中は周辺機器を接続しないでください

周辺機器を接続するときは、必ずパソコンと周辺機器の電源を切っておいてください。パソコンや周辺機器の故障や誤動作の原因になります。（USB 機器は除きます。）

1. **パソコンと周辺機器の電源を切ります。**

2. **パソコンと周辺機器を接続します。**
   コネクタにネジがついているときは、ネジを締めてコネクタを固定してください。

3. **周辺機器の電源を入れます。**

4. **パソコンの電源を入れます。**

周辺機器の取り外し方

ご参考
周辺機器によって、下記以外の手順が必要な場合もあります。
詳しくは周辺機器の説明書を参照してください。

USB 機器以外の周辺機器の取り外し方

1 **パソコンと周辺機器の電源を切ります。**

2 **パソコンと周辺機器を接続しているケーブルを取り外します。**
コネクタにネジがついているときは、ネジをゆるめてコネクタを取り外してください。

USB 機器の取り外し方

接続する周辺機器によっては、取り外す前にデバイスを停止する必要があります。

1 **タスクバーの をクリックします。**

2 **「XXXXXXXX の停止」をクリックします。**

3 **［OK］をクリックします。**

4 **パソコンからケーブルを取り外します。**

周辺 プリンタで印刷する

プリンタを接続して印刷するには、次の準備が必要です。
作業内容や手順などは、プリンタの説明書もあわせて参照してください。

- Windows Me パソコン用のプリンタを用意する。
- パソコンにプリンタを接続する。
- プリンタドライバを、パソコンにインストールする。

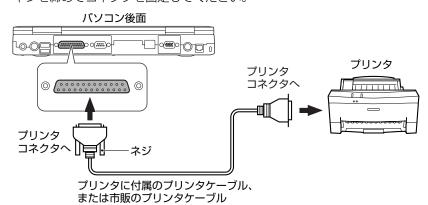
プリンタを接続する

プリンタコネクタにプリンタを接続する

ご注意

プリンタを接続するときは、必ずパソコンと周辺機器の電源を切っておいてください。パソコンやプリンタの故障や誤動作の原因になります。

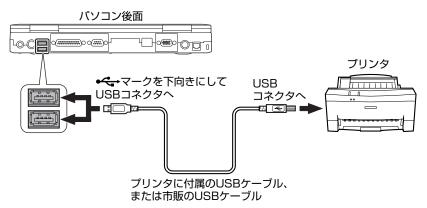
1 **パソコンとプリンタの電源を切ります。**

2 **プリンタケーブルを、パソコンのプリンタコネクタに接続します。**
ネジを締めてコネクタを固定してください。

3 **プリンタにプリンタケーブルを接続します。**

4 **プリンタの電源を入れます。**

5 **パソコンの電源を入れます。**
印刷のしかたについては、各アプリケーションソフトの説明書またはヘルプを参照してください。

USB コネクタにプリンタを接続する

USB タイプのプリンタは、電源を入れたまま接続できます。
上下 2 つの USB コネクタのどちらに接続してもかまいません。

プリンタドライバをインストールする

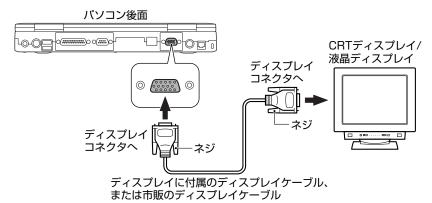
プリンタを使用するためには、プリンタドライバのインストールが必要です。
プリンタの説明書を参照して、プリンタドライバをインストールしてください。プリンタに付属のフロッピーディスクや CD-ROM を使うこともあります。

外部ディスプレイに表示する

ディスプレイコネクタにCRTディスプレイや液晶ディスプレイを接続して、画面を表示することができます。CD-R/RW & DVD-ROMドライブ搭載モデルでは、S映像出力コネクタにテレビを接続して画面を表示することもできます。
パソコンのディスプレイと同時表示をするには、1024 x 768 ドット以上が表示可能なディスプレイが必要です。それ以外の外部ディスプレイでは、正常に表示されません。

CRT ディスプレイ／液晶ディスプレイを接続する

1 パソコンとディスプレイの電源を切ります。

2 ディスプレイケーブルを、パソコンのディスプレイコネクタに接続します。
ネジを締めてコネクタを固定してください。

3 ディスプレイにディスプレイケーブルを接続します。

4 ディスプレイの電源を入れます。

5 パソコンの電源を入れます。

ご参考
画面の表示先を切り替える（☞118ページ）で、CRTディスプレイ／液晶ディスプレイの表示を有効にする必要があります。

ディスプレイドライバをインストールする

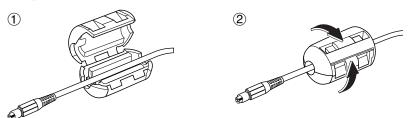
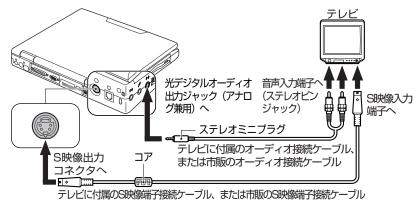
CRTディスプレイ／液晶ディスプレイを使用するためには、ディスプレイドライバのインストールが必要な場合もあります。ディスプレイの説明書を参照して、ディスプレイドライバをインストールしてください。ディスプレイに付属のフロッピーディスクや CD-ROM を使うこともあります。

テレビを接続する

CD-R/RW & DVD-ROM ドライブ搭載モデルでは、S 映像入力端子付のテレビと接続することができます。あらかじめ89ページを参照して、ディスプレイの解像度を800 × 600 ドットまたは 640 × 480 ドットに設定してください。また、外部ディスプレイを接続している場合は外しておいてください。

1 パソコンとテレビの電源を切ります。

2 S映像端子接続ケーブルのパソコン側のコネクタにできるだけ近い位置に、付属のコア（S 映像端子接続ケーブル用）を取り付けます。

コアにケーブルをはさみ込み（①）、「カチッ」と音がするように閉じてください（②）。コアは、パソコンから電波がもれるのを防ぐための部品です。

3 コアの取り付けた方のコネクタを、パソコン後面のS映像出力コネクタに接続し、もう一方のコネクタを、テレビの S 映像入力端子に接続します。

4 パソコンとテレビの電源を入れます。

電源を入れた直後（約5秒間）、テレビの画面が乱れることがありますが、故障ではありません。

ご参考

- パソコンとテレビは直接接続してください。ビデオデッキなどを通して接続すると、画像が乱れることがあります。
- 画面の表示先を切り替える（☞次ページ）で、テレビの表示を有効にする必要があります。

画面の表示先を切り替える

画面の表示先を切り替えるには、以下の手順に従って操作してください。

1 **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「画面」アイコンをダブルクリックします。**

「画面のプロパティ」画面が表示されます。

2 **「設定」タブをクリックし、[詳細]をクリックします。**

3 **「ディスプレイモード」タブをクリックし、「ドライバーモード」欄で「シングルモード」を選択します。**

4 **「プライマリー」欄の ▼ をクリックして、画面の表示先を切り替えます。**

外部ディスプレイに表示　：VGA1
内蔵ディスプレイに表示　：LCD2
テレビに表示　：TV2（CD-R/RW & DVD-ROM ドライブ搭載モデルのみ）

5 [OK] をクリックします。

6 確認画面で、「コンピュータを再起動せずに設定を変更する」を選択し、[OK] をクリックします。

7 [OK] をクリックします。

画面の表示先が切り替わります。

8 [はい] をクリックします。

ご参考

- 内蔵ディスプレイと外部ディスプレイに同じ画面を同時に表示したいときは、手順 **3** で「ミラーモード」を設定します。
- 動画の再生中やゲームソフトの使用中は、表示モードが切り替わらないことがあります。

外部ディスプレイの解像度を変える

ディスプレイの解像度や色を変える（☞89 ページ）を参照してください。

2 つのディスプレイに分けて表示する

内蔵ディスプレイ、外部ディスプレイを用いて、ひとつの画面を 2 つのディスプレイに分けて表示させることができます。（マルチモニタ機能）

詳しくは Windows のヘルプを参照してください。

マルチモニタ機能を設定するには

1 スタートメニューから「設定」−「コントロールパネル」をクリックし、「画面」アイコンをダブルクリックします。

「画面のプロパティ」画面が表示されます。

2 「設定」タブをクリックし、[詳細] をクリックします。

3 「ディスプレイモード」タブをクリックします。

4 「ドライバーモード」欄で「マルチモニターモード」を選択します。

5 プライマリー、セカンダリーを選択します。

外部ディスプレイ　：VGA1
内蔵ディスプレイ　：LCD2

ご参考

「帯域幅」は、それぞれの画面での表示領域を設定します。通常はご購入時のままお使いください。

6 [OK] をクリックします。

7 確認画面で [はい] をクリックします。

Windows が再起動します。

8 スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「画面」アイコンをダブルクリックします。

「画面のプロパティ」画面が表示されます。

9 「設定」タブをクリックします。

10 「2」と書かれているディスプレイをクリックします。

11 確認画面で [はい] をクリックします。

12 [OK] をクリックします。

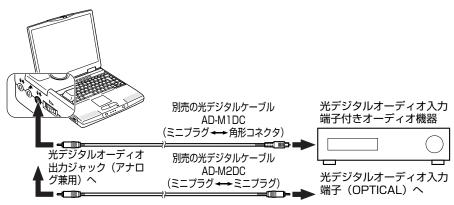
ご参考

DVDなどの動画表示は、「プライマリー」に設定したディスプレイのみに表示されます。（CD-R/RW & DVD-ROM ドライブ搭載モデルのみ）

周辺 光デジタルオーディオ機器に接続する

光デジタルオーディオ入力端子付きのオーディオ機器に接続すると、パソコンで再生した音をより鮮やかな音質で楽しめます。

光デジタルオーディオ入力端子付きのオーディオ機器に接続する

市販の光デジタルオーディオ入力端子付きアンプなどに接続できます。接続機器とコネクタ形状の合ったものをお使いください。
光デジタルオーディオ出力ジャックの出力サンプリング周波数は 48kHz です。

光デジタルオーディオ機器にデジタル音声を出力するときは

光デジタルオーディオ出力ジャック（アナログ兼用）の出力をデジタル音声出力に変更する必要があります。（ご購入時にはアナログ音声出力になっています。）

1. **タスクバーの をダブルクリックします。**
   「音量の調整」画面が表示されます。
2. **「WAVE」の音量つまみを上端までドラッグします。**
3. **「オプション」メニューをクリックし、「プロパティ」をクリックします。**
4. **「音量の調整」欄の「その他」をクリックします。**
5. **表示するコントロールの「S p d i f」をクリックしてチェックマークを付け、[OK] をクリックします。**
6. **「Spdif」の「全ミュート」をクリックしてチェックマークを外し、画面右上の をクリックして「Spdif」画面を閉じます。**

7 **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「システム」アイコンをダブルクリックします。**

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

「システム」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

8 **「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「CD-ROM」をダブルクリックします。**

9 **「MATSHITA XXXXXX」をクリックし、[プロパティ] をクリックします。**

10 **「プロパティ」タブをクリックします。**

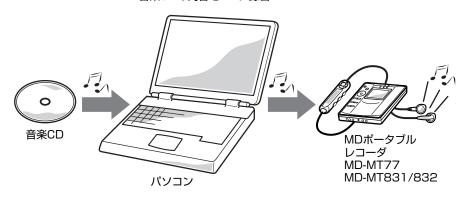
11 **「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」にチェックマークが付いていることを確認して、[OK] をクリックします。**

12 **[OK] をクリックして「システムのプロパティ」画面を閉じます。**

アナログ音声出力に戻すときは、手順**2**で「WAVE」の音量つまみを適当な位置まで下げ、手順**6**で「全ミュート」にチェックマークを付けてください。デジタル音声出力に変更した状態では、内蔵スピーカやヘッドホンから音声は出力されません。

パソコンリンク機能付き MD に録音する

シャープ製のパソコンリンク機能付きMDポータブルレコーダに接続すると、パソコン側の操作だけで、音楽 CD の内容を MD にデジタル録音することができます。

対応機種	接続方法	必要な別売品
MD-MT77	USB 接続	MD- パソコン接続キット（AD-PCR2）
MD-MT831/832	RS-232C 接続	光デジタルケーブル（AD-M2DC）および MD- パソコン接続ケーブル（AD-PCR1）

録音に失敗しないために

次の準備をしてください。

- AC アダプタを接続する。
- 「電源の管理のプロパティ」画面で「モニタの電源を切る」「システムスタンバイ」「システム休止状態」を「なし」にする。
- 録音に関係のないソフトや自動的に起動するアプリケーションソフトは終了する。
- スクリーンセーバーを「なし」にする。
- 接続している USB 機器を取り外す。
- RS-232C接続の場合、**光デジタルオーディオ機器にデジタル音声を出力するときは**（☞121 ページ）を参照して、デジタル音声を出力できるように設定する。

ご注意

録音中は、操作ボタンやキーを押さないでください。

ご参考

- パソコンの電源を入れた状態で、USB接続ケーブルを接続することができます。
- MD-パソコン接続キットに付属のソフトウェアは、インストールしないでください。インストールすると、以下の手順どおりに動作しなくなります。
- MDポータブルレコーダの使い方については、MDポータブルレコーダの説明書を参照してください。MD ポータブルレコーダ側のシンクロ録音機能を使った場合、正しく録音できないことがあります。
- 再生するCDによっては、曲番が正しく付かないときがあります。そのときは、MD ポータブルレコーダの編集機能を使って、録音後に曲番を付け直すことができます。

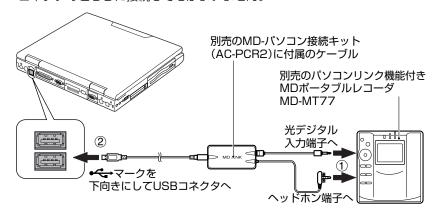
音楽 CD の全曲を MD に録音する（USB 接続）

1 録音用MD を MD ポータブルレコーダにセットします。

MDの誤消去防止タブが解除されていることを確認してセットしてください。

2 MD ポータブルレコーダの電源を切ります。

3 パソコンと MD ポータブルレコーダを接続します。

最初にMD ポータブルレコーダとMD-パソコン接続キット（AD-PCR2）に付属のケーブルを接続し（①）、次にパソコンのUSB コネクタにMD-パソコン接続キットに付属の USB 接続ケーブルを接続します（②）。上下 2 つの USB コネクタのどちらに接続してもかまいません。

4 スタートメニューから「プログラム」－「SHARP オリジナルプレーヤー」－「PC → MD 録音」をクリックします。

Windows Media Player が起動します。

5 音楽 CD をドライブにセットします。

自動的に音楽の再生が始まります。

6 をクリックして再生を停止し、音量を最大にします。

画面右側の目盛りを上端までドラッグします。

7 タスクバーの アイコンをダブルクリックし、「USBオーディオデバイス」画面で「WAVE」の音量つまみを上端までドラッグします。

8 [MD] をクリックします。

MD-PC Link2（MD 簡単編集ソフト）が起動し、MD への録音が始まります。MD ポータブルレコーダの電源は自動的に入ります。

録音中は他のアプリケーションソフトを使用しないでください。音とびの原因となります。

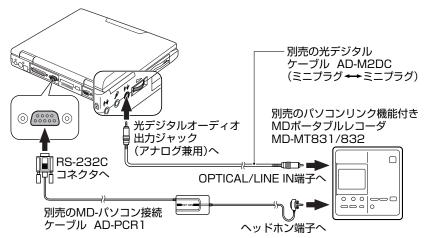
9 録音が終了したら、画面右上の ☒ をクリックしてMD-PC Link2、Windows Media Player、および「USB オーディオデバイス」画面を閉じます。

10 MD ポータブルレコーダの電源を切ります。

11 パソコンから USB 接続ケーブルを取り外します。

音楽 CD の全曲を MD に録音する（RS-232C 接続）

1 パソコンと MD ポータブルレコーダの電源を切ります。

2 パソコンと MD ポータブルレコーダを接続します。

3 パソコンの電源を入れます。

4 録音用 MD を MD ポータブルレコーダにセットします。

MDの誤消去防止タブが解除されていることを確認してセットしてください。

5 「光デジタルオーディオ機器にデジタル音声を出力するときは」（☞**121** ページ）を参照して、デジタル音声を出力できるようにします。

6 **スタートメニューから「プログラム」ー「SHARP オリジナルプレーヤー」ー「PC → MD 録音」をクリックします。**

Windows Media Player が起動します。

7 **アイコンをクリックし、「MD-PCリンク for Mebius（RS-232C接続）」をクリックします。**

8 **音楽 CD をドライブにセットします。**

自動的に音楽の再生が始まります。

9 **をクリックして再生を停止し、音量を最大にします。**

画面右側の目盛りを上端までドラッグします。

10 **［MD］をクリックします。**

MD-PC リンク for Mebius（MD 簡単編集ソフト）が起動し、MD への録音が始まります。

ご注意

録音中は他のアプリケーションソフトを使用しないでください。音とびの原因となります。

11 **録音が終了したら、画面右上の をクリックしてMD-PCリンクfor Mebius、Windows Media Player および「音量の調整」画面を閉じます。**

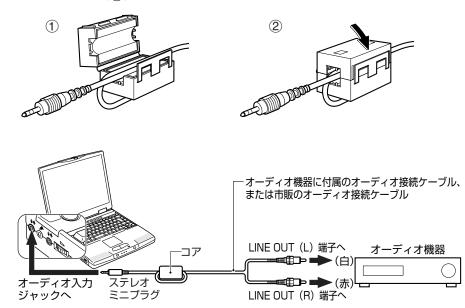
12 **MD ポータブルレコーダとパソコンの電源を切ります。**

13 **パソコンから MD- パソコン接続ケーブルを取り外します。**

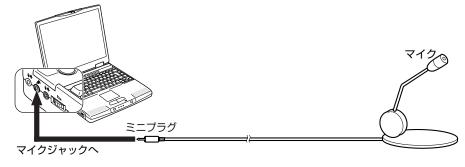
周辺 外部機器から音声を入力する

ライン出力端子付きのオーディオ機器や外部マイクを接続して、アナログ音声を入力できます。

オーディオ機器からアナログ音声を入力する

付属のコア(オーディオ接続ケーブル用)をオーディオ接続ケーブルのステレオミニプラグ側に付け、ライン出力端子(LINE OUT)付きのオーディオ機器と接続します。コアにオーディオ接続ケーブルを巻き付けてから(①)、「カチッ」と音がするように閉じてください(②)。

外部マイクから音声を入力する

接続できるマイクの仕様は次のとおりです。

タイプ：エレクトレットコンデンサマイク
電源電圧：2.5 V
適合インピーダンス：2 k Ω

PCカードを使う

PCカードをパソコンのPCカードスロットに差し込むと、周辺機器をつないだときと同じ役割をはたしたり、パソコン自体の機能を増やしたりすることができます。

このパソコンで使えるPCカード

- PCMCIA Rel.2.1/JEIDA Ver 4.2 規格に準拠した Type II および Type III の PC カード
- CardBus 対応の PC カード

ご参考

- Type II の PC カードと Type III の PC カードを同時に使うことはできません。
- CardBus以外の2枚のカードを同時に使用するには、セットアップユーティリティのAdvanced メニュー（☞146 ページ）の「I/O Device Configuration」で、「COM1 port」「COM2 port」「Parallel port」のいずれかを「Disabled」にする必要があります。

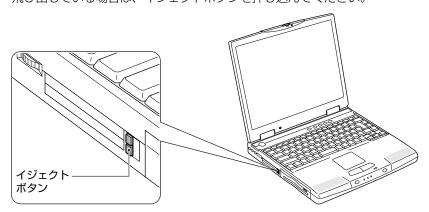
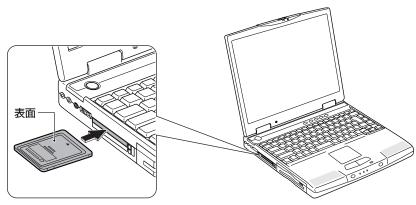
PCカードの種類

PC カードには、次のような種類があります。

メモリカード	データを保存して、持ち運ぶことができます。フロッピーディスクに比べて大容量のデータの保存や移動が可能です。
携帯電話用接続カード	携帯電話を使ってインターネットに接続するためのPCカードです。
ISDN 接続用 TA（ターミナルアダプタ）カード	PC カードタイプの TA（ターミナルアダプタ）です。TA を USB コネクタなどに接続した場合と同じ働きをします。
ネットワークカード	ネットワーク（LAN）に接続するための PC カードです。
PC カード型アダプタ	デジタルカメラで使うスマートメディアなどに保存されたデータをパソコンに取り込むことができます。
インタフェースカード	SCSI（スカジー）など、規格の違う端子を持つ機器との接続が可能になります。

ご参考

- 電源を入れた状態で PC カードを差し込むことができます。
- 初めてPCカードを差し込んだときは、自動的に対応するドライバソフトがインストールされます。インストールされない場合は、警告音が鳴り、画面が表示されますので、画面の指示に従ってドライバソフトをインストールしてください。
- PC カード型モデム（PHS および携帯電話対応通信カードも含む）を使用するときは、セットアップユーティリティの Advanced メニュー（☞146 ページ）の「I/O Device Configuration」で、「COM1 port」または「COM2 port」の項目を「Disabled」に設定してください。この設定をしないと、PCカード型モデムが正常に動作しなくなります。

1 イジェクトボタンが飛び出していないことを確認します。
飛び出している場合は、イジェクトボタンを押し込んでください。

2 表面が上にくるようにして、しっかりと差し込みます。

PC カードを取り出す

取り出す前に、パソコンの操作で、PC カードの使用を停止する必要があります。

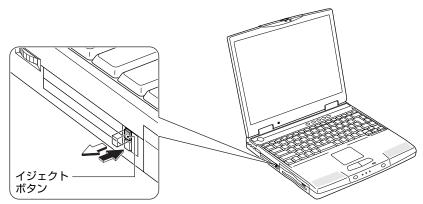
ご注意

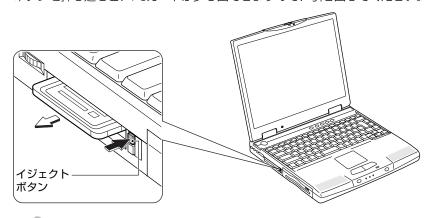
必ず下記の手順どおりに操作してPCカードを取り出してください。正しく操作して取り出さないと、パソコンが正常に動作しなくなることがあります。

1 タスクバーの をクリックします。

2 「XXXXXXXX の停止」をクリックします。

3 [OK] をクリックします。

4 イジェクトボタンを押して、ボタンを飛び出した状態にします。

5 **飛び出したイジェクトボタンを押し込み、PC カードを取り出します。**

ボタンを押し込むと、PCカードが少し出てきますので、引き出してください。

ご注意 **PC カードは熱くなっていることがあります**

PCカードは、急に強くつかまないでください。PCカードによっては、長時間使用した場合、熱くなるものがあります。取り出すときに注意してください。

6 **イジェクトボタンを押して元の位置に戻します。**

周辺 メモリを増設する

メモリを増やすと、パソコンが一時的に記憶するデータ容量を増やすことになります。その結果、大容量のデータを処理できるようになったり、複数のアプリケーションソフトを起動しても、快適に操作できるようになります。
このパソコンには、あらかじめ64MB(メガバイト)または128MBのメモリが内蔵されています。(仕様一覧☞別紙)別売の増設RAMボードを取り付けると、64MBまたは128MBのメモリを追加することができます。

メモリをお買い求めの際は

次の別売増設RAMボードをお求めください。

型名	容量	増設後の合計容量
CE-M544B、CE-M554B	64MB	128MBまたは192MB
CE-M545B、CE-M555B	128MB	192MBまたは256MB

増設RAMボードを取り付ける

ご注意

RAMボードは静電気に非常に弱い部品です。そのため、身体に残った静電気などで破損することがあります。取り扱うときは、必ず次の事項を守ってください。

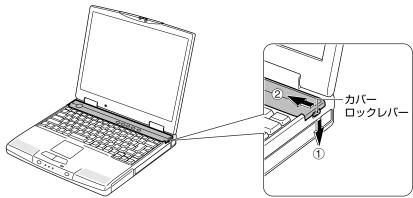
- 取り扱う前に、金属に触れるなどして身体の静電気を逃がしておく。
- 静電気の起きやすい場所(カーペットの上など)では、取り付け作業をしない。
- RAMボードの端子部分は、手で触れない。
- RAMボードを保管するときは、RAMボードを覆っていた静電気保護材、またはアルミ箔などの導電性の保護材で覆う。

1 パソコンの電源を切り、バッテリパックとACアダプタを取り外します。

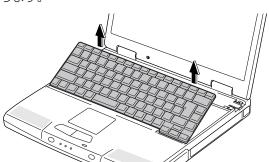
バッテリパックの取り外し方については、**バッテリパックを交換する**(☞64ページ)を参照してください。

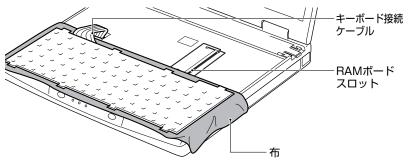
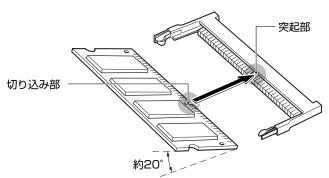
ご注意

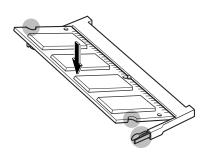
- 必ずパソコンの電源を切り、ACアダプタを取り外してください。感電の原因になります。
- 長時間使用した直後は、パソコン内部が熱くなっていることがあります。温度が下がるのを待ってから取り付けてください。

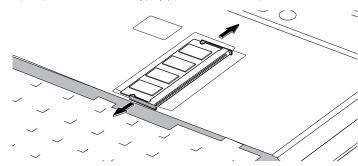
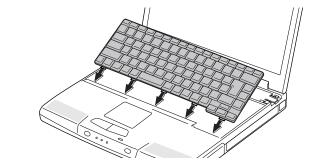
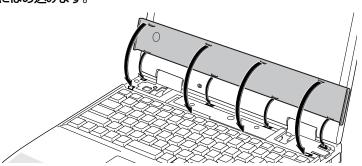
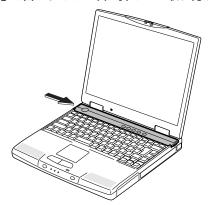
2 カバーロックレバーを押しながら（①）、カバーを左にずらします（②）。

3 カバーを、まっすぐ上に持ち上げて、取り外します。

4 キーボードのディスプレイ側にある黒い突起部を、ゆっくり持ち上げます。

キーに指をひっかけて強く引っ張らないでください。キーが外れることがあります。

5 **キーボードを手前に裏返します。**

- キーボード接続ケーブルを引っ張って、抜かないようにしてください。
- パソコンに傷がつかないように、布をキーボードの下に敷いてください。

6 **RAMボードスロットの黒いカバーをめくり、RAMボードの切り込み部を、スロットの突起部に合わせて、斜めにしっかり押し込みます。**

7 **RAM ボードの左右の切り込み部を、スロットの突起部に合わせて、ゆっくりと押し込みます。**

正しく取り付けられると、「カチッ」と音がします。

RAM ボードを取り外すときは

RAM ボードスロットの 2 つのツメを外側に開きます。
RAM ボードが立ち上がり、取り外すことができます。

8 キーボードの5箇所のツメをパソコンの切り込み部にはめこみ、しっかり奥まで差し込んでから、静かにキーボードを元の位置に戻します。

9 キーボードを正しく取り付けてから、カバーのツメをパソコンの切り込み部にはめ込みます。

10 カバーを「カチッ」と音がするまで右に押して、取り付けます。

11 バッテリパックと AC アダプタを取り付けます。

取り付けが終わったら、電源を入れてメモリ容量を確認してください。

メモリの容量を確認する

1 スタートメニューから、「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「システム」アイコンをダブルクリックします。

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

「システム」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

メモリ容量が表示されます。

（計算上の値より少ない値が表示されることがあります。）

2 ［OK］をクリックして、画面を閉じます。

3 画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

付録

付録 シャープ独自のフォントを使う

このパソコンには、シャープ独自のTrue Typeフォント（2書体）がインストールされています。付属のCD-ROMには、さらに11書体が収録されています。

インストールされているフォントを使う

インストールされている2書体は、液晶画面で見やすく、読みやすくなるように設計されたLCフォントです。インターネットのブラウザソフトやメールソフトが読みやすくなります。

この2書体は、各ソフトウェアの画面設定の書体を変更するだけで使用できます。

SH G30-M：すべての文字が同じ幅を持つモノスペースフォントで、文章の本文から小見出しまでの表示に適しています。

SH G30-P ：文字ごとに幅を変えて見た目に美しいように考えられているプロポーショナルフォントで、文字形状に合わせた字詰めにより、より美しく、読みやすい文章を表示できます。

SH G30-M
優Intelligence

SH G30-P
優Intelligence

CD-ROMに用意されているフォントを使う

次の11書体は、お好みのフォントをインストールしてお使いください。

ページデザイナー（ホームページ／マルチメディア文書作成ソフト）がインストールされているモデルでは、※マークのフォントはインストールされています。

SH スリムタッチ	SH 丸ポップ W7	SH 角ポップ W7	SH クリスタルタッチ	SH ダイヤタッチ	SH ブラシタッチ
優 ※	優 ※	優 ※	優	優	優

SH プリンセスタッチ	SH リボンタッチ	SH ロボットタッチ	SH つくしタッチ	SH 小枝タッチ
優	優 ※	優	優	優 ※

CD-ROMからフォントをインストールする

1 **「プロダクトリカバリ CD-ROM ディスク 3」をドライブにセットします。**

2 **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「フォント」アイコンをダブルクリックします。**

「FONTS」画面が表示されます。

「フォント」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

3 **「ファイル」メニューの「新しいフォントのインストール」をクリックします。**

「フォントの追加」画面が表示されます。

4 **「ドライブ」欄の ▼ をクリックし、リストから「r:」をクリックします。**

5 **「フォルダ」欄で「shpfont」をダブルクリックします。**

「フォントの一覧」欄にフォントが一覧表示されます。

6 **「フォントの一覧」欄でインストールしたいフォントを選び、「[FONTS]フォルダにフォントをコピーする」がチェックされていることを確認して、[OK]をクリックします。**

フォントがインストールされます。

7 **画面右上の ✕ をクリックして「FONTS」画面を閉じます。**

8 **画面右上の ✕ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。**

付録 オリジナルの外字を使う

このパソコンでは、あらかじめ「筆王」(はがき作成ソフト)用の外字が登録されています。外字エディタで作成したオリジナルの外字を利用するときは、以下の手順に従って筆王の外字フォントを解除してください。

筆王の外字フォントを解除する

1 スタートメニューから「プログラム」ー「筆王」ー「外字フォントの登録と解除」をクリックします。

「外字フォントの登録と解除」画面が表示されます。

2 「筆王の外字フォントを解除する(登録する前の状態に戻す)」をクリックして選択し、[OK] をクリックします。

3 [はい] をクリックします。

4 [OK] をクリックします。

「筆王」用の外字に戻すときは

上記手順**2**で「筆王の外字フォントを登録する」を選択し、[OK] をクリックします。

セットアップユーティリティ

セットアップユーティリティは、パソコンの動作環境に関する設定（接続した周辺機器の有効／無効、パスワードの設定、省電力機能の設定など）を変更するためのユーティリティです。

セットアップユーティリティの内容は、ご購入時に適切に設定されています。必要なとき以外は操作しないでください。

セットアップユーティリティには、次のようなメニューがあります。

- Main メニュー
- Advanced メニュー
- Security メニュー
- Power メニュー
- Boot メニュー
- Exit メニュー

ご参考

誤って変更してしまったときは、**すべての設定を初期値に戻す**（☞152ページ）の操作をしてください。

設定内容を変更する

1 **電源を入れます。**

2 **画面の左下に「<F2>to enter System Configuration Utility」と表示されているとき、F2 キーを押します。**

セットアップユーティリティの画面が表示されます。

3 各項目を設定します。（画面の下段に操作案内が表示されています。）

[←][→]　：メニューを選びます。
[↓][↑]　：項目を選びます。
[Esc]　：設定を取り消し、1 ステップ前の状態に戻ります。
[－][（スペース）]　：設定内容を切り替えます。

▶ マークのある項目は
[↵] キーを押すとサブメニューが表示されます。
[↓][↑] キーで項目を選択し、[－] キー／[（スペース）] キーで設定内容を切り替えます。
元のメニューへ戻るときは [Esc] キーを押してください。

4 Exit メニューの「Exit Saving Changes」を選択し、[↵] キーを押します。

5 「Save configuration changes and exit now?」と表示されたら、[Yes] を選択し、[↵] キーを押します。

変更した内容を保存してセットアップユーティリティが終了し、Windows Me が起動します。

ご参考

セットアップユーティリティの操作中は、省電力機能は働きません。ディスプレイパネルを閉じないでください。

Main メニュー

日付と時刻など、システムの基本的な設定項目があります。

System Time

時刻(時:分:秒)を設定します。Tab キーでカーソルを移動させ、－キー／(スペース)キーで数値を選択してください。

System Date

日付(月／日／年)を設定します。Tab キーでカーソルを移動させ、－キー／(スペース)キーで数値を選択してください。

Legacy Diskette A

使用するフロッピーディスクのタイプを設定します。通常はご購入時の状態のままお使いください。

Primary Master

ハードディスクの容量が表示されます。設定を変更することができますが、通常はご購入時の状態のままお使いください。

Secondary Master

「CD-ROM」と表示されます。設定を変更することができますが、通常はご購入時の状態のままお使いください。

Memory Cache

メモリキャッシュの状態を設定します。通常はご購入時の状態のままお使いください。

Keyboard NumLock

内蔵キーボードのテンキーモードの入力の有効／無効を設定します。

Enabled　：有効　　Disabled　：無効

System Memory

コンベンショナルメモリ容量（640KB）が表示されます。

Extended Memory

1MB以上のエクステンドメモリの容量が表示されます。メモリを増設すると、この値は自動的に更新されます。（Advanced Chipset Control メニューの Share Memory で設定しているビデオメモリ容量を除いた値が表示されます）

System Bios Version

搭載されている System BIOS のバージョンが表示されます。

KBC Bios Version

搭載されている KBC BIOS のバージョンが表示されます。

Advanced メニュー

赤外線通信機器やプリンタなど、周辺機器と組み合わせて使うときに必要なポート関連の設定項目があります。

Advanced メニューには、以下のサブメニューが含まれます。
・Advanced Chipset Control
・I/O Device Configuration

Advanced Chipset Control

Advanced Chipset Control

- **Share Memory**
  エクステンドメモリと共有するビデオメモリサイズ（4M/8M/16M）を設定します。

Device Menu:

- **Audio Device**
  内蔵オーディオデバイスの有効／無効を設定します。
  Enabled　：有効　Disabled　：無効
- **Ethernet Device**
  内蔵 LAN デバイスの有効／無効を設定します。
  Enabled　：有効　Disabled　：無効
- **Modem Device**
  内蔵モデムデバイスの有効／無効を設定します。
  Enabled　：有効　Disabled　：無効

I/O Device Configuration

I/O Device Configuration

- **COM1 port**
  RS-232C ポートの I/O アドレスと IRQ を割り当てます。または使用禁止にします。
  Auto　：自動的に割り当てる
  Enabled　：手動で割り当てる
  Disabled　：RS-232C ポートの使用を禁止する

• **COM2 port**

赤外線通信ポートの I/O アドレスと IRQ を割り当てます。または使用禁止にします。

Auto	：自動的に割り当てる
Enabled	：手動で割り当てる
Disabled	：赤外線通信ポートの使用を禁止する
Mode	：赤外線通信ポートのモードを設定する
IrDA	：通常の通信モード
ASK	：ザウルスとの通信に使用するモード。このパソコンでは使用できません

• **Parallel port**

プリンタポートの I/O アドレスと IRQ を割り当てます。または使用禁止にします。

Auto	：自動的に割り当てる
Enabled	：手動で割り当てる
Disabled	：プリンタポートの使用を禁止する
Mode	：プリンタポートのモードを設定する
Output only	：出力のみのモード
Bi-directional	：双方向モード
ECP	：Extended Capabilities Port モード
EPP	：Enhanced Pararell Port モード

• **Floppy disk controller**

フロッピーディスクデバイスの有効／無効を設定します。

Enabled ：有効　Disabled ：無効

• **Pointing Device**

パッド型ポインティングデバイスの有効／無効を設定します。

Enabled	：パッドを有効とする。ただし、外付けの PS/2 マウスが接続されていれば PS/2 マウスのみを有効とし、パッドを無効とする
Disabled	：パッドを無効とする

Security メニュー

パスワードの登録、ウィルス侵入時の警告など、パソコンの安全機能に関する設定項目があります。

System Password Is

パスワードが登録されていないときは「Clear」と、登録されているときは「Set」と表示されます。

Set Supervisor Password

パスワードを登録します。8 文字までの英数字で設定してください。

Fixed disk boot sector			
ハードディスクのブートセクタへの書き込みを禁止するかを設定します。			
Normal	：書き込みを禁止しない	Write Protect	：書き込みを禁止する

Password on boot			
起動時にパスワード入力が必要かを設定します。			
Enabled	：必要	Disabled	：不要

セットアップユーティリティのパスワードを登録／変更／削除する

パスワードを登録しておくと、セットアップユーティリティの起動時にパスワード入力画面が表示され、パスワードを知らない人の使用を防ぐことができます。

必要のないときは、パスワードを設定しないでください。パスワードを忘れると、セットアップユーティリティが起動できなくなります。

1 Security メニューを選択します。

2 「Set Supervisor Password」を選択し、[Enter] キーを押します。

パスワード入力画面が表示されます。

数字キーロックモードは解除しておくことをお勧めします。

パスワードは、8 文字までの半角英数字、および記号で設定してください。

初めて登録するとき

① 「Enter New Password」で、パスワードを入力し、[Enter]キーを押します。

② 「Confirm New Password」で、確認のためもう一度同じパスワードを入力し、[Enter] キーを押します。

変更／削除するとき

① 「Enter Current Password」で、現在のパスワードを入力し、[Enter]キーを押します。

② 「Enter New Password」で、新しいパスワードを入力し、[Enter]キーを押します。

③ 「Confirm New Password」で、確認のためもう一度同じパスワードを入力し、[Enter] キーを押します。

パスワードを削除するときは、手順②と③で何も入力せずに[Enter]キーを押します。

3 [Enter] キーを押します。

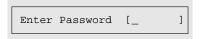
4 **Exitメニューの「Exit Saving Changes」を選択し、[Enter]キーを押します。**

確認画面が表示されます。

5 **「Save configuration changes and exit now?」と表示されたら、[Yes]を選択し、[Enter]キーを押します。**

設定内容を保存してセットアップユーティリティが終了し、Windows Meが起動します。

パスワードを登録したパソコンを起動する

起動時に表示されるパスワード入力画面にパスワードを入力します。入力しないと、次の操作に進むことができません。

パスワードの入力を間違えると、「Setup Warning」と表示されますので、[Enter]キーを押してパスワードを再入力してください。
パスワードの入力を3回間違えると、「System Disabled」と表示されて起動できなくなります。このときは、電源ボタンを4秒以上押し続けて電源を切り、その後10秒以上たってから、電源を入れ直してください。

Power メニュー

省電力機能に関する設定項目があります。

Power Savings（Windows Me環境では無効）

「Standby Timeout」、「Suspend Timeout」、「Hard Disk Timeout」、「Video Timeout」の項目の設定値を設定します。

Customized	：各項目を細かく設定する
Maximum Power Sav	：省電力機能を最大限にする（各項目は自動設定）
Maximum Performan	：省電力機能を最小限に抑える（各項目は自動設定）
Disabled	：省電力機能を無効にする（各項目は無効）

SaveToDisk Warning Message（Windows Me 環境では無効）

休止状態のときにシステムの状態を保存する領域がハードディスクに確保されていないとき、電源投入時に警告メッセージを表示する／表示しないを設定します。常に "Disabled" で使用してください。

Enabled	：表示する	Disabled	：表示しない

Standby Timeout（Windows Me 環境では無効）

「Power Savings」が「Customized」のときのみ設定できます。一定時間アイドル状態が続いたとき、スタンバイモード（CPU クロックを下げる、ディスプレイの電源を停止させる）に移行するかを設定します。

1 Minute 〜 16 Minutes	：設定した時間後（1 〜 16 分）に移行する
Disabled	：移行しない

Suspend Timeout（Windows Me 環境では無効）

「Power Savings」が「Customized」のときのみ設定できます。一定時間ハードディスクにアクセスがなく、表示状態も変わらない場合に、スタンバイまたは休止状態に移行するかを設定します。（移行する状態は、下記の "Suspend Mode" に依存する）

5 Minutes 〜 60 Minutes	：設定した時間後（5 〜 60 分）に移行する
Disabled	：移行しない

Suspend Mode（Windows Me 環境では無効）

省電力機能が開始されるときに、スタンバイと休止状態のどちらに移行するかを設定します。

Suspend	：スタンバイに移行する
Save To Disk	：休止状態に移行する

Hard Disk Timeout（Windows Me 環境では無効）

「Power Savings」が「Customized」のときのみ設定できます。一定時間ハードディスクにアクセスがない場合に、ハードディスクへの電源供給を停止するかを設定します。

1 Minute 〜 15 Minutes	：設定した時間後（1 〜 15 分）に停止する
Disabled	：停止しない

Video Timeout（Windows Me 環境では無効）

「Power Savings」が「Customized」のときのみ設定できます。一定時間キーボードなどからの入力がないなど、表示内容が変わらない場合に、ディスプレイへの電源供給を停止するかを設定します。

1 Minute 〜 15 Minutes	：設定した時間後（1 〜 15 分）に停止する
Disabled	：停止しない

LID function（Windows Me 環境では無効）

ディスプレイを閉じたときに、移行するモードを設定します。

Display OFF	：ディスプレイをオフする
CRT Display	：ディスプレイ出力を外部ディスプレイに切り替える
Suspend	：スタンバイまたは休止状態に移行する（移行する状態は、「Suspend Mode」に依存する）

Battery Low Beep

バッテリパックの容量が少なくなったときに、警告音を鳴らすかを設定します。

Enabled	：鳴らす	Disabled	：鳴らさない

Resume On LAN

LAN 内蔵デバイスが起動パケットを受信したとき、スタンバイから復帰させるかを設定します。

Enabled	：復帰させる	Disabled	：復帰させない

Resume On Modem Ring

内蔵モデムに着信があったとき、スタンバイから復帰させるかを設定します。

Enabled	：復帰させる	Disabled	：復帰させない

Resume On Time（Windows Me 環境では無効）

下記「Resume Time」の項目で設定した時刻にスタンバイから復帰するかを設定します。

Enabled　：復帰する　Disabled　：復帰しない

Resume Time（Windows Me 環境では無効）

上記「Resume On Time」で「Enabled」のとき、スタンバイから復帰させる時刻を、24 時間制の時：分：秒で設定します。

Boot メニュー

システムを起動するディスクドライブの優先順位を設定します。上に設定されているディスクドライブから順番にシステムを起動させます。優先順位を変更する場合には、[↑][↓]キーで変更ドライブを選択し、[－]キー／[スペース]キーで優先順位を変更してください。

[Hard Drive] .... C：（ハードディスク）から起動する

[Diskette Drive] .... A：（フロッピーディスク）から起動する

[CD-ROM Drive] .. CD-R/RW & DVD-ROM ドライブ、CD-R/RW ドライブまたは CD-ROM ドライブから起動する

Exit メニュー

セットアップユーティリティの設定を、取り消す、初期値に戻す、設定内容に変更するなどを選んで、終了する画面です。

Exit Saving Changes
変更内容を保存して、セットアップユーティリティを終了します。

Exit Discarding Changes
変更内容を保存しないで、セットアップユーティリティを終了します。

Load Setup Defaults
セットアップユーティリティのすべての項目を初期値に戻します。

Discard Changes
セットアップユーティリティのすべての項目を前回保存した値に戻します。

Save Changes
変更内容を保存します。

すべての設定を初期値に戻す

1. **Exit メニューの「Load Setup Defaults」を選択し、↵ キーを押します。**
2. **「Load default configuration now?」と表示されたら、[Yes] を選択し、↵ キーを押します。**
3. **Exit メニューの「Exit Saving Changes」を選択し、↵ キーを押します。**
4. **「Save configuration changes and exit now?」と表示されたら、[Yes] を選択し、↵ キーを押します。**
   設定内容を保存してセットアップユーティリティが終了し、Windows Meが起動します。

付録 パソコンのお手入れ

お手入れをする際は、電源を切っておいてください。

キャビネット／通風孔／赤外線ポート

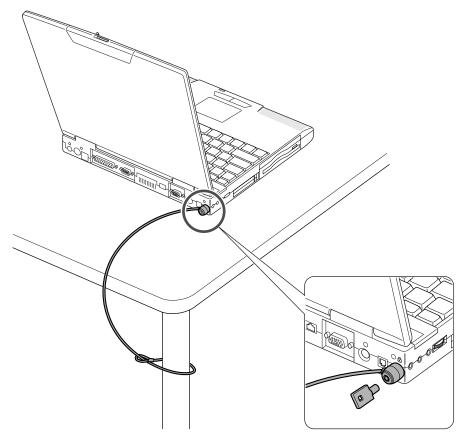
ほこりの出ない乾いた柔らかい布で拭いてください。
通風孔にほこりなどが付着すると、本体の換気を妨げるおそれがあります。
赤外線通信ポートに汚れがあると、データ転送に障害が発生します。

ディスプレイ／パッド型ポインティングデバイス

ほこりの出ない乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、少量の中性洗剤を含ませて拭いてください。

お手入れの際に、アルコール、ベンジン、シンナーなどの強い化学薬品やぬれぞうきんは使用しないでください。変形・変色の原因となります。

付録 盗難を防止する

市販の盗難防止ロックを盗難防止ホール（ K ）につなぐと、パソコンを持ち運べないように固定することができます。

ご参考

盗難防止ホールは、マイクロセーバーセキュリティシステム等のセキュリティワイヤーに対応しています。製品についてのお問い合わせ先は、以下のとおりです。

　日本ポラデジタル株式会社
　〒 104-0032　東京都中央区八丁堀 1-5-2　はごろもビル
　Tel：03-3537-1070　　Fax：03-3537-1071
　URL：http://www.poladigital.co.jp/

付録 故障かな？と思ったら

“故障かな？”と思っても、調べてみると故障ではないこともあります。修理をご依頼になる前に、ここに記載されている内容をお確かめください。
トラブルによっては、パソコンの故障ではなく、Windows Me やアプリケーションソフト、または周辺機器に関するトラブルの場合もあります。次の説明書やヘルプもあわせて参照してください。

- スタートメニューの「ヘルプ」をクリックして表示されるヘルプ画面
- お使いのアプリケーションソフトの説明書、ヘルプ
- お使いの周辺機器の説明書

それでも問題が解決しないときは

一度パソコンのハードディスクを初期化して、改めてご購入時の状態に戻すこと（再インストール）をお勧めします。付属のプロダクトリカバリ CD-ROMには、もともとハードディスクに記録されていたデータと同じものが保存されています。それをそっくりコピーしてご購入時の状態に戻すことができます。 詳しくは、**ご購入時の状態に戻す（再インストール）**（☞168 ページ）を参照してください。

Windows 起動時（電源を入れたとき）のトラブル

? 電源を入れても　ランプ、または　ランプが点灯しない

- AC アダプタが正しく接続されているか確認してください。
- 別の電気機器を接続し、電源コンセントに電気がきているか確認してください。
- バッテリパックが正しくセットされ、充電されているか確認してください。
- バッテリの容量が一定水準以下のときは、AC アダプタを接続してください。
- 上記すべての操作をしてもだめなときは、キーボードやパッド型ポインティングデバイスからの入力操作を受け付けない（☞158 ページ）の操作をしてください。

? 「Invalid system disk」と表示される

- フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクがセットされている場合は、フロッピーディスクを取り出し、何らかのキーを押してください。

? フロッピーディスクから起動できない

- フロッピーディスクドライブにセットしたフロッピーディスクが起動用かどうか確認してください。
- セットアップユーティリティの Boot メニュー（☞151 ページ）で先頭が「Diskette Drive」になっているか確認してください。

? 「Press <F1> to resume, <F2> to Setup」と表示される

- セットアップユーティリティの設定が消えています。セットアップユーティリティを起動し、セットアップユーティリティの各項目を初期値に戻します。（必ず日付と時刻を設定してください。）

画面表示に関するトラブル

? 画面が表示されない

- 何らかのキー、または電源ボタンを押して省電力機能が働いていないか確認してください。
- 電源ランプ、またはバッテリランプが点灯しているか確認し、パソコンに電源が供給されているか確認してください。
- バッテリパックが正しくセットされ、充電されているか確認してください。
- Fn ＋ F5 キーを数回押し、表示が外部ディスプレイになっていないか確認してください。
- Fn ＋ F11 キーを押し、ディスプレイがオフになっていないか確認してください。
- 上記すべての操作をしてもだめなときは、**キーボードやパッド型ポインティングデバイスからの入力操作を受け付けない**（☞ 次ページ）の操作をしてください。

? 外部ディスプレイに何も表示されない／表示される画面が乱れる

- 外部ディスプレイの電源が入っているか確認してください。
- 外部ディスプレイが正しく接続されているか確認してください。
- Fn ＋ F5 キーを数回押し、表示が内蔵ディスプレイになっていないか確認してください。
- Fn ＋ F5 キーで表示先を切り替えると、まれに画面が正常に表示されないことがあります。再度 Fn ＋ F5 キーで表示先を元に戻し、Windows Meのコントロールパネルの「画面」で表示先を変えてください。
- 画面の領域の設定が外部ディスプレイの解像度より大きくなっていないか確認してください。
- ラジオやテレビなど強い磁界が発生するものから、十分離して設置してください。
- ラジオやテレビなどと別のコンセントに接続してください。

? Fn ＋ F5 キーで画面が切り替わらない

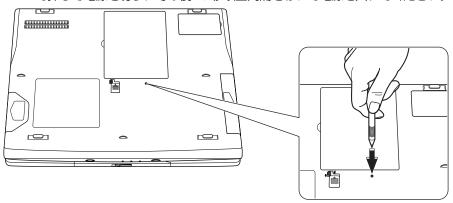
- 外部ディスプレイのリフレッシュレートが60Hzに設定されていることを確認してください。外部ディスプレイが 60Hz より高い周波数で動作しているとき、Fn ＋ F5 キーでの表示の切り替えはできません。
- マルチモニタ機能が有効になっていると Fn ＋ F5 キーでの表示の切り替えはできません。
- Fn ＋ F5 キーではテレビへの表示切り替えはできません。
- Windows Meのコントロールパネルの「画面」で、表示先を切り替えてください。

? 画面モードが変更できない

- 一度640 x 480 ドット、256色に設定し、その後、希望する画面モードに設定してください。

キーボード・パッド型ポインティングデバイスに関するトラブル

? キーボードやパッド型ポインティングデバイスからの入力操作を受け付けない

- 以下の手順に従って操作してください。
  ① Ctrl ＋ Alt ＋ Delete キーを押し、表示される画面の指示に従って操作してください。
  ② 上記の操作をしてもだめなときは、電源ボタンを4秒以上押し続けて強制的に電源を切り、その後 10 秒以上間隔をおいて再度電源を入れてください。
  ③ 上記の操作をしてもだめなときは、ハードディスクランプが点灯していないことを確認した上で、リセットスイッチを先のとがったもの（ボールペンなど）で押して電源を切り、その後 10 秒以上間隔をおいて電源を入れてください。

? パッド型ポインティングデバイスが正しく動作しない

- ポインティングデバイスのパッド面や手が、水や汗でぬれていないか確認してください。パッド面が汚れているときは、汚れを拭き取ってください。
- PS/2マウスが接続されているとパッド型ポインティングデバイスは動作しません。パソコンの電源を切り、PS/2 マウスを取り外してください。
- セットアップユーティリティの Advanced メニュー（☞146 ページ）の「I/O Device Configuration」で「Pointing Device」の項目が「Enabled」になっているか確認してください。

フロッピーディスクに関するトラブル

? フロッピーディスクへのデータの書き込みや読み取りができない

- フロッピーディスクが正しくセットされているか確認してください。
- ドライブ、ファイル名の指定に誤りがないか確認してください。
- フロッピーディスクがフォーマットされていないか、壊れている可能性があります。フォーマットするか、別のフロッピーディスクをセットしてください。

- フロッピーディスクに書き込めない場合は、書き込み禁止状態になっていないか確認してください。
- フロッピーディスクに書き込めない場合は、フロッピーディスクの空き容量が不足していないか確認してください。

? 1.2MB タイプのフロッピーディスクが使えない

1.2MB タイプのフロッピーディスクには、次の制限があります。

- 1.2MB タイプのディスクでは起動できません。
- SYS、 DRVSPACE、DISKCOPYなどのコマンドは実行できません。
- データを保存するときや1.44MBのディスクを使用するコンピュータとデータをやりとりするときは使わないでください。
- 特殊なフォーマットタイプ(2HD-1.21MBタイプなど)のディスクに対しては読み書きできません。

ハードディスクに関するトラブル

? ハードディスクへのデータの書き込みや読み取りができない

- ドライブ、ファイル名の指定に誤りがないか確認してください。
- ハードディスクの空き容量が不足していないか確認してください。
- Windows Meの再インストールが正しくできない場合は、セットアップユーティリティの Security メニュー(☞147ページ)で、「Fixed disk boot sector」の項目が「Normal」になっているか確認してください。

CD/DVD に関するトラブル

? ドライブが開かない

- パソコンの電源が入っているか確認してください。
- パソコンの電源を切ってから、トレイにある丸いスイッチを先のとがったもの(ボールペンなど)で押してください。(通常はこの方法で開けないでください。)

? *Windows Me CD-ROM を要求するメッセージが表示される*

- 「ファイルのコピー元」に次のように入力してください。
  C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS

? *データの読み取りができない／ファイルの再生ができない／ CD-R/RW に書き込めない*

- ディスクが正しくセットされているか確認してください。
- ドライブ、ファイル名の指定に誤りがないか確認してください。
- ディスクに汚れや傷がないか確認してください。
- 再生しようとしているディスクやファイルがサポートされているか確認してください。
- 以下の手順に従って、「挿入の自動通知」にチェックマークを付けてください。
  ① スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「システム」アイコンをダブルクリックします。
  「システム」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。
  ② 「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「CD-ROM」をダブルクリックします。
  ③ 「MATSHITA XXXXXX」をクリックし、[プロパティ] をクリックします。
  ④ 「設定」タブをクリックします。
  ⑤ 「挿入の自動通知」をクリックしてチェックマークを付け、[OK] をクリックします。
  ⑥ [閉じる] をクリックします。
  ⑦ 確認画面で、[はい] をクリックします。
  Windows が再起動されます。

? *Windows Media Player で音楽 CD を再生したときに音が飛ぶ*

- 以下の手順に従って操作してください。
  ① スタートメニューから「プログラム」ー「Windows Media Player」をクリックします。
  ② 「ツール」メニューをクリックし、「オプション」をクリックします。
  プレーヤーにスキンを適用している場合は、「ツール」メニューが表示されません。（フルモードに戻る）アイコンをクリックして、フルモードに戻してください。
  ③ 「CD オーディオ」タブをクリックします。
  ④ 「デジタル再生」をクリックし、チェックマークを外します。

⑤ [OK] をクリックします。
上記手順で「デジタル再生」のチェックマークを外したときは、「音量の調整」画面では「CD オーディオ」の音量つまみで調節してください。

通信に関するトラブル

? 赤外線(光)通信ができない

- セットアップユーティリティの Advanced メニュー (☞146 ページ) の「I/O Device Configuration」で下記の項目が設定されているか確認してください。
  「COM2 port」 :「Auto」または「Enabled」に設定。
  「Mode」 :「IrDA 」に設定。
- Windowsの電源の管理のプロパティで「システムスタンバイ」が「なし」になっているか確認してください。それでも通信できないときは、「ハードディスクの電源を切る」を「なし」に設定してください。
- パソコンと通信相手の赤外線(光)通信ポートがまっすぐに対向し、適切な距離になっているか、間に障害物がないか確認してください。
- 蛍光灯などから、十分離して操作してください。

? 内蔵モデムで通信ができない

- 電話回線が内蔵モデムのモデムジャックに正しく接続されているか確認してください。
- Windows Meや通信ソフトでのダイヤル方式(パルス式、トーン式)の設定が、接続された電話回線の種類と一致しているか確認してください。
- モデムの所在地情報の「国名/地域」が「日本」に設定されているか、確認してください。(☞26 ページ)
- ネットワーク関連の設定(ネームサーバアドレスなど)が正しいか確認してください。
- 接続する際に設定するユーザ名やパスワードが正しいか確認してください。
- 通信ソフトウェアの COM ポートが正しく設定されているか確認してください。
- 回線ルート自動切替装置を取り付けていませんか?
  電話料金がもっとも安くなる回線を自動的に選択する装置を取り付けている場合は、モデムが正常に働かない可能性があります。装置を取り外すか、装置のメーカーにご相談ください。
- ホームテレホンやビジネスホンに接続していませんか?
  ホームテレホン、ビジネスホン、ボタン電話、キーテレホンなど多機能電話のジャックに、内蔵モデムを接続することはできません。切替機を用いて電話とモデムを切り替える必要があります。切替機については、多機能電話のメーカーにお問い合わせください。

- 構内交換機（PBX）に接続していませんか？
  構内交換機（PBX）にはデジタル回線のものがあり、その場合は内蔵モデムが使えません。PBXの保守部門やサービス会社に問い合わせて、一般アナログ公衆回線と同等であることを確認してください。
- キャッチホンを利用していませんか？
  NTTのキャッチホンサービスを利用していると、別の電話がかかってきたとき、通信が中断します。キャッチホンIIを利用すると、その心配がなくなります。詳しくは、ご契約の電話会社（NTTなど）にお問い合わせください。

? 内蔵モデムでの通信速度が遅い

- 開いているアプリケーションの数をできるだけ減らしてください。
- 接続先や時間帯を変えてみてください。

? 内蔵LANでハブに接続してもうまく使えない

- ネットワークの設定がネットワーク環境に合っていない可能性があります。下記の操作に従ってネットワークの設定を確かめてください。
  ① スタートメニューから「設定」－「コントロールパネル」をクリックし、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。
  「ネットワーク」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。
  ② 「現在のネットワークコンポーネント」欄の「SiS 900 PCI Fast Ethernet Adapter」を選択して、[プロパティ] をクリックします。
  ③ 「詳細設定」タブをクリックし、「プロパティ」欄の「Media Type」を選択します。
  ④ 「値」を使用する環境に合った値に変更します。
  ⑤ [OK] をクリックして「ネットワークの設定」画面に戻り、[OK] をクリックします。
  ⑥ 確認画面で、[はい] をクリックします。
  Windowsが再起動します。

? ネットワークを通してスタンバイから復帰できない

- セットアップユーティリティの**Powerメニュー**（☞149ページ）で「Resume On LAN」の項目を「Enabled」に設定したあと、下記の操作に従って設定してください。
  ① スタートメニューから「設定」－「コントロールパネル」をクリックし、「システム」アイコンをダブルクリックします。
  「システム」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

②「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
③「ネットワークアダプタ」をダブルクリックします。
④「SiS 900 PCI Fast Ethernet Adapter」を選択して、[プロパティ]をクリックします。
⑤「電源の管理」タブをクリックし、「コンピュータのスタンバイ解除の管理をこのデバイスで行う」にチェックマークを付け、[OK]をクリックします。
⑥[OK]をクリックします。

周辺機器を使用する際のトラブル

? 増設機器や周辺機器の機能が働かない

- 周辺機器が Windows Me に対応しているか確認してください。
- 機器が正しく取り付けられているか確認してください。
- 拡張した機器に必要なデバイスドライバが組み込まれているか確認してください。
- IRQ が不足していないか確認してください。

? プリンタへの出力ができない

- プリンタの電源が入っているか確認してください。
- プリンタが正しく接続されているか確認してください。
- プリンタがオンライン状態か確認してください。
- 用紙が正しくセットされているか確認してください。
- プリンタドライバがインストールされているか確認してください。
- セットアップユーティリティの Advanced メニュー(☞146 ページ)の「I/O Device Configuration」で「Parallel port」の項目が「Disabled」になっていないか確認してください。

? RS-232C コネクタに接続した機器が動作しない

- 正しい接続ケーブルを使用しているか確認してください。
- 機器が正しく接続されているか確認してください。
- アプリケーションソフトがRS-232C規格のインタフェース機能に対応しているか確認してください。
- セットアップユーティリティの Advanced メニュー(☞146 ページ)の「I/O Device Configuration」で「COM1 port」の項目が「Auto」または「Enabled」に設定されていることを確認してください。
- デバイスマネージャで、通信ポート(COM1)が使用不可に設定されていないか確認してください。

? 赤外線・モデム・TA が正常に動作しない

- 省電力機能が停止していることを確認してください。

? 光デジタルオーディオ出力ジャックに接続したオーディオ機器に音楽CDの音が出力されない

- 以下の手順に従って操作してください。
  ① スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「システム」アイコンをダブルクリックします。
  「システム」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。
  ② 「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「CD-ROM」をダブルクリックします。
  ③ 「MATSHITA XXXXXX」をクリックし、[プロパティ] をクリックします。
  ④ 「プロパティ」タブをクリックします。
  ⑤ 「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」をクリックしてチェックマークを付け、[OK] をクリックします。
  ⑥ [OK] をクリックします。

? パソコンリンク機能付き MD ポータブルレコーダを接続して録音したときに音がとぶ

- 動作状況によっては音とびが発生する場合があります。音飛びを極力防ぐため、MD へ録音するときは、録音に関係ないソフトウェアはすべて終了させてください。

その他のトラブル

? バッテリパックを充電してもすぐに空になる

- バッテリパックを初期化してください。(☞63 ページ)

? 日本語の入力ができない

- 日本語入力システムがオンになっているか確認してください。(☞73 ページ)

? 日付と時刻が正しく表示されない

- 「コントロールパネル」の「日付と時刻」で設定し直してください。

? ハードウェア(デバイス)が使用できない

- 以下の手順に従って操作してください。
  ① スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックします。

② 「システム」アイコンをダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
「システム」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。
③ 対応するデバイスの種類をダブルクリックします。
④ 対応するデバイスをクリックし、[プロパティ] をクリックします。
⑤ 「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」をクリックしてチェックマークを外し、[OK] をクリックします。
⑥ [閉じる] をクリックします。

? 音が鳴らない

- パソコン左側面の音量調節つまみで、音量が最小になっていないか確認してください。
- Windows Me のボリュームコントロール(音量の調整)や CD の再生ソフトなどで、音量が最小、またはミュートに設定されていないか確認してください。

? 電源が切れない

- キーボードやパッド型ポインティングデバイスからの入力操作を受け付けない(☞158 ページ)の操作をしてください。

? クイックスタートボタンやメール着信ランプ(ボタン)を押して起動したとき、「ネットワークパスワードの入力」画面で停止する

- 以下の手順に従って操作してください。

① スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「パスワード」アイコンをダブルクリックします。
「パスワード」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。
② 「パスワードの変更」タブをクリックし、[Windows パスワードの変更] をクリックします。
③ 「パスワードの変更」画面で、「古いパスワード」に現在使用中のパスワードを入力し、「新しいパスワード」に何も入力しないで [OK] をクリックします。
④ [OK] をクリックし、[閉じる] をクリックします。
⑤ 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。
⑥ 「優先的にログオンするネットワーク」で「Windows ログオン」を選択して、[OK] をクリックします。
⑦ 「システム設定の変更」画面が表示されたら、[はい] をクリックします。

? 本体が熱くなる

- バッテリ充電中に、バッテリパックおよびその周辺やキーボードの手前側が熱くなることがありますが、故障ではありません。

?「リソース不足」のメッセージが表示される

- 起動中の不要なアプリケーションソフトを終了してください。
- 不要なアプリケーションソフトを終了しても「リソース不足」と表示されるときは、不要な常駐アプリケーションソフトを終了してください。
  ① スタートメニューから「プログラム」－「アクセサリ」－「システムツール」－「システム情報」をクリックします。
  ②「ツール」メニューをクリックし、「システム設定ユーティリティ」をクリックします。
  ③「スタートアップ」タブをクリックします。
  ④ 下記の中で不要なアプリケーションソフトをクリックしてチェックマークを外します。（下記以外のアプリケーションソフトのチェックは変更しないでください。正常に動作しなくなることがあります。）
  - ボイスインターネットコール
  - Microsoft Office スタートアップ

  ⑤［OK］をクリックします。
  ⑥［はい］をクリックします。
  Windows が再起動します。

? ボイスインターネットコールの音声認識がうまくいかない

- 以下の手順に従って、マイクの入力音量を調節してください。
  ① タスクバーの アイコン を右クリックし、「マイク音量設定」を選択します。
  ②「選択」にチェックマークが付いていることを確認します。
  ③ 音量つまみをドラッグして音量を調節します。
  ④［閉じる］をクリックします。
- 使用する周囲の騒音レベルによって、認識性能は変化します。以下の手順に従って、使用する環境に合った設定にしてください。なお、騒音レベルが非常に高い場所では、正しく音声認識されないことがあります。
  ① タスクバーの アイコン を右クリックし、「環境設定」を選択します。
  ②「音声認識」タブをクリックし、「周りの環境」で使用する環境に合わせて設定を変更します。
  ③［OK］をクリックします。
- 呼び出したいホームページが登録されているか確認してください。（☞36ページ）

- 似たような読みのホームページが登録されていないか、確認してください。認識時に呼び出せないホームページや呼び出しにくいホームページがある場合は、そのホームページの読みを修正してください。また認識時に何度も同じ間違いが生じるような場合は、そのホームページの読みを修正してください。
- ボイスインターネットコール以外にマイクを利用するアプリケーションソフトが機能する状態に設定されていると、エラーになります。マイクを利用する他のアプリケーションソフトを終了してください。
- パソコンに内蔵のマイクまたは外部に接続したマイクの性能や音量設定、発声のしかたやスピード、発音の明瞭度によって認識率が低下し、正確に認識できない場合があります。

付録 ご購入時の状態に戻す（再インストール）

ここでは、パソコンをご購入時の状態に戻す（再インストールする）方法について説明します。
再インストールすると、ハードディスクの内容はすべて消去されてしまいます。再インストールが必要かどうかよく確認してから始めてください。

ご参考
故障かな？と思ったら（☞155ページ）に問題が起こったときの解決方法が書かれています。再インストールをする前に、あてはまる項目がないか調べてみてください。

再インストールの準備をする

大切なデータをバックアップする

再インストールすると、ご購入後にハードディスクに保存されたファイルや、インストールされたアプリケーションソフトなども消えてしまいます。大切なデータは、再インストールをする前に必ずバックアップしておいてください。（☞104ページ）
また、再インストールすると、インターネットなどの設定をし直す必要があります。現在の設定内容を必ずメモに控えてください。（☞107ページ）

必要なものを準備する

CD-ROM

- プロダクトリカバリ CD-ROM（3枚）

説明書

- はじめにお読みください

Microsoft Office XP Personal パック

- Microsoft Office XP Personal の CD-ROM
- Microsoft Bookshelf Basic 3.0 の CD-ROM
- セットアップガイド

ご参考
付属の CD-ROM は他のパソコンでは使用できません。
また、再発行はできませんので、なくさないよう大切に保管してください。

ソフトウェア使用許諾契約書を読む

再インストールをするときには、PowerQuest EasyRestoreを使用します。再インストールの前に、下記の「PowerQuest Corporationソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。

PowerQuest Corporationソフトウェア使用許諾契約書

本使用許諾契約書（以下「契約書」）は、お客様とPowerQuest Corporationとの間に締結される法的な契約書です。同封のソフトウェアを使用することにより、本契約書の各条項に同意したことになります。本契約書で言う「ソフトウェア製品」とは、本契約書が添付されたCDやディスク媒体、またはネットワークからロードされるEasyRestoreソフトウェアを意味します。

1.　所有権

ソフトウェア製品はPowerQuest Corporation（以下「PowerQuest」）またはそのライセンサーが有するものであり、著作権法および国際条約の規定により保護されています。ソフトウェア製品、その複製物、修正物、構成部分についての権原および著作権は、PowerQuestまたはそのライセンサーに帰属します。

2.　ライセンスの許諾

本契約書はお客様に以下の権利を許諾します。
・ソフトウェア製品は、コンピュータシステムに既にインストールされているソフトウェアのバックアップ目的で作成されたイメージファイルに付属して提供され、当該イメージファイルを復元する目的にのみ使用することができます。
・ソフトウェア製品は、当該イメージファイルが付属して提供された特定のコンピュータシステムでのみ、使用することができます。

3.　使用制限

PowerQuestの許可なく、
(a) 本契約書で許諾された範囲を超えて、ソフトウェア製品の使用、複製、改造、修正してはならず、電子的または他の方法で転送することはできません。
(b) ソフトウェアを翻訳、リバースプログラム、逆アセンブルまたは逆コンパイル、またはその他の方法でリバースエンジニアリングすることはできません。

4.　技術サポート

ソフトウェア製品へのサポートは、PowerQuestおよび日本総代理店である(株)ネットジャパンが提供するものではありません。製品サポートに関しては、ソフトウェア製品をお客様に販売した供給者にお問い合わせください。

5.　アメリカ合衆国政府が制限されている権利

お客様が、アメリカ合衆国政府の省庁、またはその機関に代わってソフトウェア製品を取得する場合には、以下の規定が適用されます。
・ソフトウェア製品がプライベートな費用で開発されており、いかなる部分もパブリックドメインからの流用ではないこと。
・ソフトウェア製品が制限された権利と共に供給されていること。
・政府が使用、複製、または開示を行なう場合は、DFARS 第252.227-7013の条項に定める技術
データおよびコンピュータソフトウェアに関する権利の補節 (c) (1)(ii)、また48 CFR 第52.227-19に定める商用コンピュータソフトウェアー制限された権利の補節 (c) (1) および(2)の規制に従うものとします。契約者／製造元は、PowerQuest Corporation / P.O.Box 1911 Orem, UTA 84059-1911です。

6.　限定保証

PowerQuestは、ソフトウェア製品について、お客様に直接に保証するものではありません。
PowerQuestは、ソフトウェア製品を販売した供給者に対して、ソフトウェア製品がドキュメントに従って動作することを保証してます。
ソフトウェア製品がドキュメントに従って動作しない場合にPowerQuestは修復し、当該供給者が修復後のソフトウェア製品を配布することを認めます。

7.　責任の制限

PowerQuestおよび供給者は、いかなる場合においても、ソフトウェア製品の使用または使用不能から生じるいかなる損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、またはその他の金銭的損害を含むがこれらに限定されない）について、責任を負いません。例え、PowerQuestがかかる損害の可能性について通知を受けていた場合であっても、同様です。

本契約書は、対象条項に関するお客様とPowerQuest間の完全な合意を構成するものです。本契約書は、（法の抵触の諸原則以外は）ユタ州法を準拠法とします。

詳細：本使用許諾契約に関する質問がある場合は、PowerQuestか、日本総代理店である(株)ネットジャパン宛、書面にて連絡してください。

PowerQuest Corporation / P.O.Box 1911 Orem, UTA 84059-1911
（株）ネットジャパン／〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-18-3

米国特許 5.675.769 , 5.706.472 , 5.930.831 他に、特許出願中です。
PowerQuestはPowerQuest Corporationの登録商標です。
EasyRestoreはPowerQuest Corporationの商標です。

パソコンを準備する

1 パソコンの電源が切れていることを確認します。

2 パソコンに周辺機器（USB 機器、PC カードなど）が接続されている場合は、周辺機器を取り外します。

3 パソコンに AC アダプタを取り付けます。

ご注意

必ずACアダプタは接続しておいてください。バッテリで操作していると、途中でバッテリ残量がなくなったとき、再インストールが完了できなくなります。

再インストールの手順を確認する

再インストールは以下の手順で行います。

Step1　セットアップユーティリティの設定を変更する

⇩

Step2　プロダクトリカバリ CD-ROM の内容を再インストールする

⇩

Step3　Windows Me をセットアップする

⇩

Step4　セットアップユーティリティの設定を初期値に戻す

⇩

Step5　Office XP Personal パックの内容を再インストールする

⇩

これでハードディスクの内容は、ご購入時の状態に戻ります。

Step1 セットアップユーティリティの設定を変更する

1 **パソコンの電源を入れ、画面の左下に「<F2> to enter System Configuration Utility」と表示されているとき、F2 キーを押します。**

セットアップユーティリティの画面が表示されます。

2 **「プロダクトリカバリ CD-ROM ディスク 1」をドライブにセットします。**

3 **設定を初期値に変更します。**

① Esc キーを押します。

Exit メニュー画面が表示されます。

② ↓ キーを押して「Load Setup Defaults」（すべての項目を初期値に戻す）を選択し、⏎ キーを押します。

③「Load default configuration now?」（設定を初期値に変更しますか？）と表示されたら、［Yes］を選択し、⏎ キーを押します。

4 CD-ROMから起動するようにします。

① [←] キーを押します。

Bootメニュー画面が表示されます。

② [↓] キーを押して「CD-ROM Drive」を選択します。

③ [(スペース)] キーを2回押します。

「CD-ROM Drive」が一番上に移動します。

5 省電力機能を無効にします。

① [←] キーを押します。

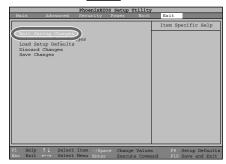
Powerメニュー画面が表示されます。

② 「Power Savings」(省電力機能)が選択されていることを確認し、[(スペース)] キーを押して「Disabled」(無効にする)に変更します。

6 設定を保存してセットアップユーティリティを終了します。

① [Esc] キーを押します。

Exitメニュー画面が表示されます。

② 「Exit Saving Changes」（変更内容を保存して終了）が選択されていることを確認して [⏎] キーを押します。

③ 「Save configuration changes and exit now?」（設定を保存して終了しますか？）と表示されたら、[Yes] を選択し、[⏎] キーを押します。パソコンが再起動されます。

7 **次の「Step2　プロダクトリカバリ CD-ROM の内容を再インストールする」に進みます。**

Step2　プロダクトリカバリ CD-ROM の内容を再インストールする

ここでは、ハードディスク全体をご購入時の状態に復元する方法を説明します。
パソコンが起動した後、次の画面が表示されます。

ご参考

- ハードディスクを C ドライブと D ドライブの 2 つの領域に分割し、C ドライブにご購入時のハードディスクの内容を復元することができます。**ハードディスクドライブを分割して再インストールする**（☞180 ページ）を参照してください。
- すでにハードディスクを2つ以上のドライブに分割している場合、C ドライブだけをご購入時の状態に復元することができます。**C ドライブのみを再インストールする**（☞182 ページ）を参照してください。

1 **↓** **↑** **キーで「ハードディスク全体をご購入時の状態に復元します(推奨)」を選択して、** **⏎** **キーを押します。**

「終了します」を選択したときは

「終了します」を選択して、⏎ キーを押すと、D:¥>が表示されます。「プロダクトリカバリCD-ROMディスク1」をドライブから取り出し、電源ボタンを押して電源を切ってください。

2 **↓** **↑** **キーで「ハードディスクの復元を開始」を選択して、** **⏎** **キーを押します。**

ハードディスクのフォーマット（初期化）と内容の復元が始まります。
フォーマットと復元が完了するまでに、約 30 分かかります。

フォーマット中および復元中は、画面に進行状況が表示されます。「ファイル”R:＼MEBIUS.002”が入っているメディア 2 をドライブ R: に挿入してください」と表示されるまで、何も操作しないでください。再インストールを途中で中止してしまうと Windows を起動できなくなります。その場合は、**Step1 セットアップユーティリティの設定を変更する**（☞171 ページ）の手順 **1** から再インストールし直してください。

3 「ファイル” R:＼MEBIUS.002” が入っているメディア 2 をドライブR:に挿入してください」と表示されたら、ドライブのイジェクトボタンを押して「プロダクトリカバリ CD-ROM ディスク 1」を取り出し、「プロダクトリカバリ CD-ROM ディスク 2」をセットします。

4 [OK] が選択されていることを確認して、 [↵] キーを押します。

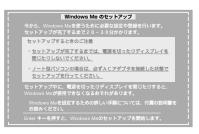
5 「ファイル” R:＼MEBIUS.003” が入っているメディア 3 をドライブR:に挿入してください」と表示されたら、ドライブのイジェクトボタンを押して「プロダクトリカバリ CD-ROM ディスク 2」を取り出し、「プロダクトリカバリ CD-ROM ディスク 3」をセットします。

6 [OK] が選択されていることを確認して、 [↵] キーを押します。

7 「ハードディスクのリカバリ処理が終了しました」と表示されたら、次の「Step3 Windows Me をセットアップする」に進みます。

Step3 Windows Me をセットアップする

「ハードディスクのリカバリ処理が終了しました」と表示された後、パソコンが再起動されます。

しばらくすると「Windows Me のセットアップ」画面が表示されます。

1 はじめにお読みください（別冊）の「Step3 Windows Me のセットアップ」の手順3～手順25 を参照して、Windows Meをセットアップします。

ただし、オンラインユーザ登録はする必要がありませんので、省略で進んでください。

2 Windows が起動されたら、モデムの所在地情報の「国名／地域」を「日本」に設定します。

設定方法については、使用する電話回線を設定する（☞26ページ）を参照してください。

3 次の「Step4 セットアップユーティリティの設定を初期値に戻す」に進みます。

Step4　セットアップユーティリティの設定を初期値に戻す

Windows が起動された状態から作業します。

1 **Windows を終了します。**

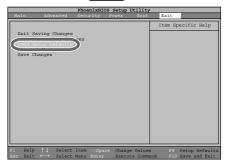
2 **約 10 秒待ってから、パソコンの電源を入れ、画面の左下に「<F2> to enter System Configuration Utility」と表示されているときに、F2 キーを押します。**

セットアップユーティリティの画面が表示されます。

3 設定を初期値に変更します。

① Esc キーを押します。

Exit メニュー画面が表示されます。

② ↓ キーを押して「Load Setup Defaults」（すべての項目を初期値に戻す）を選択し、⏎ キーを押します。

③「Load default configuration now?」（設定を初期値に変更しますか？）と表示されたら、［Yes］を選択し、⏎ キーを押します。

ご参考

セットアップユーティリティの項目は、必要に応じて設定し直してください。

4 設定を保存してセットアップユーティリティを終了します。

① Esc キーを押します。

Exit メニュー画面が表示されます。

②「Exit Saving Changes」（変更内容を保存して終了）が選択されていることを確認して ⏎ キーを押します。

③「Save configuration changes and exit now?」（設定を保存して終了しますか？）と表示されたら、［Yes］を選択し、⏎ キーを押します。

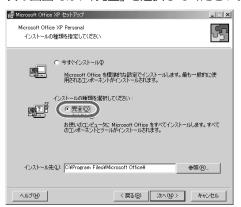
パソコンが再起動されます。

5 **Windowsが起動されたら、次の「Step5 Office XP Personal パックの内容を再インストールする」に進みます。**

Step 5 Office XP Personal パックの内容を再インストールする

1 **Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft Outlook、Microsoft IME をインストールします。**

① 「Microsoft Office XP Personal 」の CD-ROM をドライブにセットします。
「Microsoft Office XP セットアップ」画面が表示されます。

② Office XP Personal パックに同梱されているセットアップガイドを参照してインストールします。
次の画面では、「完全」を選択してください。

2 **Office XP Personal のインストールが完了し、パソコンを再起動後、Office XP Personalの音声認識機能とインデックス検索機能、および「Webデバッグツール」を削除（アンインストール）します。**

① スタートメニューから「設定」－「コントロールパネル」をクリックし、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」画面が表示されます。

② リストから、「Microsoft Office XP Personal」をクリックして選択し、[追加と削除] をクリックします。

③ [機能の追加／削除] を選択し、[次へ] をクリックします。

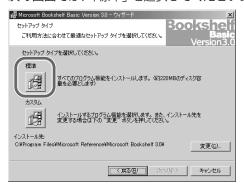
④ 「Office 共有機能」の横にある ⊞ をクリックします。

⑤ 「入力システムの拡張」の横にある ⊞ をクリックします。

⑥ 「音声」の横にある [▭▾] をクリックし、「インストールしない」をクリックします。
[▭▾] が [X▾] に変わります。

⑦ 「Office 共有機能」の横にある ⊟ をクリックします。
⑧ 「Office ツール」の横にある ⊞ をクリックします。
⑨ 「HTML ソース編集」の横にある ⊞ をクリックします。
⑩ 「Web スクリプト編集」の横にある ⊞ をクリックします。
⑪ 「Webデバッグツール」の横にある をクリックし、「インストールしない」をクリックします。
が に変わります。
⑫ 「高速検索のサポート」の横にある をクリックし、「インストールしない」をクリックします。
が に変わります。
⑬ ［更新］をクリックします。
⑭ 「Microsoft Officeのインストールが正常にアップデートされました。」と表示されたら、［OK］をクリックします。
⑮ ［はい］をクリックします。
パソコンが再起動されます。

3 Microsoft Bookshelf Basic をインストールします。

① 「Microsoft Bookshelf Basic 3.0」の CD-ROM をドライブにセットします。
「Microsoft Bookshelf Basic Version 3.0- ウィザード」画面が表示されます。
② 画面に表示される指示に従って、Microsoft Bookshelf Basic をインストールします。
次の画面では、「標準」を選択してください。

これで再インストールは完了です。

ライセンス認証ウィザードについて

再インストール後、Microsoft Word、Microsoft ExcelまたはMicrosoft Outlookのいずれかを起動すると、「Office XP 使用許諾契約書」画面が表示されます。使用許諾契約書に同意すると、「Microsoft Office XP Personal ライセンス認証ウィザード」画面が表示されますので、このウィザードを使ってライセンス認証をしてください。詳しくは、Office XP Personalパックに同梱されているセットアップガイドを参照してください。

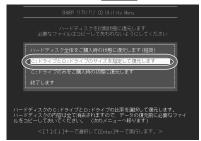
カスタム再インストール

ハードディスクドライブを分割して再インストールする

ご購入時、ハードディスクは「C ドライブ」という一つの領域として設定されています。再インストールするときはハードディスクの領域を分割し、「CドライブとDドライブ」というように複数のドライブとして設定することができます。ここでは、CドライブとD ドライブの 2 つの領域に分割し、C ドライブにご購入時のハードディスクの内容を復元する手順を説明します。

1 「Step1 セットアップユーティリティの設定を変更する」(☞171 ページ)の手順 1 ～ 6 までの作業をします。

パソコンが再起動された後、 次の画面が表示されます。

2 **↓ ↑ キーで「C：ドライブとD：ドライブのサイズを指定して復元します」を選択して、⏎ キーを押します。**

3 **↓ ↑ キーでC:ドライブの容量を選択して、⏎ キーを押します。**

4 **↓ ↑ キーで「ハードディスクの復元を開始」を選択して、⏎ キーを押します。**

ハードディスクのフォーマット（初期化）と内容の復元が始まります。

フォーマット中および復元中は、画面に進行状況が表示されます。「ファイル”R:＼MEBIUS.002”が入っているメディア2をドライブR:に挿入してください」と表示されるまで、何も操作しないでください。再インストールを途中で中止してしまうとWindowsを起動できなくなります。その場合は、手順**1**から再インストールし直してください。

5 **「Step2 プロダクトリカバリCD-ROMの内容を再インストールする」の手順3（☞175ページ）に進みます。**

C ドライブのみを再インストールする

ハードディスクをすでに2つ以上のドライブに分割している場合に、C ドライブだけを初期化し、C ドライブにご購入時のハードディスクの内容を再インストールすることができます。
Cドライブ以外のドライブの内容は消去せずに再インストールする場合、この方法を選択してください。

ご参考
C ドライブ以外のドライブにアプリケーションソフトをインストールしている場合、C ドライブのみを再インストールするとアプリケーションソフトが正しく動作しなくなることがあります。このような場合は、アプリケーションソフトをインストールし直してください。

1 「Step1 セットアップユーティリティの設定を変更する」(☞171 ページ) の手順 1 〜 6 までの作業をします。
パソコンが再起動された後、 次の画面が表示されます。

2 [↓] [↑] キーで「C:ドライブのみをご購入時の状態に復元します」を選択して、[⏎] キーを押します。

3 [↓] [↑] **キーで「C:ドライブの復元を開始」を選択して、[⏎] キーを押します。**

C ドライブのフォーマット（初期化）と内容の復元が始まります。

フォーマット中および復元中は、画面に進行状況が表示されます。「ファイル”R:＼MEBIUS.002”が入っているメディア 2をドライブ R:に挿入してください」と表示されるまで、何も操作しないでください。再インストールを途中で中止してしまうと Windows を起動できなくなります。その場合は、手順**1**から再インストールし直してください。

4 **「Step2 プロダクトリカバリ CD-ROM の内容を再インストールする」の手順 3（☞175 ページ）に進みます。**

各部の名称と働き

前面操作部

マイク

状態表示ランプ（☞次ページ）

電源ボタン（☞17ページ）

ステレオスピーカ

メール着信ランプ（ボタン兼用）（☞41ページ）

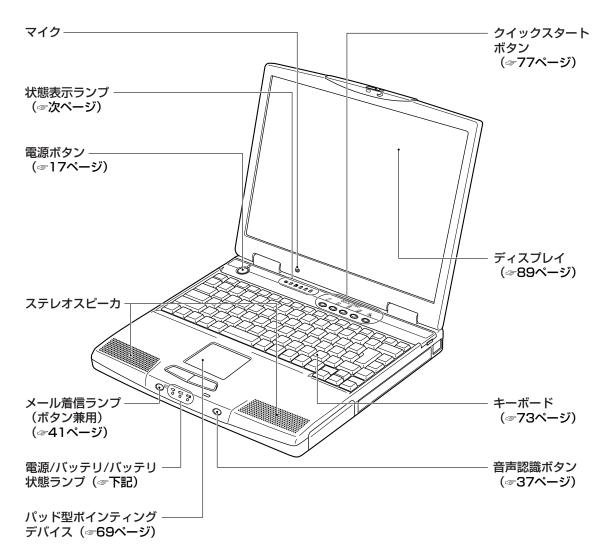
電源/バッテリ/バッテリ状態ランプ（☞下記）

パッド型ポインティングデバイス（☞69ページ）

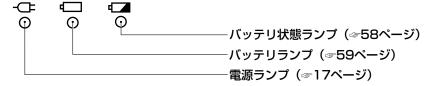
クイックスタートボタン（☞77ページ）

ディスプレイ（☞89ページ）

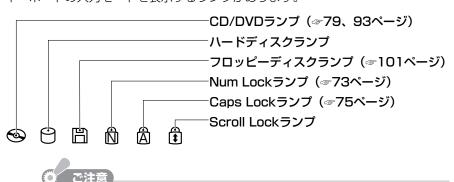
キーボード（☞73ページ）

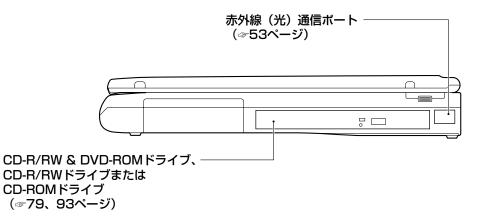
音声認識ボタン（☞37ページ）

電源／バッテリ／バッテリ状態ランプ

パソコンをACアダプタで使用しているかバッテリで使用しているかが分かります。

バッテリの状態は、バッテリ状態ランプが示します。

電源ランプ	緑点灯	AC アダプタで動作している。
	緑点滅	スタンバイ状態。（AC アダプタ使用時）
	消灯	電源が切れているかバッテリで動作している。
バッテリランプ	緑点灯	バッテリパックで動作している。
	緑点滅	スタンバイ状態。（バッテリ使用時）
	消灯	電源が切れているか AC アダプタで動作している。
バッテリ状態ランプ	AC アダプタを接続しているとき	
	緑点灯	バッテリが満充電されている。
	オレンジ点灯	バッテリを充電中。
	オレンジ点滅	バッテリまたはパソコンの充電回路に異常がある。
	AC アダプタを接続していないとき（電源オン状態）	
	赤点滅	バッテリ残量が非常に少ない。同時に警告音が鳴ります。
	消灯	バッテリ残量がある。
	AC アダプタを接続していないとき（電源オフ状態）	
	消灯	常に消灯状態になります。

状態表示ランプ

CD-R/RW & DVD-ROM ドライブ（またはCD-R/RW ドライブ、CD-ROM ドライブ）、ハードディスク、フロッピーディスクドライブにアクセス中に点灯するランプと、キーボードの入力モードを表示するランプがあります。

、、の各ランプが点灯中は、電源を切らないでください。データが失われたり破壊されることがあります。

右側面

ドライブで使用可能なディスク

内蔵ドライブ ＼ ディスク	CD-ROM	CD-R/RW		DVD-ROM
	読み出し再生	読み出し再生	書き込み	読み出し再生
CD-R/RW & DVD-ROM	○	○	○	○
CD-R/RW	○	○	○	×
CD-ROM	○	○	×	×

左側面

後面

通風孔
（☞3ページ）
RS-232Cコネクタ
（☞111ページ）
プリンタコネクタ
（☞111ページ）
ACアダプタジャック
（☞16ページ）
PS/2コネクタ
（☞111ページ）
USBコネクタ
（☞111ページ）
LANジャック
（☞55ページ）
ディスプレイコネクタ
（☞111ページ）
盗難防止ホール
（☞154ページ）
モデムジャック
（☞23ページ）
S映像出力コネクタ
（CD-R/RW &
DVD-ROMドライブ
搭載モデルのみ）
（☞112ページ）

底面

通風孔
（☞3ページ）
リセットスイッチ
（☞158ページ）
バッテリパック
（☞58ページ）

さくいん

記号・アルファベット

ア行

さくいん

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ラ行

ワ行